

デジタル HD ビデオカメラレコーダー

取扱説明書

目次

準備する

撮影する

再生する

編集する

メニューで設定を変更する

他機器と接続する

困ったときは

その他

AVCHD
Progressive

InfoLITHIUM™
L
SERIES

MEMORY STICK™
CLASS 4

SD™
CLASS 4

HDMI™
HIGH DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

N™

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は、安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになつたあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

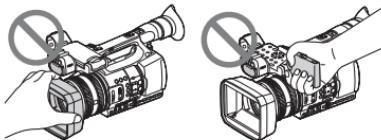
NXCAM

使用前に必ずお読みください

お買い上げいただきありがとうございます。

故障や破損の原因となるため、特にご注意ください

- 次の部分をつかんで持たないでください。また、端子カバーをつかんで持たないでください。



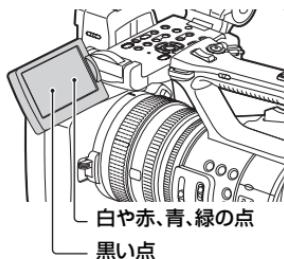
レンズカバー付き
フード

液晶モニター



マイクまたは
マイクホルダー

ファインダー



白や赤、青、緑の点
黒い点

太陽光についてのご注意

- 長時間、太陽に向けて撮影または放置しないでください。ビデオカメラレコーダー内部の部品が故障することがあります。また、太陽光が近くのものに結像すると、火災の原因となります。
- 液晶モニターやファインダー、レンズを太陽など強い光源に向けないでください。故障の原因になります。
- 直接太陽を撮影しないでください。故障の原因になります。

本機やバッテリーの温度について

本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために撮影や再生ができなくなることがあります。この場合は、本機の液晶モニターもしくはファインダーにメッセージが表示されます(108ページ)。

録画・録音について

- メモリーカードの動作を安定させるためにメモリーカードを本機で初めてお使いになる場合には、まず、本機で初期化することをおおすすめします。初期化すると、メモリーカードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことはできません。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。
- 事前にためし撮りをして、正常な録画・録音を確認してください。

液晶モニター、レンズについてのご注意

- 灰色で表示されるメニュー項目は、その撮影・再生条件では使えません(同時に選べません)。
- 液晶モニターは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えたりすることがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。

- ・万一、ビデオカメラレコーダーや記録メディアなどの不具合により記録や再生がされなかつた場合、または性能の限界により画像や音声が乱れた場合、画像や音声などの記録内容および撮影機会の損失に対する補償についてはご容赦ください。
- ・あなたがビデオで録画・録音したものは個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。
- ・撮像素子(CMOSセンサー)の画像信号を読み出す方法の性質により、以下の現象が発生する場合があります。
 - 撮影条件によっては、画面をすばやく横切る被写体が少しづがんで見える(特に、動像解像度表現に優れたモニターなどの場合)。
 - 蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯など放電管による照明下で撮影すると、画面に横筋が見える。このような場合は、シャッタースピードを調節することで現象が軽減されます(37ページ)。

ハイビジョン画質(HD)で記録したDVDについて

AVCHD規格対応機器でのみ、再生できます。DVDプレイヤーやDVDレコーダーはAVCHD規格に非対応のため、ハイビジョン画質(HD)で記録したディスクを再生できません。また、これらの機器にAVCHD規格で記録したハイビジョン画質(HD)のディスクを入れた場合、ディスクの取り出しができなくなる可能性があります。

撮影した画像データは保存してください

- ・万一のデータ破損に備えて、撮影した画像データを定期的に保存してください。他機で保存するには97ページをご覧ください。
- ・[HD REC FORMAT]で、PSまたはFXの録画モードに設定して撮影した動画は、外付けメディアとブルーレイディスクのみに保存できます(97, 99ページ)。

本機で記録した画像をパソコンで扱うには

ソフトウェア「Content Browser」をダウンロードしてください(16ページ)。

画像が正しく記録・再生されないときは [MEDIA FORMAT] してください

長期間、画像の撮影・消去を繰り返していると、メモリーカード内のファイルが断片化(フラグメンテーション)されて、画像が正しく記録・保存できなくなる場合があります。このような場合は、画像を保存したあと、[MEDIA FORMAT](75ページ)を行ってください。

本機の操作方法について

本機では、SEL/PUSH EXECダイヤル(22, 77ページ)、▲/▼/◀/▶/EXEC ボタン(77ページ)、タッチパネル*で操作が行えます。ただし、メニューの設定など一部の操作はタッチパネルでは行えません。

* 一部、タッチパネルのみで行える操作もあります。

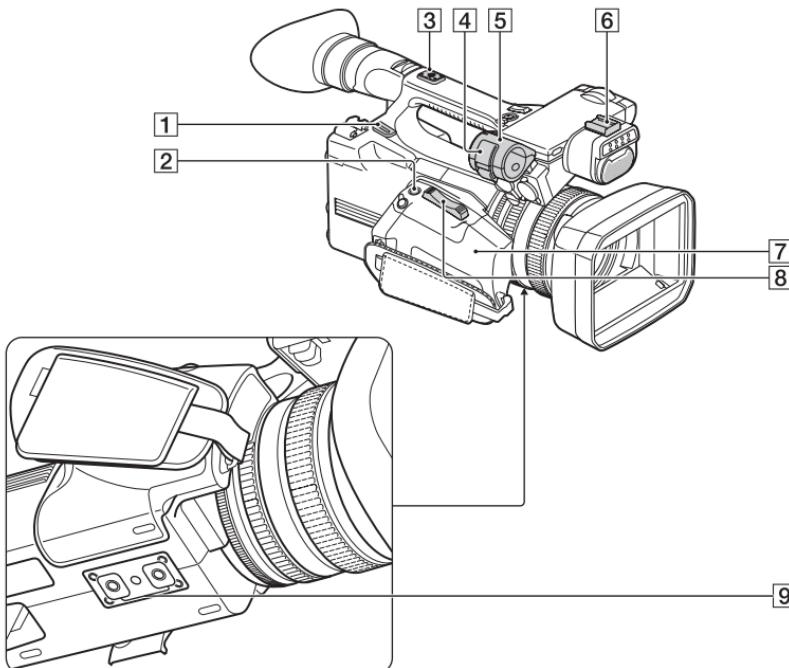
本書について

- ・記録メディアやアクセサリーの仕様および外観は、予告なく変更することがあります。

各部のなまえ

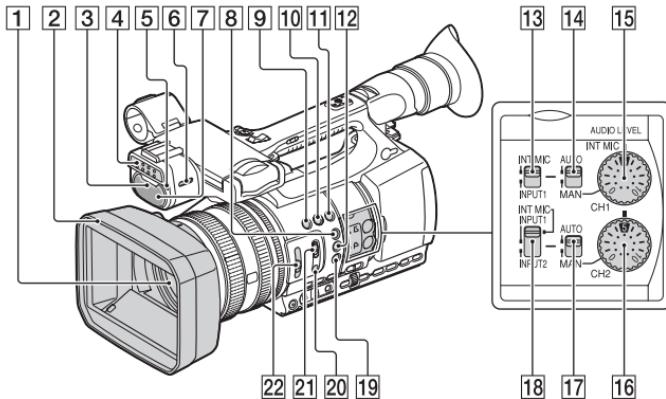
本体

()内は参照ページです。



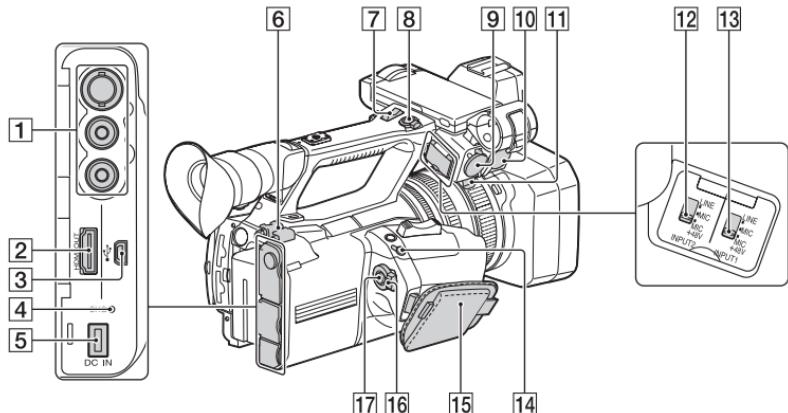
- ① ショルダーストラップ取り付け部
- ② ASSIGN6 ボタン /FOCUS MAGNIFIER ボタン(60)
- ③ アクセサリーシュー取り付け部(21)
- ④ マイク固定用クランパー
- ⑤ マイクホルダー
- ⑥ アクセサリーシュー
- ⑦ **N** (N マーク)
 - NFC機能搭載のスマートフォンと本機を無線接続するときにタッチします。
 - NFC(Near Field Communication)は近距離無線通信技術の国際標準規格です。
- ⑧ ズームレバー

- ⑨ 三脚用ネジ穴(1/4 インチ)
 - 1/4-20UNCのネジに対応
 - 三脚(別売、ネジの長さ5.5mm以下)を取り付けます。
 - 三脚の仕様によっては、適切な方向で取り付けられない場合があります。



- 1** レンズ(20)
2 レンズカバー付きフード(20)
3 前部録画ランプ(96)
 メモリーカードやバッテリー残量が少なくなると点滅します。
- 4** ビデオライト(43)
5 リモコン受光部(96)
6 LIGHTスイッチ(43)
7 内蔵マイク
8 ASSIGN1/PEAKINGボタン(60)
9 ASSIGN3/IRIS PUSH AUTOボタン(36)
10 ASSIGN4/LAST SCENEボタン*
 (60)
11 ASSIGN5/ZEBRAボタン(60)
12 ASSIGN2/HISTOGRAMボタン
 (60)
13 CH1 (INT MIC/INPUT1)スイッチ
 (41)
14 AUTO/MAN(CH1)スイッチ(41)
15 AUDIO LEVEL(CH1)ダイヤル(41)
16 AUDIO LEVEL(CH2)ダイヤル(41)
17 AUTO/MAN(CH2)スイッチ(41)
18 CH2 (INT MIC/INPUT1/INPUT2)
 スイッチ(41)
19 S&Qボタン(58)
20 PUSH AUTO/FOCUS HOLDボタン
 (31)
21 FOCUSスイッチ(31)
22 ND FILTERスイッチ(39)
- * ASSIGN4/LAST SCENEボタン、
 ASSIGN2/HISTOGRAMボタンに凸点(突起)が付いています。操作の目印としてお使い
 ください。

各部のなまえ(つづき)

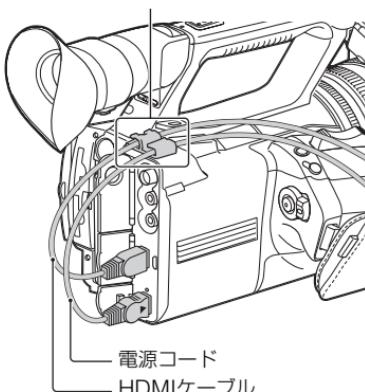


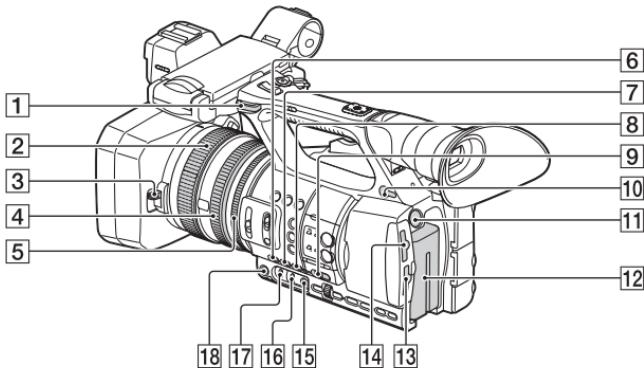
- ① VIDEO OUT 端子/AUDIO OUT 端子 (69、100)
- ② HDMI OUT 端子 (69)
- ③ \downarrow (USB) 端子 (97、99)
- ④ CHG ランプ
- ⑤ DC IN 端子 (17)
- ⑥ ケーブルクランパー
- ⑦ ハンドルズームレバー (30)
- ⑧ ハンドル録画ボタン (26)
- ⑨ INPUT2 端子
- ⑩ INPUT1 端子 (19)
- ⑪ ケーブルホルダー (19)
- ⑫ INPUT2 スイッチ (41)
- ⑬ INPUT1 スイッチ (41)
- ⑭ REMOTE 端子
REMOTE端子は、ビデオ機器と周辺機器をつなぎ、再生などをコントロールできるようにした端子です。
- ⑮ グリップベルト
- ⑯ POWER スイッチ (21)
- ⑰ 録画ボタン (26)

ケーブルクランパーについて

コネクターに挿入した電源コードやHDMIケーブルをケーブルクランパーに取り付けることで、電源コードやHDMIケーブルが抜けにくくなります。ただし、すべてのHDMIケーブルには対応していません。

ケーブルクランパー





① ショルダーストラップ取り付け部

② フォーカスリング(31)

③ レンズカバーレバー(20)

④ ズームリング(30)

⑤ アイリストリング(36)

⑥ GAIN ボタン(37)

⑦ WHT BAL ボタン*(39)

⑧ SHUTTER SPEED ボタン(37)

⑨ AUTO/MANUAL スイッチ(36)

⑩ ♂(ヘッドホン)端子

ヘッドホンを使うときは、ステレオミニジャックのものを使ってください。

⑪ BATT RELEASE ボタン(18)

⑫ バッテリー(17)

⑬ メモリーカード B スロット /
選択ボタン / アクセスランプ(24)

⑭ メモリーカード A スロット /
選択ボタン / アクセスランプ(24)

⑮ □(one push)ボタン(39)

⑯ ホワイトバランスメモリースイッチ
(39)

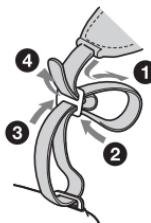
⑰ ゲインスイッチ(37)

⑱ IRIS ボタン*(36)

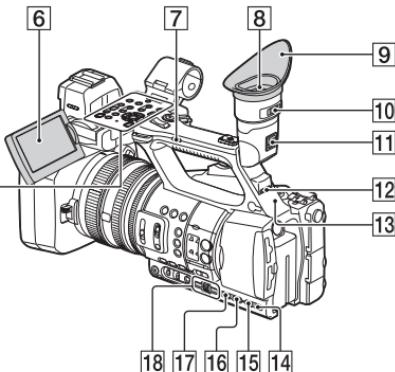
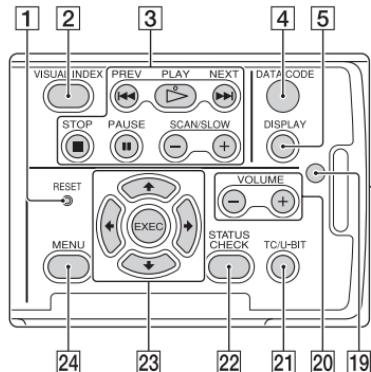
* IRISボタン、WHT BALボタンに凸点(突起)が付いています。操作の目印としてお使いください。

ショルダーストラップ(別売)を取り付けるには

ショルダーストラップ取り付け部に図のように取り付けてください。



各部のなまえ(つづき)



① RESETボタン

RESETボタンを押すと、日時を含めすべての設定が解除されます。ただし、ピクチャープロファイルで設定した内容は解除されません。

② VISUAL INDEXボタン(62)

③ 再生操作ボタン(PREV, PLAY*, NEXT, STOP, PAUSE, SCAN/SLOW)(62)

④ DATA CODEボタン(67)

⑤ DISPLAYボタン(67)

⑥ 液晶モニター・タッチパネル(23)

⑦ ハンドルズームスイッチ(30)

⑧ ビューファインダー(23)

⑨ 大型アイカッパ(23)

⑩ 視度調節つまみ(23)

⑪ ビューファインダー取りはずしつまみ(119)

⑫ HEADPHONE MONITORスイッチ(43)

⑬ 後部録画ランプ(96)

メモリーカードやバッテリー残量が少なくなると点滅します。

⑭ STATUS CHECKボタン(68)

⑮ PICTURE PROFILEボタン(51)

⑯ DISPLAYボタン(67)

⑰ MENUボタン**(22, 77)

⑱ SEL/PUSH EXECダイヤル, <→ボタン(22, 77)

⑲ 照度センサー

⑳ VOLUMEボタン*(62)

㉑ TC/U-BITボタン

液晶モニターのタイムコード、ユーザービット表示を切り替えます。

㉒ STATUS CHECKボタン(68)

㉓ ↑/↓/←/→/EXECボタン(77)

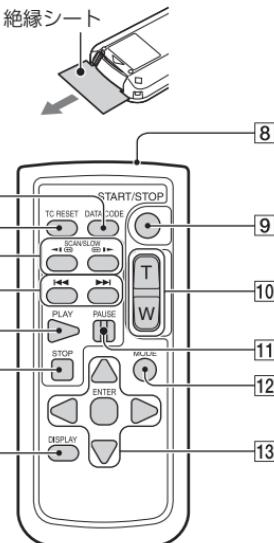
㉔ MENUボタン(22, 77)

* VOLUMEの+ボタンの横、PLAYボタンに凸点(突起)が付いています。操作の目印としてお使いください。

** MENUボタンに凸バー(突起)が付いています。操作の目印としてお使いください。

ワイヤレスリモコン

絶縁シートを引き抜いてからリモコンを使ってください。



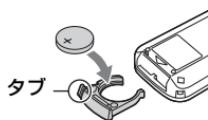
- ① DATA CODEボタン(67)
- ② TC RESETボタン(57)
- ③ SCAN/SLOWボタン(62)
- ④ ページングボタン(PREV/NEXT)ボタン(62)
- ⑤ PLAYボタン(62)
- ⑥ STOPボタン(62)
- ⑦ DISPLAYボタン(67)
- ⑧ リモコン発光部
- ⑨ START/STOPボタン(26)
- ⑩ ズームレバー
- ⑪ PAUSEボタン(62)
- ⑫ MODEボタン
- ⑬ ペダルボタン

●ご注意

- 本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
- 本体のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たらないようにしてください。リモコン操作ができないことがあります。
- 付属のリモコンで本機を操作しているときに、ほかのビデオデッキが誤動作することがあります。その場合、ビデオデッキのリモコンモードスイッチをDVD2以外のモードに切り換えるか、黒い紙でリモコン受光部をふさいでください。

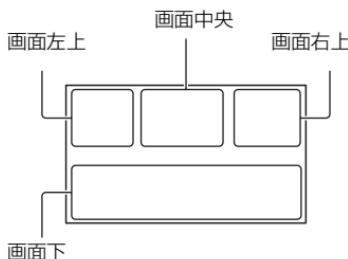
リモコンの電池を交換するには

- ① タブを内側に押し込みながら、溝に爪をかけて電池ケースを引き出す。
- ② +面を上にして新しい電池を入れる。
- ③ 電池ケースを「カチッ」というまで差し込む。



- リモコンには、ボタン型リチウム電池(CR2025)が内蔵されています。CR2025以外の電池を使用しないでください。

画面表示



画面左上

表示	意味
	100% バッテリー残量
	INTELLIGENT AUTO(顔認識/シーン認識/手ブレ)(44)
	SCENE SELECTION(45)
	REC FORMAT(34)
	WIDE REC(85)
	静止画サイズ
	光学ズーム
	全画素超解像ズーム デジタルズーム
	ND OFF ND1 ND2 NDフィルター(39)
	AIRPLANE MODE(93)
	SIMUL/RELAY REC
	NFC有効
100-0001	メモリーカードの再生フォルダ

画面中央

表示	意味
	手ブレ警告
	記録メディア
REC STBY	撮影状態(26)
	警告(108)

表示	意味
	再生表示(62)
	処理中
	リレー記録

画面右上

表示	意味
0min	記録残量時間の目安
	記録/再生メディア
00:00:00.00	タイムコード(時:分:秒:フレーム)

画面下

表示	意味
	顔認識[ON]
PEAKING	PEAKING(89)
	ZEBRA(89)
	STEADYSHOT(83)
	手動フォーカス(31)
	ピクチャープロファイル(51)
F3.5	アイリス(36)
9dB	ゲイン(37)
100 180°	シャッタースピード(37)
	手動音量調節(43)
	AUDIO FORMAT(86)
-2.0EV	AE SHIFT(82)
	自動設定/手動設定(90)
	ホワイトバランス(39)

	HISTOGRAM(88)
	AUDIO LEVEL DISPLAY(91)

✿ちょっと一言

- 表示内容や位置は目安であり、実際とは異なることがあります。

撮影時のデータについて

撮影中の日付時刻と撮影条件を示したためラデータが自動的に記録されます。これらのデータは、撮影中には表示されませんが、再生時にDATA CODEボタンを押すと確認できます(67ページ)。

目次

使用前に必ずお読みください	2
各部のなまえ	4
本体	4
ワイヤレスリモコン	9
画面表示	10

準備する

準備1:付属品を確かめる	16
準備2:バッテリーを充電する	17
準備3:マイクやレンズカバー付きフードを取り付ける	19
準備4:アクセサリーシューを取り付ける	21
準備5:電源を入れて日時を合わせる	21
日時を合わせる	22
準備6:液晶モニターとファインダーを調節する	23
準備7:メモリーカードを入れる	24

撮影する

撮影する	26
動画を撮影する	26
録画ボタン / ハンドル録画ボタンの設定を変える	28
ズームする	30
フォーカスを調節する	31
一時的にオートフォーカス／フォーカス固定で撮る(ブッシュオートフォーカス／フォーカスホールド)	31
拡大表示をしてピントを合わせる(拡大フォーカス)	32
遠くの被写体にピントを合わせる(フォーカス無限)	32
画面をタッチしてピントを合わせる(スポットフォーカス)	32
検出した顔にピントを合わせる(顔認識)	32
録画設定を変更する	34
ハイビジョン画質(HD)の録画フォーマットを選ぶ	34
MP4動画を記録する	34
DV MODE(DVモード)を設定する	35
明るさを調節する	36
アイリスを調節する	36
ゲインを調節する	37
シャッタースピードを調節する	37
露出の調節について	38
光量を調節する(NDフィルター)	39
色合いを調節する	39
自然な色合いに調節する(ホワイトバランス)	39

音の設定をする	41
内蔵マイクを使う	41
付属のマイクで収録する	41
外部音声機器などを使う	42
好みの音量に設定する	43
ヘッドホンの音声を設定する	43
便利な機能を使う	43
薄暗い場所で撮る(ビデオライト)	43
状況に合わせて撮る(オートモード設定)	44
本機の Wi-Fi 機能を使ってできること	45
「PlayMemories Mobile」をダウンロードする	46
NFC 機能搭載の Android スマートフォンでワンタッチ接続する	46
スマートフォンを本機のリモコンとして使う	47
スマートフォンに画像を転送する	48
NFC を使わずに接続する(Android)	49
NFC を使わずに接続する(iPhone または iPad)	50
あらかじめ設定した画質で撮る(ピクチャープロファイル)	51
タイムデータを設定する	57
スロー＆クイックモーション撮影する	58
最後に撮影した映像を再生する(ラストシーンレビュー)	59
ASSIGN ボタンに機能を割り当てる	60

再生する

本機で再生する	62
動画を再生する	62
静止画を再生する	65
本機の設定を変更 / 確認する	67
画面表示を切り換える	67
再生時に情報を表示する(データコード)	67
本機の設定を確認する(ステータスチェック)	68
モニターやテレビにつなぐ	69

編集する

動画・静止画を保護する(プロジェクト)	71
動画を分割する	71
動画・静止画を削除する	72
動画・静止画をコピーする	73
動画から静止画を作成する	74
メモリーカードを初期化する	75
メモリーカード上のデータを復元しにくくする	75
管理ファイルを修復する	76

目次(つづき)

メニューで設定を変更する

メニューの使いかた	77
メニュー一覧	79
■ (CAMERA SET)メニュー	82
撮影状況に合わせるための設定(GAIN SET/STEADYSHOTなど)	
→ (REC/OUT SET)メニュー	85
録画、入出力に関する設定(REC SET/VIDEO OUTなど)	
♪ (AUDIO SET)メニュー	86
録音に関する設定(HD AUDIO FORMAT/XLR SETなど)	
■ (DISPLAY SET)メニュー	88
画面 / ファインダーの表示設定(MARKER/DISPLAY OUTPUTなど)	
00:00 (TC/UB SET)メニュー	92
タイムコードの設定(TC PRESET/UB PRESET/TC FORMATなど)	
■ (NETWORK SET)メニュー	93
Wi-Fi 機能に関する設定(SEND TO SMARTPHONE/CTRL W/ SMARTPHONEなど)	
■ (OTHERS)メニュー	94
撮影時の設定や、各種基本設定(AREA SET/BEEPなど)	

他機器と接続する

外付けメディアを使って保存する	97
ソニー製ブルーレイディスクレコーダーを使って保存する	99
レコーダーなどで標準画質(DV)のディスクを作る	100

困ったときは

故障かな?と思ったら	101
警告表示とお知らせメッセージ	108

その他

記録時間と撮影枚数について	111
海外で使う	113
メモリーカードのファイル / フォルダ構成	114
使用上のご注意とお手入れ	115
AVCHD 規格について	115
メモリーカードについて	115
InfoLITHIUM(インフォリチウム)バッテリーについて	116
本機の取り扱いについて	117

主な仕様	120
保証書とアフターサービス	122
索引	123

準備する

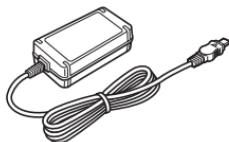
準備 1:付属品を確かめる

箱を開けたら、付属品がそろっているか確認してください。万一、不足の場合はお買い上げ店にてご相談ください。

()内は個数。

- メモリーカード、リチャージャブルバッテリー^{パック}、ACアダプター/チャージャーは別売です。本機で使えるリチャージャブルバッテリー^{パック}については17ページをご覧ください。また、推奨のACアダプター/チャージャーについては43ページをご覧ください。

ACアダプター(AC-L100C)(1)(17ページ)



電源コード(1)(17ページ)



ワイヤレスリモコン(RMT-845)(1)(9ページ)



ボタン型リチウム電池があらかじめ取り付けられています。

大型アイカップ(1)(23ページ)



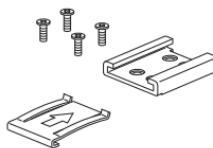
レンズカバー付きフード(1)(20ページ)



ウインドスクリーン(1)、マイク(ECM-XM1)(1)(19ページ)



アクセサリーシューキット(アクセサリーシュー(1)、シューバネ(1)、ネジ(4))(21ページ)



CD-ROM「Manuals for Digital HD Video Camera Recorder」(1)

取扱説明書(2)

保証書(1)

ソフトウェアのダウンロードについて

本機をパソコンと接続して使用する際は、必要に応じてデバイスドライバーや各種プラグインソフトウェア、アプリケーションソフトウェアをソニープロフェッショナル/業務用製品サイトからダウンロードしてお使いください。

ソニープロフェッショナル/業務用製品サイト ホームページ:

アメリカ合衆国:

<http://pro.sony.com>

カナダ: <http://www.sonybiz.ca>

ラテンアメリカ:

<http://sonypro-latin.com>

ヨーロッパ、中東、アフリカ

<http://www.pro.sony.eu>

日本 <http://www.sonybsc.com>

アジア <http://pro.sony-asia.com>

韓国 <http://bp.sony.co.kr>

中国 <http://pro.sony.com.cn>

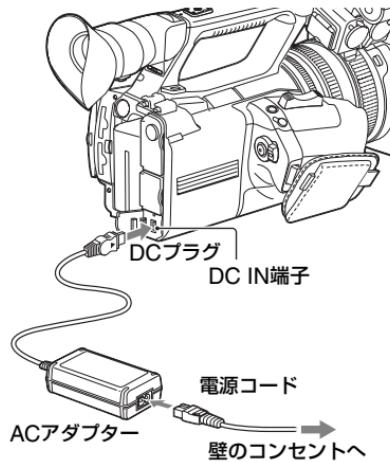
準備2:バッテリーを充電する

記録した素材は、情報が複数のファイル、複数のフォルダにまたがって置かれていますが、専用アプリケーションソフトウェアでは、これらの情報やディレクトリ構造を、ユーザーが意識することなく、容易に扱えるようになっています。

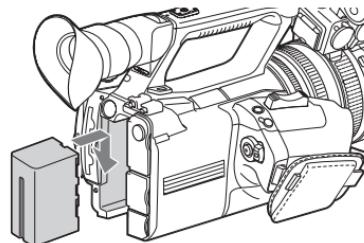
専用の“インボリチウム”バッテリー(Lシリーズ)を、ACアダプター(付属)を使って充電します。

●ご注意

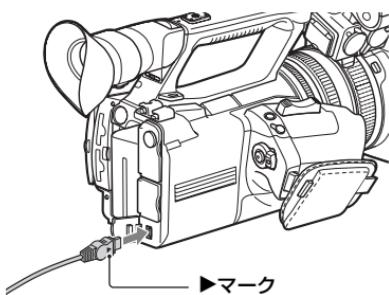
- 高容量バッテリーNP-F770/F970(別売)をお使いいただけます。NP-F570はお使いいただけません。



- 1 バッテリーを押しながら、下にずらして取り付ける。



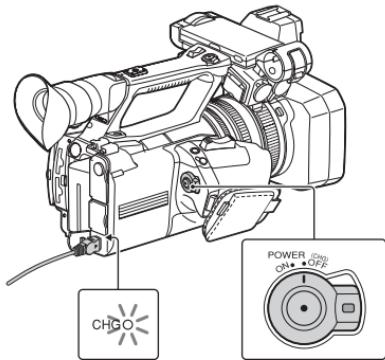
2 DCプラグの▶が外側に向くよう に、本機のDC IN端子につなぐ。



3 電源コードをACアダプターとコ ンセントにつなぐ。

4 POWERスイッチを「OFF」にす る。

CHGランプが点灯し、充電が始まります。



充電が終わると

充電が完了すると、CHGランプが消灯し
ます。

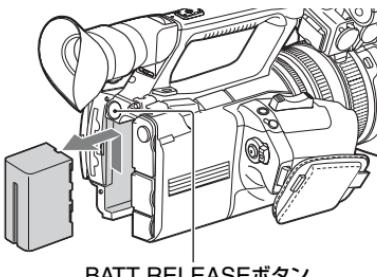
充電が終わったら、ACアダプターをDC
IN端子から取り外してください。

✿ちょっと一言

- ステータスチェックでバッテリー残量を確認
できます(68ページ)。

バッテリーを取り外すには

POWERスイッチを「OFF」にする。BATT
RELEASEボタンを押しながら、上にずら
してバッテリーを取り外す。



保管するときは

長い間使わないときは、バッテリーを使い
切ってから保管してください(117ペー
ジ)。

充電時間

バッテリーを使い切った状態から充電し
たときにかかる、およその時間(分)です。

バッテリー型名	満充電
NP-F770	370
NP-F970	520

準備3:マイクやレンズカバー付きフードを取り付ける

バッテリーについて

- ・バッテリーの交換は、POWERスイッチを「OFF」にしてから行ってください。
- ・次のときは、充電中にCHGランプが点滅したり、バッテリーインフォが正しく表示されないことがあります。
 - バッテリーを正しく取り付けていないとき
 - バッテリーが故障しているとき
 - バッテリーが劣化しているとき

コンセントにつないで使うには

ACアダプターを使用すると、コンセントから電源を取れます。ACアダプター使用時は、バッテリーが取り付けられていても、バッテリー残量は減りません。

「準備2:バッテリーを充電する」(17ページ)の手順3まで行う。

④ご注意

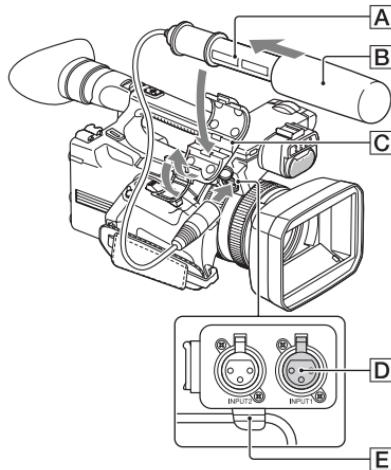
- ・ACアダプターAC-L100C(付属)を使用しているときは、ビデオライトは点灯しません。ビデオライトを使用する場合は、別売のバッテリーを使用してください(43ページ)。
- ・接続コードDK-415 1-782-361-(別売)とACアダプター/チャージャーAC-VL1 1-487-539-(別売)を使用すると、電力を供給しながらビデオライトを点灯することができます。接続コードDK-415およびACアダプター/チャージャーAC-VL1の購入についてはソニー業務用商品相談窓口までお問い合わせください。

ACアダプターについて

- ・ACアダプターのDCプラグやバッテリー端子を金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。

マイクを取り付ける

付属のマイク(ECM-XM1)を使って音声を記録するときは、次の手順を行ってください。

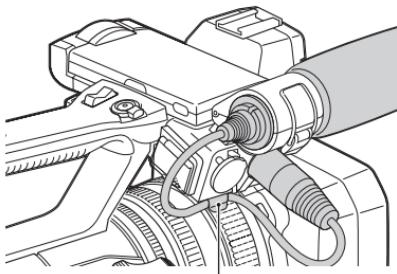


1 付属のマイク[A]にウインドスクリーン[B]をかぶせる。

2 マイク[A]を、型名が上になるようマイクホルダー[C]に取り付ける。

3 マイクケーブルをINPUT1端子[D]につなぐ。

4 図のように、マイクケーブルをケーブルホルダーに取り付ける。



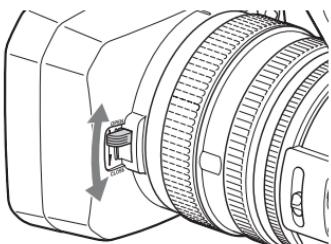
外側のホルダーに取り付ける。

✿ちょっと一言

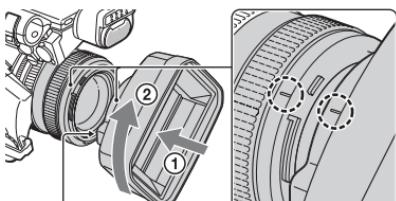
- 直径72ミリの偏光フィルターや保護フィルターを取り付けたり取り外したりするときは、レンズカバー付きフードを取り外してください。

レンズカバーを開閉するには

レンズカバーを開けるときはレンズカバーレバーを「OPEN」に、閉じるときは「CLOSE」に動かす。



レンズカバー付きフードを取り付ける



PUSH(レンズフード取りはずし)ボタン

本体とフードの印を合わせて、矢印②の方向にロックされるまで回す。

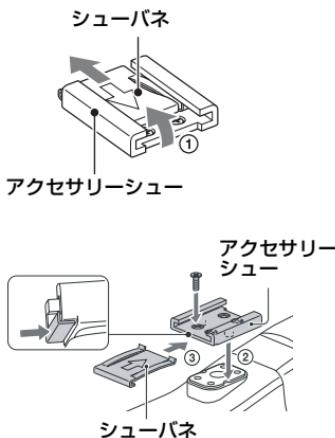
レンズカバー付きフードを取り外すには

PUSH(レンズフード取りはずし)ボタンを押しながら、取り付けた方向と反対方向に回す。

準備4:アクセサリー シューを取り付ける

アクセサリーシューにハンドル以外のアクセサリーを取り付ける場合は、シーバネをお使いください。

アクセサリーシューを取り付けるには
アクセサリーシュー取り付け部に図のよう
に取り付けてください。



- ① シーバネの先端を持ち上げ、刻印された矢印の向きと反対方向へ引き抜く。
- ② アクセサリーシューの凸部とアクセサリーシュー取り付け部の凹部を合わせて取り付け、4本のネジを締める。
- ③ シーバネを矢印の方向に挿入し、コの字部分がアクセサリーシューの端部にはまるように取り付ける。

アクセサリーシューを取り外すには

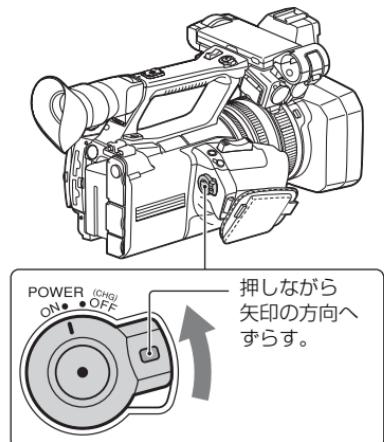
「アクセサリーシューを取り付けるには」の手順①と同様にシーバネを外し、ネジを緩めてアクセサリーシューを外す。

準備5:電源を入れて 日時を合わせる

電源を入れる

緑のボタンを押しながら、POWERスイッチを「ON」にする。

初めて電源を入れると自動的に[CLOCK SET]画面になります。



電源を切るには

POWERスイッチを「OFF」にする。

●ご注意

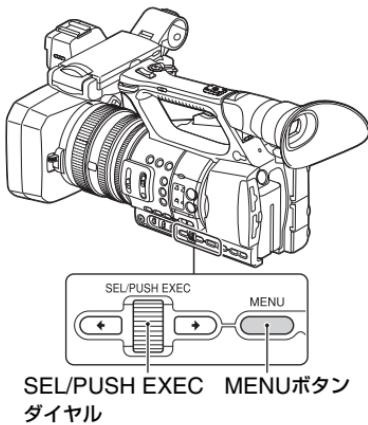
- お知らせメッセージが表示されたときは、その指示に従ってください。

日時を合わせる

初めて電源を入れたときは日付、時刻を設定してください。

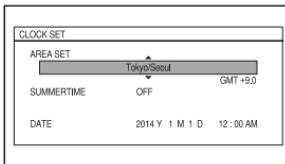
✿ちょっと一言

- 3か月近く使わないでおくと内蔵の充電式電池が放電して、日付、時刻の設定が解除されます。充電式電池を充電してから設定し直してください(119ページ)。



日時合わせをやり直すときは、MENUボタンを押して、 (OTHERS) メニュー → [CLOCK SET] を選んでください。

1 SEL/PUSH EXECダイヤルを回してエリアを選び、押して決定する。



2 同様に、[SUMMERTIME]、[Y]、[M]、[D]、時、分を合わせ、SEL/PUSH EXECダイヤルを押して決定する。



時計が動き始めます。

- [SUMMERTIME] を [ON] にすると、時計が1時間進みます。
- [Y] は2037年まで設定できます。
- 真夜中は12:00AM、正午は12:00PMです。

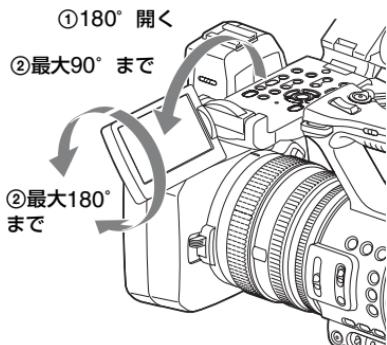
✿ちょっと一言

- 日付時刻は撮影したメモリーカードに自動的に記録され、再生時に表示させることができます(DATE CODEボタン、67ページ)。

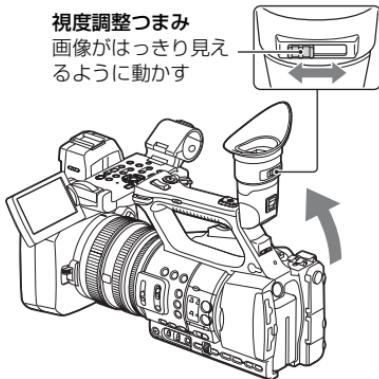
準備6:液晶モニターとファインダーを調節する

液晶モニターを使う

液晶モニターは下図の範囲で回転させられるので、撮影者以外が映像を確認することもできます。



ファインダーを見やすく調節する

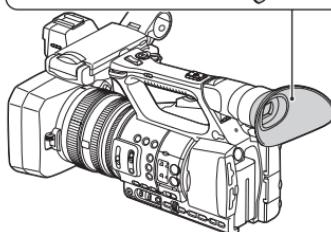
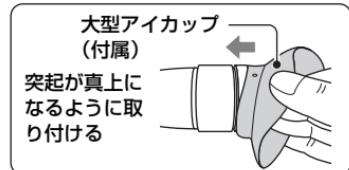


ちょっと一言

- ファインダーのバックライトの明るさは、メニューの[VF BACKLIGHT]で設定できます(92ページ)。

ファインダーの画像が見えにくいときは

周囲が明るすぎるなど、ファインダーの画像が見えにくいときは、付属の大型アイカップをお使いください。大型アイカップを少し伸ばし、本体に装着されているアイカップの溝に合わせて取り付けます。大型アイカップは左右どちらの向きでも取り付けられます。



ご注意

- 本体にあらかじめ装着されているアイカップは取りはずさないでください。

ご注意

- ビューファインダー内で視線を動かした場合などに原色が見えることがあります。故障ではありません。
また、原色が実際にメモリーカードに記録されることはありません。

準備7:メモリーカードを入れる

本機で使えるメモリーカード

	動作確認済みの容量
“メモリースティック PRO デュオ”(Mark2) ^{*1}	32 GB
“メモリースティック PRO-HG デュオ” ^{*1}	
“メモリースティック XC-HG デュオ” ^{*1}	
SDメモリーカード ^{*2}	64 GB
SDHCメモリーカード ^{*2}	
SDXCメモリーカード ^{*2}	

*1本書では、“メモリースティック PRO デュオ”と表現しています。

*2本書では、SD カードと表現しています。

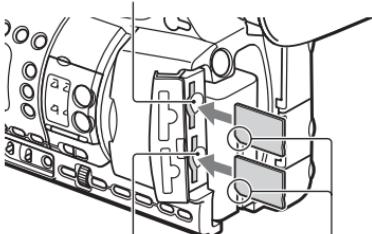
●ご注意

- すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。
- 標準の“メモリースティック”的約半分の大きさの“メモリースティック PRO デュオ”、または標準の大きさのSDカードのみ使えます。
- スピードクラスがClass 4以上のSDカードをご使用ください。ただし、標準画質(DV)記録時はClass 6以上のSDカードを、スロー＆クイックモーション撮影時は、Class 10以上のSDカードをご使用ください。
- 標準画質(DV)およびスロー＆クイックモーション撮影は、“メモリースティック PRO デュオ”には記録できません。
- メモリーカード本体およびメモリーカードアダプターにラベルなどは貼らないでください。故障の原因になります。
- メモリーカードの記録時間は111ページをご覧ください。
- “メモリースティック XC-HG デュオ”、SDXCメモリーカードに記録した映像は、exFAT(“メモリースティック XC-HG デュオ”、SDXCメモリーカードで使用されているファイルシステム)に対応していないパソコンやAV機器などに、本機をUSBケーブルで接続して取り込んだり、再生したりできません。接続する機器がexFATに対応しているからかじめご確認ください。対応していない機器に接続した場合、

フォーマット画面が表示される場合がありますが、決して実行しないでください。記録した内容が全て失われます。

カバーを開けて、メモリーカードの切り欠き部を図の向きにして「カチッ」というまで押し込む。

メモリーカードスロットA



メモリーカードスロットB

切り欠き部の向きに注意する。

- 誤った向きで無理に入れると、メモリーカードやメモリーカードスロット、画像データが破損することがあります。
- メモリーカードスロットAは、“メモリースティック PRO デュオ”、SDカードの両方に対応しています。メモリーカードスロットBはSDカードのみ対応しています。

メモリーカードを取り出すには

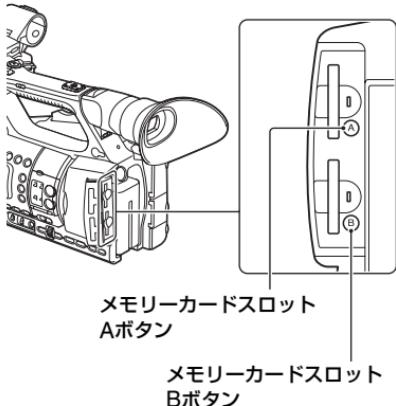
メモリーカードを軽く1回押して取り出す。

●ご注意

- [The image database file is corrupted. The media must be restored to use again.] と表示されたときは、メモリーカードを初期化してください(75ページ)。
- 出し入れ時にはメモリーカードの飛び出しにご注意ください。

記録するメモリーカードスロットを選択するには

記録したいメモリーカードが入ったメモリーカードスロットAまたはBボタンを押す。選択したスロットは画面上で確認できます。



✿ご注意

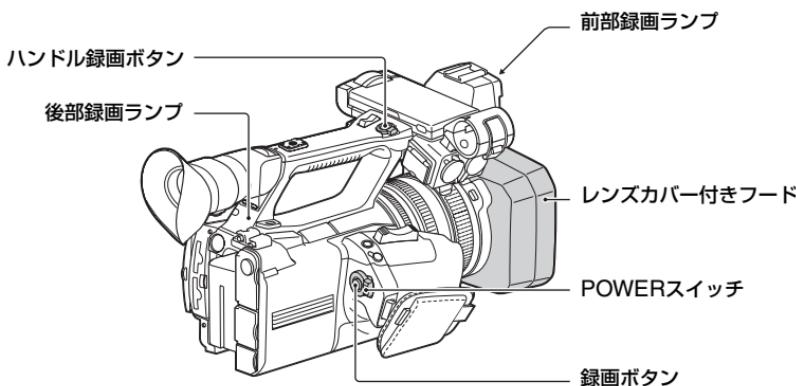
- メモリーカードが挿入されているスロットのみ選択可能です。
- メモリーカードへの動画の記録中に、メモリーカードスロットA/Bボタンを押しても、スロットの切り替えはできません。

✿ちょっと一言

- メモリーカードが1枚だけ挿さっているときは、メモリーカードが挿さっているスロットが自動的に選択されます。
- 録画中にメモリーカードの容量がいっぱいになった場合、もう一方のスロットにメモリーカードが挿入されいれば、自動で切り替わります(リレー記録、27ページ)。

撮影する

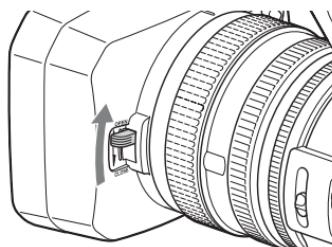
撮影する



動画を撮影する

本機は動画をメモリーカードに記録します。お買い上げ時は、動画はハイビジョン画質(HD)で記録されます。下記の手順で動画を撮影します。

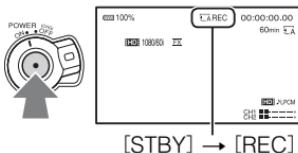
-
- 1 レンズカバー付きフードのシャッターを開ける。



- 2 緑のボタンを押しながら、POWERスイッチを「ON」にする。



3 録画ボタン(またはハンドル録画ボタン)を押して撮影を始める。



撮影中は録画ランプが点灯します。

動画撮影を止めるには、録画ボタン(ハンドル録画ボタン)をもう一度押します。

◆ご注意

- ・アクセスランプが赤色で点灯中または点滅中は、データの読み込みや書き込みを行っています。本機に振動や強い衝撃を与えないでください。また、電源を切ったり、メモリーカードやバッテリー、ACアダプターを取り外したりしないでください。画像データが壊れることがあります。
- ・動画の記録時間については111ページをご覧ください。
- ・動画の連続撮影可能時間は約13時間です。
- ・撮影中の動画ファイルサイズが2GBを超えると、自動的にファイルが分割されて次のファイルが生成されます。
- ・メニューの設定や、ピクチャープロファイルの設定、AUTO/MANUALスイッチを使った設定はPOWERスイッチを「OFF」にすると保存されます。保存処理中はアクセスランプが点灯します。ただし、途中でバッテリーやACアダプターを取り外すとお買い上げ時の設定に戻る可能性があります。
- ・使用する国や地域によっては、お買い上げ時の設定は[PP4]になっています。その場合はPOWERスイッチを「ON」にすると[PP4]が表示されます(51ページ)。

✿ちょっと一言

- ・ハイビジョン画質(HD)での撮影時は、画像のアスペクト比は16:9に固定されます。DVモードで撮影するときは、4:3に切り換えられます([HDV WIDE REC]、85ページ)。
- ・撮影中の画面表示の切り換えについては67ページをご覧ください。
- ・撮影中の画面表示については10ページをご覧ください。
- ・録画ランプが点灯しないように設定できます([REC LAMP[F]]、[REC LAMP[R]]、96ページ)。
- ・本機では、記録した動画から静止画を作成できます(74ページ)。

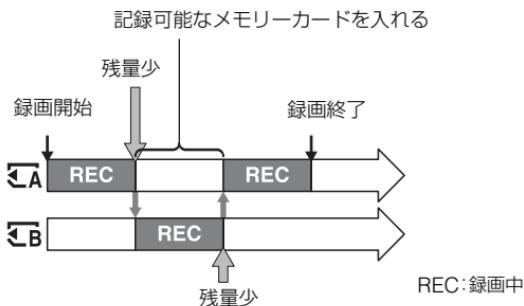
メモリーカードを入れ換えながら、中断することなく撮影するには(リレー記録)

A/B両方のメモリーカードスロットにメモリーカードを入れておけば、撮影中にメモリーカード A(またはメモリーカード B)の残量がなくなる直前に、自動的にもう一方のメモリーカードへの記録に切り替わります。

撮影する(つづき)

撮影前に以下の設定をしてください。

MENUボタンを押す→SEL/PUSH EXECダイヤルで、 (REC/OUT SET)メニュー→[REC SET]→[SIMUL/RELAY REC]→[RELAY REC]にする。



ご注意

- 記録中のメモリーカードを取り出さないでください。記録中にメモリーカードを入れ換えるときは、スロットのランプが消灯しているスロットのみ行ってください。
- 記録中にメモリーカードスロットA/Bボタンを押しても、スロットの切り替えはできません。
- 記録中のメモリーカードの残量が1分未満のときに、もう一方のスロットに記録可能なメモリーカードが入っていると、[ ]または[ ]が表示されます。メモリーカードスロットが切り替わると消えます。
- メモリーカードの残量が1分未満のときに記録を始めると、リレー記録ができない場合があります。リレー記録を正しく行うには、記録開始時にメモリーカードの残量が1分以上あることを確認してください。
- 本機を使ってリレー記録した動画は、本機上ではシームレス再生できません。
- 本機を使ってリレー記録した動画を結合するには、ソフトウェア「Content Browser」を使用してください(Windows)。

メモリーカードAとメモリーカードBの両方に記録するには(同時記録)

メモリーカードAとメモリーカードBの両方のメモリーカードを使って同時記録が行えます。

MENUボタンを押す → SEL/PUSH EXECダイヤルで、 (REC/OUT SET)メニュー→[REC SET] → [SIMUL/RELAY REC] → [SIMULTANEOUS REC]にする。

録画ボタン/ハンドル録画ボタンの設定を変える

録画ボタンとハンドル録画ボタンで、それぞれ別のメモリーカードの記録開始/終了をすることができます。

お買い上げ時は、どちらのボタンもメモリーカードAとメモリーカードBの両方に同時に記録するように設定されています。

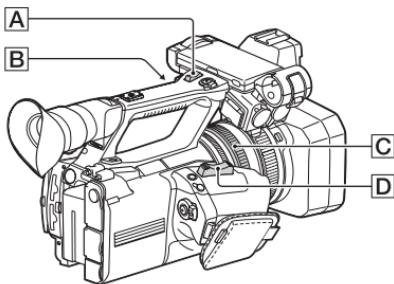
- REC BUTTON:  
- HANDLE REC BUTTON:  

設定を変えるには

MENUボタンを押す→SEL/PUSH EXECダイヤルで、➡ (REC/OUT SET)→[REC SET]→[REC BUTTON SET]を選択する。

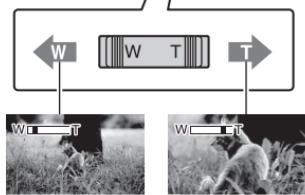
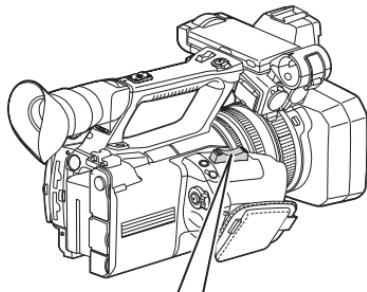
REC BUTTON SETの設定	ボタンとメモリーカード
REC BUTTON: <input checked="" type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B HANDLE REC BUTTON: <input checked="" type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B	どちらのボタンを押しても、メモリーカードAとメモリーカードBに同時に記録を開始/終了する。
REC BUTTON: <input type="checkbox"/> A HANDLE REC BUTTON: <input checked="" type="checkbox"/> B	録画ボタンを押したときはメモリーカードAに、ハンドル録画ボタンを押したときはメモリーカードBに、記録を開始/終了する。
REC BUTTON: <input type="checkbox"/> B HANDLE REC BUTTON: <input checked="" type="checkbox"/> A	録画ボタンを押したときはメモリーカードBに、ハンドル録画ボタンを押したときはメモリーカードAに、記録を開始/終了する。

ズームする



ズームレバーでズームする

ズームレバー[D]を軽く動かすとゆっくり、さらに動かすと速くズームします。



広角:
Wide(ワイド)

望遠:
Telephoto
(テレフォト)

✿ちょっと一言

- ピント合わせに必要な被写体との距離は、広角は約1cm以上、望遠は約80cm以上です。

- 被写体との距離が80cm以内の被写体は、ズーム位置によってはピントが合わないことがあります。
- ズームレバー[D]から指を離さずに操作してください。指を離すとズームレバー[D]の操作音が記録されることがあります。
- ズームレバー[D]やハンドルズームレバー[A]のズーム駆動速度を速くすることもできます([SPEED ZOOM]、83ページ)。

ハンドルズームでズームする

- ① ハンドルズームスイッチ[B]を「VAR」または「FIX」にする。

✿ちょっと一言

- 「VAR」にすると押し具合によってズームスピードが変化します。
- 「FIX」にすると押し具合に関わらず固定スピードで動きます(スピードはメニューで設定します。[HANDLE ZOOM]、83ページ)。

- ② ハンドルズームレバー[A]を押してズームする。

✿ご注意

- ハンドルズームスイッチ[B]が「OFF」になっていると、ハンドルズームは使えません。
- ハンドルズームスイッチ[B]で本体のズームレバー[D]の速さを変えることはできません。

ズームリングでズームする

ズームリング[C]を回して好みの速さでズームすることができます。微調整も可能です。

✿ご注意

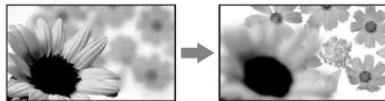
- ズームリング[C]は適度な速さで回してください。速すぎると、ズームリングの回転に追いつかないことがあります。また、ズームの駆動音が記録されることがあります。

フォーカスを調節する

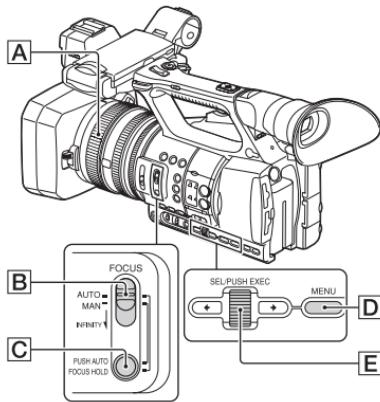
撮影状況に応じて、手動でピント合わせができます。

以下のようなときに使います。

- 水滴の付いた窓の向こうの被写体
- 横じまの多い被写体
- 背景とコントラストの弱い被写体
- 意図的にピントを手前の被写体から奥の被写体に送るとき



- 三脚で撮影する静止した被写体



1 撮影またはスタンバイ中に、FOCUSスイッチ[B]を「MAN」にする。

④が表示されます。

2 フォーカスリング[A]を回してピントが合うように調節する。

④は、ピントをそれ以上遠くに合わせられないとき▲に変わり、それ以上近

くに合わせられないとき●に変わります。

自動調整にするには

FOCUSスイッチ[B]を「AUTO」にする。
④が消え自動調整に戻ります。

✿ちょっと一言

- 次のとき、フォーカス距離情報(ピントが合う距離。暗くてフォーカスが合わせにくいときに目安として使用します。)を約3秒間表示します。
 - FOCUSスイッチ[B]を「MAN」にして④を表示させたとき
 - ④表示中にフォーカスリング[A]を回したとき
- フォーカス距離情報はメートル表示とフィート表示で切り換えられます([FOCUS DISPLAY]、91ページ)。

一時的にオートフォーカス／フォーカス固定で撮る(ブッシュオートフォーカス／フォーカスホールド)

ブッシュオートフォーカスを使う

FOCUSスイッチ[B]を「MAN」にして、PUSH AUTO/FOCUS HOLDボタン[C]を押して撮影する。押している間は、オートフォーカスで撮影できます。指を離すと手動ピント合わせに戻ります。

フォーカスホールドを使う

FOCUSスイッチ[B]を「AUTO」にして、PUSH AUTO/FOCUS HOLDボタン[C]を押して撮影する。押している間は、ボタンを押したときのフォーカスを固定して撮影できます。指を離すと自動ピント合わせに戻ります。

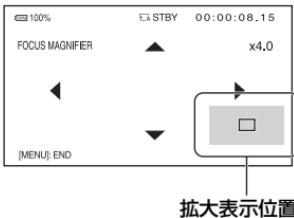
フォーカスを調節する(つづき)

拡大表示をしてピントを合わせる(拡大フォーカス)

選択された領域の画面を拡大して表示します。ピントが合っているかを確認するときに便利です。
ASSIGN6ボタンに[FOCUS MAGNIFIER]が割り当てられています(60ページ)。

ASSIGN6ボタンを押す。

画面中央が拡大されます。
押すたびに設定が切り替わります。



本機の▲/▼/◀/▶ボタンで拡大表示の位置を変更できます。EXECボタンを押すと、拡大表示位置が中央に戻ります。

ご注意

- 拡大フォーカスで表示されていても、記録される画像は拡大されません。

ちょっと一言

- [FOCUS MAG RATIO]で拡大する倍率を切り換えられます(90ページ)。

遠くの被写体にピントを合わせる(フォーカス無限)

FOCUSスイッチ[B]を「INFINITY」までスライドさせたままにする。
⑩が表示されます。
指を離すと手動ピント合わせに戻ります。

遠くの被写体を撮りたいのに、近くの被写体にピントが合ってしまうときに使います。

ご注意

- フォーカス無限は、ピントを手動調節中のみ有効です。ピントを自動調節しているときは働きません。

画面をタッチしてピントを合わせる(スポットフォーカス)

画面をタッチしたポイントにフォーカスを合わせます。

1 MENUボタン[D]を押す。

2 SEL/PUSH EXECダイヤル[E]で、▶(CAMERA SET)メニュー → [SPOT FOCUS]を選ぶ。

3 フォーカスを合わせたいポイントの液晶モニターをタッチする。

ご注意

- [SPOT FOCUS]は、FOCUSスイッチ[B]が「MAN」のときのみ行えます。

ちょっと一言

- ASSIGNボタンに割り当てるできます(60ページ)。

スポットフォーカスを止めるには
MENUボタン[D]を押す。

検出した顔にピントを合わせる(顔認識)

人物の顔を検出して、その顔にピントを合わせられます(お買い上げ時の設定は

[OFF])。FOCUSスイッチ[B]が「AUTO」のときに使用できます。

1 MENUボタン[D]を押す。

2 SEL/PUSH EXECダイヤル[E]で、 (CAMERA SET)メニュー → [FACE DETECTION] → [ON]または[OFF]を選ぶ。

顔を検出すると、枠が表示されます。

3 SEL/PUSH EXECダイヤル[E]を回して選択カーソル(オレンジ色の枠)を移動して、優先する顔を選び、押して決定する。



優先されている顔枠が二重枠に変わります。

優先顔を止めるには

SEL/PUSH EXECダイヤル[E]で優先設定している顔枠(二重枠)に選択カーソル(オレンジ色の枠)を合わせて、押して決定する。

●ご注意

- 撮影環境や、被写体の状態、設定によっては顔部分を検出できないことがあります。

- 撮影環境によっては正しい効果が得られない場合があります。この場合は[FACE DETECTION]を[OFF]にしてください。

- デジタルズーム中は、顔検出が無効になります。

ちょっと一言

- ASSIGNボタンに割り当てることができます(60ページ)。

- 顔検出をしやすくするためには以下のようない状況で撮影してください。

- 適度に明るい場所で撮影する
- 帽子やマスク、サングラスなどで顔が隠れないようにする
- 顔をカメラ正面に向ける

- [FACE DETECTION]が[ON]のときは、シャッタースピードなどの操作が行えません。ただし、FOCUSスイッチ[B]を「MAN」にすると、[FACE DETECTION]が一時的に[OFF]になります。シャッタースピードなどを操作できます。

録画設定を変更する

ハイビジョン画質(HD)の録画 フォーマットを選ぶ

録画フォーマット(ビットレート、画サイズ、フレームレート、スキャン方式)を選べます。お買い上げ時は[**HD**: 1080/60i FX]に設定されています。

1 MENUボタンを押す。

2 SEL/PUSH EXECダイヤルで、 ➡ (REC/OUT SET)メニュー → [REC SET] → [**HD**: REC FORMAT] → 希望の録画フォー マットを選択する。

設定値	説明
1080/60i FX	ビットレート
1080/60i FH	PS:最大28Mbps FX:最大24Mbps
1080/60i HQ	FH:約17Mbps(平均) HQ:約9Mbps(平均) LP:約5Mbps(平均)
1080/60i LP	画サイズ
1080/60p PS	PS:1,920×1,080 FX:1,920×1,080/ 1,280×720
720/60p FX	FH:1,920×1,080/ 1,280×720
720/60p FH	HQ:1,440×1,080/ 1,280×720
720/60p HQ	LP:1,440×1,080
1080/30p FX	フレームレート
1080/30p FH	60.30, 24のいずれか
1080/24p FX	スキャン方式
1080/24p FH	i:インターレース p:プログレッシブ

設定値の値がそれぞれ何を表しているかを1080/60i FXを例に説明します。

- 1080:有効走査線数を表しています。
- 60:フレームレートを表します。
- i:スキャン方式を表します。
- FX:録画モードを表します。

フレームレート表示について

画面に表示されるフレームレートは実際と異なります。

フレームレート表示	実際のフレームレート
24	23.98
30	29.97
60	59.94

●ご注意

- [**HD**: REC FORMAT]で、PSまたはFXの録画モードに設定して撮影した動画は、外付けメディアとブルーレイディスクのみに保存できます(97, 99ページ)。
- [SIMUL/RELAY REC]が[MP4 SIMUL REC]の場合は、[**HD**: REC FORMAT]の1080/60p PSを選択できません。

✿ちょっと一言

- 標準画質(DV)は720/60i HQに固定されます。

MP4動画を記録する

ハイビジョン画質(HD)の撮影と同時にMP4の動画を記録することができます。

1 MENUボタンを押す。

2 SEL/PUSH EXECダイヤルで、 ➡ (REC/OUT SET)メニュー → [REC SET] → [SIMUL/ RELAY REC] → [MP4 SIMUL REC]を選択する。

●ご注意

- MP4動画のフォーマットは720/30pに固定されます。
音声記録はAACに固定されます。
- ハイビジョン画質(HD)のフレームレートが24pのときは、MP4動画も24pになります。
- MP4動画記録時は[REC FORMAT]を1080/60p PSに設定することはできません。
- 以下の設定の場合は、[MP4 SIMUL REC]は設定できません。
 - DVモード設定時
 - [COLOR BAR]が[ON]のとき
 - [DATE REC]が[ON]のとき
 - [REC FORMAT]が1080/60p PSのとき
 - S&Q MOTION記録時
- MP4動画には以下の情報は適応されません。
 - タイムコード
 - ユーザーピット
- 本機で記録したMP4動画は、本機での再生、削除、コピー、プロテクトはできません。
- 動画ファイルが2GBを超えると、自動的にファイルが分割されて次のファイルが生成されます。

MP4動画記録時に使用できない機能

- DVモード
- COLOR BAR
- DATE REC
- S&Q MOTION
- FACE DETECTION

DV MODE(DVモード)を設定する

本機では、標準画質のDV規格での記録・再生が可能です。

1 MENUボタンを押す。

2 SEL/PUSH EXECダイヤルで、 ➡ (REC/OUT SET)メニュー → [REC SET] → [DV MODE] → [YES]を選択する。

再起動してDVモードに切り換わります。

●ご注意

- [SIMUL/RELAY REC]が[MP4 SIMUL REC]の場合は、DVモードに変更できません。

DVモード設定時に使用できなくなる機能

- 静止画再生
- 記録した動画・静止画を保護する(プロテクト)
 - メニューに[PROTECT]は表示されません。
- 動画を分割する
 - メニューに[DIVIDE]は表示されません。
- 動画・静止画をコピーする
 - 外付けメディアへのコピーも含めて、DVファイルのコピーはできません。
 - メニューに[COPY]は表示されません。
- 動画から静止画を作成する

DVモードで使用できないメニュー一覧

- ➡ (REC/OUT SET)
 - REC FORMAT
 - (AUDIO SET)
 - AUDIO FORMAT

●ご注意

- DVモード選択時は、[HD: AUDIO FORMAT]はLPCM固定になり、画面にも[♪LPCM]の表示はされません。

DVモードに設定したとき、以下の項目を使用することができます。

➡ (REC/OUT SET)

- DV: WIDE REC
- CANCEL DV MODE

●ご注意

- モード切り換えを行うと、設定が初期化されます。

ファイルサイズが2GBで自動分割されますが、本機では自動分割されたファイルはまとめて1つの動画として表示されます。

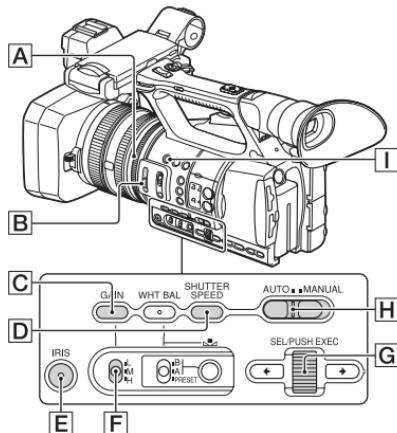
DVモードを解除するには

- ① MENU ボタンを押す。
- ② SEL/PUSH EXEC ダイヤルで
➡ (REC/OUT SET) メニュー→
[REC SET] → [CANCEL DV MODE]
→ [YES] を選択する。

DVモードを解除すると、以下の設定はお買い上げ時に戻ります。

- HD: REC FORMAT
- FRAME RATE
- 録画設定
- 画像サイズ
- SIMUL/RELAY REC
- HD: AUDIO FORMAT

アイリス、ゲイン、シャッタースピードを調節したり、NDフィルター[B]を使って光量を調節したりすることで、明るさを調節できます。



●ご注意

- AUTO/MANUALスイッチ[H]を「AUTO」にすると、アイリス、ゲイン、シャッタースピード、ホワイトバランスが自動調整になります。手動調節はできません。

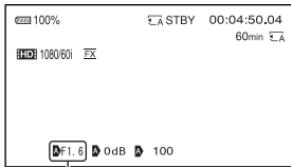
アイリスを調節する

背景をぼけさせたり、くっきりさせたりしたいときに便利です。

- 1 AUTO/MANUALスイッチ[H]を「MANUAL」にする。

2 IRISボタン[E]を押す。

アイリス値の横から**A**もしくは**B**が消えます。



アイリス値

3 アイリスリング[A]を回して調節する。

絞りを開く(アイリス値を小さくする)と光量が増えます。絞りを閉じる(アイリス値を大きくする)と、光量が減ります。

一時的に自動調整にするには
IRIS PUSH AUTOボタン[I]を押し続ける。
押している間だけ、自動で調整されます。

自動調整にするには

IRISボタン[E]を押す。
アイリス値が消えるか、もしくはアイリス値の横に**A**が表示されます。AEを固定している場合は**B**が表示されます。

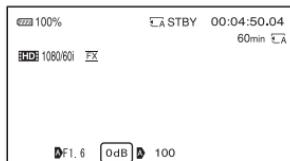
ゲインを調節する

AGC(オートゲインコントロール)によって、値を上げたくないときに使います。

1 AUTO/MANUALスイッチ[H]を「MANUAL」にする。

2 GAINボタン[C]を押す。

ゲイン値の横から**A**もしくは**B**が消えた状態にします。



ゲイン値

3 ゲインスイッチ[F]でH/M/Lを選択する。

設定されたゲイン値が表示されます。
H/M/Lの値は、 (CAMERA SET) メニューの[GAIN SET]でそれぞれ設定します(82ページ)。

自動調整にするには

GAINボタン[C]を押す。

ゲイン値が消えるか、もしくは、ゲイン値の横に**A**が表示されます。AEを固定している場合は**B**が表示されます。

ちょっと一言

- ゲインを[-6dB]に設定して録画した場合、再生時にデータコード表示をすると、ゲインは[--]表示となります。

シャッタースピードを調節する

シャッタースピードを自由に調節し、固定できます。被写体の動きを止めたり、逆に流動感を強調して撮影するときに便利です。

1 AUTO/MANUALスイッチ[H]を「MANUAL」にする。

2 SHUTTER SPEEDボタン[D]を押して、シャッタースピード値を反転表示させる。



3 SEL/PUSH EXECダイヤル[G]を回して、シャッタースピードを調節する。

1/4~1/10000(ただし、24p撮影時は1/3~1/10000)から選べます。シャッタースピードが画面に表示されます。例えば、1/100秒のときは[100]と表示されます。画面上の数値が大きくなるほどシャッタースピードが速くなります。

4 SEL/PUSH EXECダイヤル[G]を押して、シャッタースピードを固定する。

再度変更したい場合は、手順2から行います。

✿ちょっと一言

- シャッタースピードが遅いと、自動でピントが合いにくくなります。三脚などに固定して、手動でピントを合わせることをおすすめします。
- 蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯などの放電管による照明下で撮影すると、画面に横筋が見えたり、画面が明滅したり、色が変化したりすることがあります。このようなときは、シャッタースピードを関東地方など50Hzの地域では

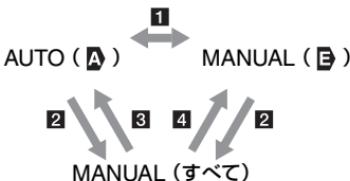
1/100、関西地方など60Hzの地域では1/60に設定することをおすすめします。

- シャッタースピード表示は秒表示と角度表示で切り換えられます([SHUTTER DISPLAY]、91ページ)。

自動調整にするには

SHUTTER SPEEDボタン[D]を1回押す。シャッタースピード値が消えるか、もしくはシャッタースピード値の横に[A]が表示されます。AEを固定している場合は[B]が表示されます。

露出の調節について



1 [SPOT METER]、[SPOT METER/FOCUS]でAUTO/MANUALを切り換えたとき

2 アイリス、ゲイン、シャッタースピードがすべて「MANUAL」のとき

3 最後に設定した明るさ調整が自動調整で、アイリス、ゲイン、シャッタースピードのうち1つでも「AUTO」にしたとき

4 最後に設定した明るさ調整が手動調整で、アイリス、ゲイン、シャッタースピードのうち1つでも「AUTO」にしたとき

✿ご注意

- AUTO/MANUALスイッチを「AUTO」にするか、[SPOT METER]、[SPOT METER/FOCUS]画面上で[EXEC]を選択すると、自動調整に戻ります。

色合いを調節する

光量を調節する(NDフィルター)

撮影状況が明るすぎるときは、NDフィルター**■**を使うと被写体を鮮明に撮影できます。

NDフィルター1は光量を約1/4に、ND
フィルター2は約1/16に、NDフィルター3
は約1/64に削減するようにそれぞれ設定
されています。

アイリスを自動調節しているとき、ND1が点滅したときは、NDフィルター1に、ND2が点滅したときはNDフィルター2に、ND3が点滅したときはNDフィルター3になります。

NDフィルター表示が点滅から点灯に変わります。

ND OFF が点滅したときは、ND フィルター
スイッチ [B] を「OFF」にしてください。ND
フィルター表示が消えます。

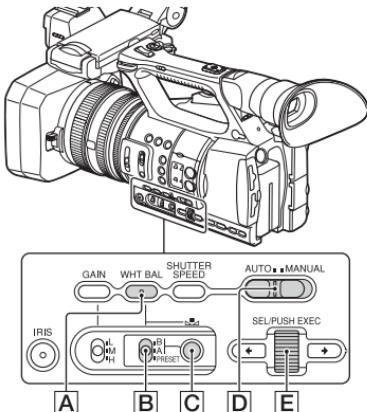
④ ご注意

- ・撮影中にNDフィルター~~■~~を切り換えると、画像が乱れたり音声にノイズが入ることがあります。
 - ・アイリスを手動で調節しているときは、NDフィルターの設定が必要な場合でも、NDフィルターの点滅表示が出ません。
 - ・NDフィルターの位置(OFF/1/2/3)を検出できないときは、画面上に~~ND~~が点滅します。NDフィルターが正しく設定されているか確認してください。

さちよつと一言

- 明るい被写体を撮影するとき、アイリスを極端に絞ると回折現象が生じピントが甘くなることがあります（ビデオカメラでは一般的に起こる現象です）。NDフィルター【B】を使うと、この現象を抑え、より良好な撮影結果を得ることができます。

自然な色合いに調節する(ホワイ トバランス)



撮影する場面の光に合わせてホワイトバランスを固定するときに使います。

A(■A)またはB(■B)を選ぶと、ホワイトバランスの調整値をメモリーAとBに個別に記憶させることができます。調整値は、再調整しない限り電源を切っても保持されます。

「PRESET」を選ぶと、あらかじめ

（CAMERA SET）メニューの[WB PRESET]で選んだ[OUTDOOR]、[INDOOR]、[MANU WB TEMP]のいずれかが設定されます。

ちょっと一言

- [WB PRESET] をASSIGNボタンに割り当てることができます(60ページ)。

1 AUTO/MANUALスイッチ[D]を「MANUAL」にする。

2 WHT BALボタン[A]を押して、WHT BAL表示を表示させる。

3 ホワイトバランスメモリースイッチ[B]を、PRESET/A/Bのいずれかにセットする。

■ A/Bの設定値

A/Bは、それぞれメモリーA/メモリーBに記憶させた調整値で撮影するときに設定します。

調整値を記憶する方法は40ページをご覧ください。

■ PRESETの設定値

■ (CAMERA SET)メニュー → [WB PRESET]でお好みの設定を選ぶ。

設定値	撮影状況例
屋外 ([OUTDOOR])	<ul style="list-style-type: none">夜景やネオン、花火などを撮るとき日の出、日没などを撮るとき昼光色蛍光灯の下
屋内 ([INDOOR])	<ul style="list-style-type: none">パーティー会場など照明条件が変化する場所スタジオなどビデオライイトの下ナトリウムランプや水銀灯の下
色温度設定 ([MANU WB TEMP])	<ul style="list-style-type: none">■ (CAMERA SET)メニュー → [WB TEMP SET]で、2300K～15000Kの範囲でお好みの色温度を設定できます(お買い上げ時の設定は6500K)。

✿ちょっと一言

- ✿ (OUTDOOR)に設定しているときに
■ (one push)ボタン[C]を押してSEL/PUSH EXECダイヤル[E]を回すと、屋外のホワイトバランス値を変更できます。-7(青め)～

0(標準、お買い上げ時の設定)～+7(赤め)から選べます。メニューで設定することもできます([WB OUTDOOR LEVEL](82ページ))。

- [MANU WB TEMP]に設定しているときに
■ (one push)ボタン[C]を押してSEL/PUSH EXECダイヤル[E]を回すと、色温度の値を変更できます([WB TEMP SET](82ページ))。

メモリーA、Bにホワイトバランスの調整値を記憶させるには

- ① AUTO/MANUALスイッチ[D]を「MANUAL」にする。
- ② WHT BALボタン[A]を押して、WHT BAL表示を表示させる。
- ③ A(■A)またはB(■B)を選ぶ。
- ④ 被写体と同じ照明条件のところで、白い紙などを画面いっぱいに映す。
- ⑤ ■ (one push)ボタン[C]を押す。
■Aまたは■Bに調整値が記憶されます。取り込まれた色温度が3秒ほど表示されます。

✿ご注意

- ホワイトバランスの調整ができなかったときは、■Aまたは■Bが遅い点滅に変わります。被写体を適切に調節し、シャッタースピードをオートまたは1/60付近に設定し、再度ホワイトバランスを調整してください。
- 撮影条件によって、ホワイトバランスの調整に時間がかかることがあります。調整終了前に他の操作を行いたいときは、ホワイトバランスメモリースイッチ[B]を一時的に他の位置へセットして、ホワイトバランスの調整を中止してください。

自動調整に戻すには

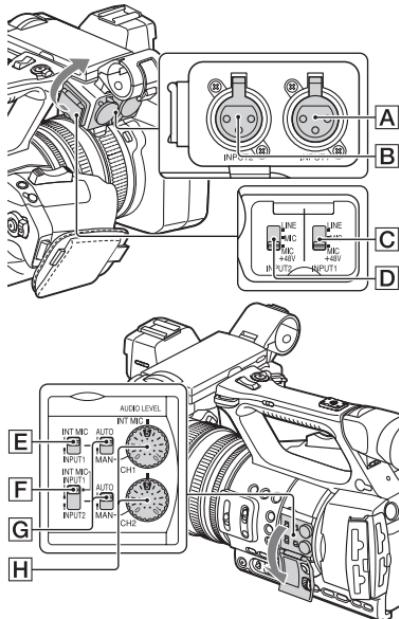
WHT BALボタン[A]を押す。

✿ご注意

- AUTO/MANUALスイッチ[D]を「AUTO」にすると、他の手動調節(アイリス、ゲイン、シャッタースピード)も解除されます。

音の設定をする

下の端子やスイッチ、ダイヤルなどを使い、収録する音声を設定します。マイクの接続については19ページをご覧ください。



外部音声の入力端子と切り替えスイッチ

INPUT1端子[A]

INPUT2端子[B]

INPUT1スイッチ[C]

INPUT2スイッチ[D]

音源の設定用スイッチ

CH1(INT MIC/INPUT1)スイッチ[E]

CH2(INT MIC/INPUT1/INPUT2)スイッチ[F]

音源レベルの設定用スイッチ

AUTO/MAN(CH1)スイッチ[G]

AUTO/MAN(CH2)スイッチ[G]

AUDIO LEVEL(CH1)ダイヤル[H]

AUDIO LEVEL(CH2)ダイヤル[H]

内蔵マイクを使う

本体内蔵マイクを用いて、ステレオ音声を収録できます。

撮影する

CH1(INT MIC/INPUT1)スイッチとCH2(INT MIC/INPUT1/INPUT2)スイッチを「INT MIC」にする。

ちょっと一言

- 音が小さいときは[INT MIC SENS] (87ページ)を[HIGH]にしてください。
- 風切り音を低減するには、[INT MIC WIND] (87ページ)を[ON]にしてください。

付属のマイクで収録する

モノラル音声を収録できます。

1 付属のマイクを取り付け(19ページ)、INPUT1端子[A]につなぐ。

2 CH1(INT MIC/INPUT1)スイッチ[E]とCH2(INT MIC/INPUT1/INPUT2)スイッチ[F]を「INPUT1」にする。

CH1とCH2の両方に同じ音声が記録されます。

3 INPUT1スイッチ[C]を「MIC+48V」にする。

外部音声機器などを使う

付属以外のマイクや外部音声機器を使う場合は、以下のように設定してください。

1 入力する音源を選ぶ。

INPUT1/INPUT2端子に接続する機器に合わせて、INPUT1/INPUT2スイッチを設定します。

接続機器	スイッチの位置
外部音声機器(ミキサーなど)	LINE
ダイナミックマイクや電池内蔵のマイク	MIC
+48V電源(ファンタム電源)対応のマイク	MIC+48V

- MIC+48Vにしたままで+48V電源に対応していない機器を接続すると、接続した機器の故障の原因になります。接続前にご確認ください。
- 接続しない端子の雑音が気になるときは、INPUT1/INPUT2スイッチを「LINE」にしてください。

2 マイクの入力レベルを設定する。

- メニューの[INPUT1 TRIM]/[INPUT2 TRIM](87ページ)でXLRマイクの入力レベルを設定できます。マイクの感度に応じて調節してください。付属マイク(ECM-XM1)の場合は「0dB」をおすすめします。
- 入力レベルは、-60dBu(+12dB)～-30dBu(-18dB)の範囲で、6dBごとに設定できます。お買い上げ時の設定は、-48dBu(0dB)です。

3 録音するチャンネルを選ぶ。

CH1/CH2スイッチで、それぞれのチャンネルに録音する音声を選びます。

CH1スイッチが「INT MIC」のとき

音源と録音されるチャンネル	CH2スイッチの設定
INT MIC (L) INT MIC (R)	CH1 CH2
INT MIC (mono) INPUT1	CH1 CH2
INT MIC (mono) INPUT2	CH1 CH2

CH1スイッチが「INPUT1」のとき

音源と録音されるチャンネル	CH2スイッチの設定
INPUT1 INT MIC (mono)	CH1 CH2
INPUT1	CH1 CH2
INPUT1 INPUT2	CH1 CH2

✿ちょっと一言

- XLRプラグが2個付いているステレオマイクを使うときは、INPUT1端子にL(左)チャンネル、INPUT2端子にR(右)チャンネルを接続し、CH1スイッチをINPUT1、CH2スイッチをINPUT2に設定してください。

便利な機能を使う

好みの音量に設定する

CH1/CH2スイッチ両方を「INT MIC」に設定した場合、CH1スイッチ・ダイヤルに左右のチャンネルが連動します。

1 調節するチャンネルのAUTO/MANスイッチ([G])を「MAN」にする。

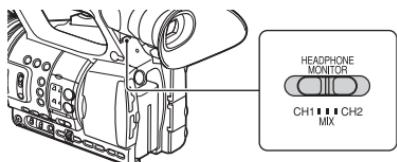
画面に♪M₂が表示されます。

2 撮影中またはスタンバイ中に、調節するチャンネルのAUDIO LEVELダイヤル([H])を回して、マイク音量を調節する。

自動調整に戻すには

手動調節したチャンネルのAUTO/MANスイッチ([G])を「AUTO」にする。

ヘッドホンの音声を設定する

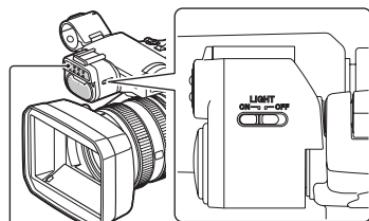


CH1を選択するとCH1に入力された音声のみが、CH2を選択するとCH2に入力された音声のみがヘッドホンに出力されます。

「MIX」を選択するとCH1とCH2の両方の入力音声がヘッドホンに出力されます。 「MIX」選択時の音声は、[HEADPHONE OUT]で[MONO]と[STEREO]を選択できます(87ページ)。

薄暗い場所で撮る(ビデオライト)

LIGHTスイッチを「ON」にする。



ビデオライト

●ご注意

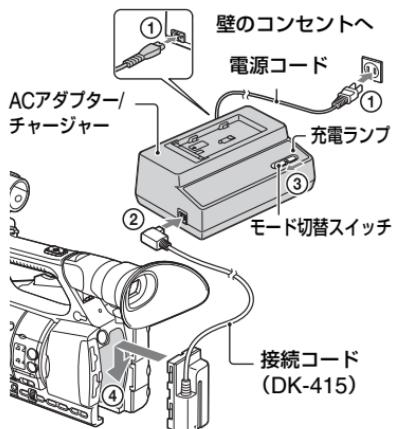
- ACアダプターAC-L100C(付属)を使用しているときは、ビデオライトは点灯しません。ビデオライトを使用する場合は、別売のバッテリーを使用してください。
- XLRマイクを取り付けた状態でビデオライトを点灯した場合、ズームの位置によってはマイクの影が撮影画面に入る場合があります。
- ビデオライトは非常に明るい光です。至近距離から直接目に光を向けて使用しないでください。
- ビデオライト点灯中は、バッテリーが早く消耗します。
- ビデオライト点灯時、撮影の環境によってはオートホワイトバランスが正しく機能しない場合があります。その場合は、one pushホワイトバランス機能をお使いください(40ページ)。
- ビデオライト点灯中に、REMOTE端子に接続した別売のリモコンで本機の電源を切ると、ビデオライトの消灯に数秒かかる場合があります。

電力を供給しながらビデオライトを使用するには

接続コードDK-415 1-782-361-(別売)とACアダプター/チャージャーAC-VL1 1-487-539-(別売)を使用すると、電力を供給しながらビデオライトを点灯することができます。接続コードDK-415およびACアダプター/チャージャーAC-VL1の

便利な機能を使う(つづき)

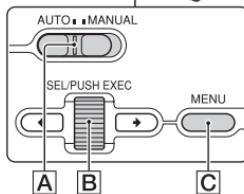
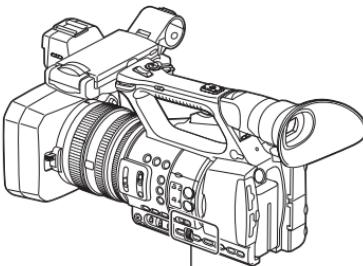
購入についてはソニー業務用商品相談窓口までお問い合わせください。



- ① 電源コードを AC アダプター/チャージャーにつなぐ。
- ② 接続コード(DK-415)を AC アダプター/チャージャーにつなぐ。
- ③ AC アダプター/チャージャーのモード切替スイッチを「VCR/CAMERA」側にする。
- ④ 接続コード(DK-415)の取り付け部を、本機のバッテリー取り付け部に押しながら矢印の方向にずらして取り付ける。

状況に合わせて撮る(オートモード設定)

撮影するシーンにあわせて最適な設定で撮影できます。



- 1 AUTO/MANUALスイッチ[A]を「AUTO」にする。
- 2 MENUボタン[C]を押す。
- 3 SEL/PUSH EXECダイヤル[B]で、CAMERA SETメニュー → [AUTO MODE SET]を選ぶ。
- 4 SEL/PUSH EXECダイヤル[B]を回して[AUTO]、[INTELLIGENT AUTO]、[SCENE SELECTION]いずれかを選び、押して決定する。

●ご注意

- ・[INTELLIGENT AUTO]を選択しているときは、手ブレ補正が[ACTIVE]に設定されるため、画角が1.08倍テレシフトします。

[INTELLIGENT AUTO]で認識されるシーン

顔: 人物 (人物)、赤ちゃん (赤ちゃん)

シーン: (逆光)、風景 (風景)、夜景 (夜景)、スポットライト (スポットライト)、低照度 (低照度)、マクロ (マクロ)

手ブレ: 歩き (歩き)、三脚 (三脚)

[SCENE SELECTION]を設定するには

- ① MENUボタンを押し、SEL/PUSH EXECダイヤルを回して、CAMERA SET)メニュー→[SCENE SELECTION SET]を選び、押して決定する。
- ② SEL/PUSH EXECダイヤルを回して希望の設定を選び、押して決定する。

設定値	撮影状況
夜景* ([NIGHT SCENE])	三脚(別売)を使用して、夜景に最適な露出で撮影できる。
日の出&夕焼け* ([SUNRISE & SUNSET])	朝焼けや夕焼けの風景を色鮮やかに撮影する。
打ち上げ花火* ([FIREWORKS])	打ち上げ花火に最適な露出で撮影する。
風景* ([LANDSCAPE])	遠景ではっきり撮影できる。ガラスや金網越しに撮るととも、向こうの被写体にピントが合うようになる。
ポートレート ([PORTRAIT])	背景をぼかして、前にいる人物や花などをソフトに引き立てる。

設定値	撮影状況
スポットライト ([SPOTLIGHT])	スポットライトを浴びている人物の顔などが白く飛んでしまうのを防ぐ。
ビーチ ([BEACH])	海や湖畔などで、水の青さを鮮やかに撮影できる。

* 遠景のみにピントが合うように設定されます。

本機のWi-Fi機能を使ってできること

本機のWi-Fi機能を使って、スマートフォンから本機を遠隔操作したり、撮影した画像をスマートフォンに転送することができます。

スマートフォンをカメラのリモコンとして使う

(NFCワンタッチリモート対応)

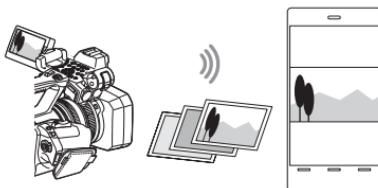


必要な機器・環境

スマートフォンまたはタブレット

便利な機能を使う(つづき)

スマートフォンに画像を転送する



必要な機器・環境

スマートフォンまたはタブレット

「PlayMemories Mobile」をダウンロードする

スマートフォンに画像を表示、転送するために必要なスマートフォン専用のアプリケーション「PlayMemories Mobile」を、お使いのスマートフォンにインストールしてください。すでにインストール済みの場合は、最新版にアップデートしてください。

PlayMemories Mobileの最新情報、機能詳細は、こちらをご覧ください。
<http://www.sony.net/pmm/>



Android OSの場合

Google playから、PlayMemories Mobileを検索してインストールしてください。



- NFCワンタッチをご使用の場合は、Android 4.0以上が必要です。

iOSの場合

App Storeから、PlayMemories Mobileを検索してインストールしてください。



- NFCワンタッチは、iOSでは使えません。

●ご注意

- 本機のNFCワンタッチ機能をご使用いただくには、NFCに対応したスマートフォンまたはタブレットが必要です。
- 本書で説明しているWi-Fi機能について、すべてのスマートフォンまたはタブレットで動作を保証するものではありません。
- アプリケーションの操作方法や、画面表示は将来的バージョンアップにより、予告なく変更することがあります。

NFC機能搭載のAndroidスマートフォンでワンタッチ接続する

- 1 スマートフォンの[設定]を起動して[その他の設定]を選び、[NFC/おサイフケータイ設定]の[NFC R/W P2P]または[Reader/Writer, P2P]にチェックを入れる。

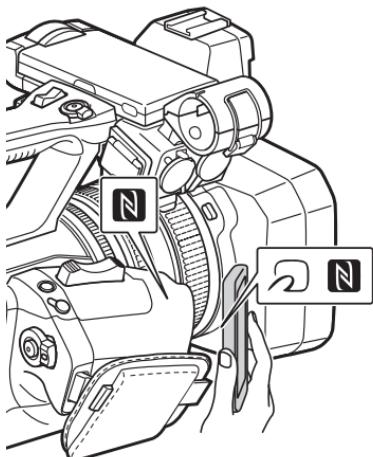


- 2 本機を撮影画面にする。

画面に が表示されているときのみ NFC機能を使用できます。

3 本機とスマートフォンをタッチする。

スマートフォンが本機に接続され、「PlayMemories Mobile」が起動します。
本機は[CTRL W/SMARTPHONE]が起動します。



●ご注意

- 一部のが付いているスマートフォンはNFCに対応しています。詳しくはスマートフォンの取扱説明書をご確認ください。
- あらかじめスマートフォンのスリープおよび画面ロックを解除してください。
- スマートフォンで「PlayMemories Mobile」が起動するまで(1~2秒)動かさずにタッチし続けてください。
- [CTRL W/SMARTPHONE]を起動している間は、本機の録画ボタン/ハンドル録画ボタン以外のボタン操作は無効です。
- [AIRPLANE MODE]が[ON]のときは接続できません。[AIRPLANE MODE]を[OFF]にしてください(93ページ)。

スマートフォンを本機のリモコンとして使う

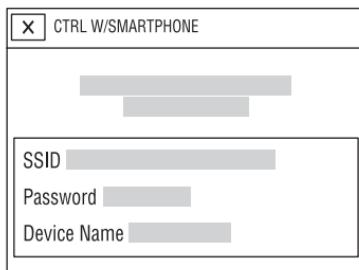
本機の撮影機能の一部をスマートフォンで遠隔操作して、動画撮影ができます。NFC機能を使って起動する場合は46ページをご覧ください。

1 MENUボタンを押す。

2 SEL/PUSH EXECダイヤルで、
 (NETWORK SET)メニュー
→[CTRL W/SMARTPHONE]を選ぶ。

3 接続可能な状態になると表示される画面の情報を使って、スマートフォンから本機に接続する。

接続するための設定方法はスマートフォンによって異なります。
Androidの場合:49ページ
iPhoneまたはiPadの場合:50ページ



4 スマートフォンで本機を操作する。



⌚ご注意

- ・電波環境やスマートフォンの性能によってはライブビュー映像がなめらかに表示されない場合があります。
- ・撮影した動画はスマートフォンには保存できません。

⌚ちょっと一言

- ・ASSIGNボタンに[SMARTPHONE CONNECT]を割り当てている場合、撮影画面でASSIGNボタンを押すと、[CTRL W/ SMARTPHONE]を起動することができます(60ページ)。
- ・スロー＆クイックモーションモードで[CTRL W/SMARTPHONE]を起動する場合は、NFC機能搭載のAndroidスマートフォンでワンタップ接続するか、[SMARTPHONE CONNECT]を割り当てているASSIGNボタンを押してください。

[CTRL W/SMARTPHONE]ができる機能

- ・録画スタート/ストップ
- ・タッチフォーカス
 - 本機のFOCUSスイッチが「MAN」のときに可能です。

•ズーム

- ズームのスピードは固定になります。

•アイリスの調整

- 接続中は「CLOSE」を選択することはできません。

⌚ご注意

- ・タッチフォーカスを行っているときは、他の操作はできません。
- ・ズームのスピードは、[SPEED ZOOM]の設定にしたがって動作します。

スマートフォンに画像を転送する

スマートフォンに本機で同時記録したMP4動画や、ハイビジョン画質(HD)から作成した静止画を表示、転送します。

1 VISUAL INDEX画面で、転送したい画像が記録されているメモリーカードを選ぶ。

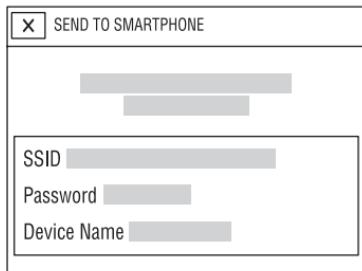
2 MENUボタンを押し、SEL/PUSH EXECダイヤルで、 ➡ (NETWORK SET)メニュー →[SEND TO SMARTPHONE] を選ぶ。

3 接続可能な状態になると表示される画面の情報を使って、スマートフォンから本機に接続する。

接続するための設定方法はスマートフォンによって異なります。

Androidの場合:49ページ

iPhoneまたはiPadの場合:50ページ



●ご注意

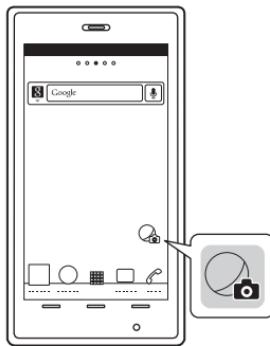
- 転送される画像を前もって確認することはできません。
- ハイビジョン画質(HD)は転送できません。
- 接続後はメディアの選択はできません。
- [AIRPLANE MODE]が[ON]のときは接続できません。[AIRPLANE MODE]を[OFF]にしてください(93ページ)。
- 外付けメディアの画像は転送できません。

✿ちょっと一言

- ASSIGNボタンに[SMARTPHONE CONNECT]を割り当てる場合、VISUAL INDEX画面でASSIGNボタンを押して[SEND TO SMARTPHONE]を起動することができます(60ページ)。

NFCを使わずに接続する (Android)

1 スマートフォンで 「PlayMemories Mobile」を起動 する。



2 本機に表示されているSSIDを選 ぶ。

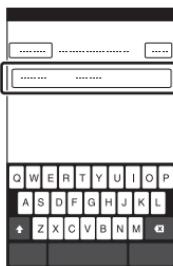


3 本機に表示されているパスワードを入力する(初回のみ)。

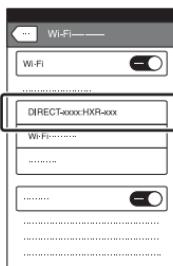
スマートフォンが本機に接続されます。



2 本機に表示されているパスワードを入力する(初回のみ)。



3 本機に表示されているSSIDに接続したことを確認する。

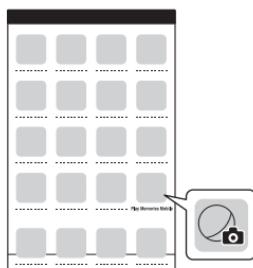


NFCを使わずに接続する (iPhoneまたはiPad)

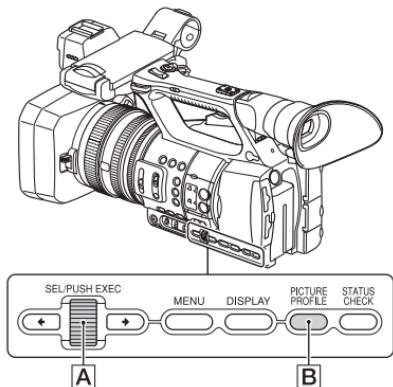
1 iPhoneまたはiPadの【設定】を起動し、【Wi-Fi】を選んで、本機に表示されているSSIDを選ぶ。



4 ホームに戻り、「PlayMemories Mobile」を起動する。



あらかじめ設定した画質で撮る (ピクチャープロファイル)



[GAMMA]や[DETAIL]などを調節して好みの画質設定を作れます。撮影時間帯や気象条件、または使う人ごとに設定できます。

設定するときは、本機をテレビやモニターにつないで、画像を確認しながら調節してください。

お買い上げ時は、[PP1]から[PP6]に、撮影条件に合わせた設定値があらかじめ登録されています。

ご注意

- 使用する国や地域によっては、お買い上げ時の設定は[PP4]になっています。

ピクチャープロファイル番号	設定例
PP1	[STANDARD] ガンマを用いた設定例
PP2	[STILL] ガンマを用いた設定例
PP3	[ITU-709] ガンマを用いた自然な色合いの設定例
PP4	[ITU-709] 規格に忠実な色合いの設定例

ピクチャープロファイル番号	設定例
PP5	一般的な映画用カラーネガフィルムによる撮影画のような設定例
PP6	一般的な映画用カラープリントフィルムで上映したような設定例

1 スタンバイ中にPICTURE PROFILEボタン[B]を押す。

2 SEL/PUSH EXECダイヤル[A]を回してピクチャープロファイル番号を選び、押して決定する。

選択したピクチャープロファイルの設定で撮影できます。

3 SEL/PUSH EXECダイヤル[A]を回して[OK]を選び、押して決定する。

ピクチャープロファイル撮影をやめるには

手順2で[OFF]を選び、SEL/PUSH EXECダイヤル[A]を押して決定します。

ピクチャープロファイルの内容を変更するには

[PP1]～[PP6]の設定内容を変更できます。

- ① PICTURE PROFILEボタン[B]を押す。
- ② SEL/PUSH EXEC ダイヤル [A] を回して設定を変更するピクチャープロファイル番号を選び、押して決定する。
- ③ SEL/PUSH EXEC ダイヤル [A] を回して[SETTING]を選び、押して決定する。

便利な機能を使う(つづき)

- ④ SEL/PUSH EXECダイヤル[A]を回して
調節したい項目を選び、押して決定する。
- ⑤ SEL/PUSH EXECダイヤル[A]を回して
画質を調節し、押して決定する。
- ⑥ 手順④、⑤を繰り返して他の項目を調節す
る。
- ⑦ SEL/PUSH EXECダイヤル[A]を回して
[← RETURN]を選び、押して決定する。
- ⑧ SEL/PUSH EXECダイヤル[A]を回して
[OK]を選び、押して決定する。
ピクチャープロファイルの表示が出ます。

BLACK LEVEL

黒レベルを設定する。

設定項目	調節する内容
	黒レベルを設定する。 -15～+15

GAMMA

ガンマカーブを選ぶ。

設定項目	調節する内容
[STANDARD]	標準ガンマカーブ
[STILL]	静止画撮影したようなトーンのガンマカーブ
[CINEMATONE1]	フィルム撮影した映像のようなトーンのガンマカーブ1。
[CINEMATONE2]	フィルム撮影した映像のようなトーンのガンマカーブ2。
[ITU709]	ITU-709相当のガンマカーブ。低輝度部ゲイン:4.5

④ご注意

- ・本機には静止画撮影モードはありません。

BLACK GAMMA

低輝度部のガンマ補正をする。

設定項目	調節する内容
[RANGE]	補正範囲を選ぶ。 HIGH / MIDDLE / LOW
[LEVEL]	補正の強さを設定する。 -7(ブラックコンプレス最大)～+7(ブラックストレッチ最大)

便利な機能を使う(つづき)

KNEE

被写体の高輝度部分の信号をカメラのダイナミックレンジに収め、白つぶれを防ぐため、ビデオ信号を圧縮するポイントやスロープを設定する。

[GAMMA]で[STANDARD] [STILL]を選択しているときは、[MODE]を[AUTO]にしていると[KNEE]は無効になります。[MODE]を[MANUAL]にすると[KNEE]の機能を使用できます。

設定項目	調節する内容
[MODE]	自動／手動設定を選ぶ。 [AUTO] : ニーポイント、ニースロープを自動で設定する。 [MANUAL] : ニーポイント、ニースロープを手動で設定する。
[AUTO SET]	[AUTO]を選択した場合の設定 [MAX POINT] : ニーポイントの最大値を設定する。 90%～100% [SENSITIVITY] : 感度を設定する。 HIGH / MIDDLE / LOW
[MANUAL SET]	[MANUAL]を選択した場合の設定 [POINT] : ニーポイントを設定する。 75%～105% [SLOPE] : ニースロープの傾きを設定する。 -5(傾きが小さい)～+5(傾きが大きい) +5に設定すると、[KNEE]は無効になります。

COLOR MODE

発色のタイプやレベルを設定する。

設定項目	調節する内容
[TYPE]	発色のタイプを設定する。 [STANDARD] : [GAMMA]が[STANDARD]のときに適した色合い。 [STILL] : [GAMMA]が[STILL]のときに適した色合い。 [CINEMATONE1] : [GAMMA]が[CINEMATONE1]のときに適したフィルム調の色合い。 [CINEMATONE2] : [GAMMA]が[CINEMATONE2]のときに適したフィルム調の色合い。 [PRO] : ソニー業務用カメラの標準画質に近い色合い (ITU-709と組み合わせをした場合)。 [ITU709 MATRIX] : ITU-709相当。
[LEVEL]	[TYPE]を[STANDARD]以外に設定したとき、標準の色合いと選択したタイプの色合いとの間で発色のレベルを設定する。 1(選択したタイプの効果を弱めて標準に近づける)～8(選択したタイプの効果をそのまま使う)

COLOR LEVEL

色の濃さを設定する。

設定項目	調節する内容
	-8(白黒で撮影する)～+7(濃くなる)

COLOR PHASE

色相を設定する。

設定項目	調節する内容
	-7(緑がかる)～+7(赤みがかる)

COLOR DEPTH

色の深さを色相別に変更する。

濃い色ほど効果が大きく、色のない被写体に対しては効果がない。+側にすると暗くなり、色が深く見える。-側にすると明るくなり、色が浅く見える。[COLOR LEVEL]を-8(モノトーン)にしたときにも有効。

設定項目	調節する内容
[R]	-7(赤が浅くなる)～+7(赤が深くなる)
[G]	-7(緑が浅くなる)～+7(緑が深くなる)
[B]	-7(青が浅くなる)～+7(青が深くなる)
[C]	-7(シアンが浅くなる)～+7(シアンが深くなる)
[M]	-7(マゼンタが浅くなる)～+7(マゼンタが深くなる)
[Y]	-7(黄が浅くなる)～+7(黄が深くなる)

WB SHIFT

ホワイトバランスシフトを設定する。

フィルターのタイプによって、調節できる項目が異なります。

設定項目	調節する内容
[FILTER TYPE]	ホワイトバランスをシフトさせる色の組み合わせを選択。 [LB-CC]：フィルムタイプ(色温度変換と色補正をする) [R-B]：ビデオタイプ(RとBのレベルを補正する)
[LB [COLOR TEMP]]	色温度変換の設定をする。 -9(青みがかる)～+9(赤みがかる)
[CC [MG/GR]]	色補正の設定をする。 -9(緑がかる)～+9(マゼンタがかる)
[R GAIN]	Rのレベルを設定する。 -9(Rのレベルが下がる)～+9(Rのレベルが上がる)
[B GAIN]	Bのレベルを設定する。 -9(Bのレベルが下がる)～+9(Bのレベルが上がる)

便利な機能を使う(つづき)

DETAIL

ディテールを設定する。

設定項目	調節する内容
[LEVEL]	[DETAIL]の強さを設定する。 -7～+7
[MANUAL SET]	[ON/OFF] : [DETAIL]の手動詳細設定をON/OFFする。 [ON]にすると、[DETAIL]の手動詳細設定を行う(自動最適化は行われない)。 [V/H BALANCE] : 垂直(V)DETAIL/水平(H)DETAILのバランスを設定する。 -2(垂直(V)が強い)～+2(水平(H)が強い) [B/W BALANCE] : 下側(B)DETAIL/上側(W)DETAILのバランスを選ぶ。 TYPE1(下側(B)が強い)～TYPE5(上側(W)が強い) [LIMIT] : DETAILのリミットレベルを設定する。 0(リミットレベルが低い(リミットされやすい))～7(リミットレベルが高い(リミットされにくい)) [CRISPENING] : クリスピニングレベルを設定する。 0(クリスピニングレベルが浅い)～7(クリスピングレベルが深い)
[HI-LIGHT DETAIL]	高輝度部分のDETAILレベルを設定する。 0～4

COPY

他のピクチャープロファイル番号に設定をコピーする。

RESET

ピクチャープロファイルをお買い上げ時の設定に戻す。

ピクチャープロファイルを他のピクチャープロファイル番号にコピーするには

ボタンの位置は、51ページをご覧ください。

- ① PICTURE PROFILE ボタン **[B]** を押す。
- ② SEL/PUSH EXEC ダイヤル **[A]** を回して コピー元のピクチャープロファイル番号 を選び、押して決定する。
- ③ SEL/PUSH EXEC ダイヤル **[A]** を回して [SETTING] → [COPY] を選ぶ。
- ④ SEL/PUSH EXEC ダイヤル **[A]** を回して コピー先のピクチャープロファイル番号 を選び、押して決定する。
- ⑤ SEL/PUSH EXEC ダイヤル **[A]** を回して [YES] → [← RETURN] → [OK] を選ぶ。

お買い上げ時の設定に戻すには

ピクチャープロファイル番号ごとに取り消せます。すべての設定を一度に取り消すことはできません。ボタンの位置は、51ページをご覧ください。

- ① PICTURE PROFILE ボタン **[B]** を押す。
- ② SEL/PUSH EXEC ダイヤル **[A]** を回して お買い上げ時の設定に戻したいピクチャープロファイル番号を選び、押して決定する。
- ③ SEL/PUSH EXEC ダイヤル **[A]** を回して [SETTING] → [RESET] → [YES] → [← RETURN] → [OK] を選ぶ。

タイムデータを設定する

本機では、タイムコード、ユーザービットなどのタイムデータが、映像に付随するデータとして記録されます。

タイムコードを設定する

- ① MENU ボタンを押し、SEL/PUSH EXEC ダイヤルを回して **00:00** (TU/UB SET) メニュー → [TC PRESET] を選び、押して決定する。
- ② SEL/PUSH EXEC ダイヤルを回して [PRESET] を選び、押して決定する。
- ③ SEL/PUSH EXEC ダイヤルを回して最初の2桁の数値を選び、押して決定する。 タイムコードは以下の範囲で設定します。 00:00:00:00 ~ 23:59:59:29
• 24p設定時は、末尾2桁を0~23のうちの4の倍数のフレームで設定できます。
- ④ 手順 ③ と同様にして、他の桁を設定する。
- ⑤ SEL/PUSH EXEC ダイヤルを回して [OK] を選び、押して決定する。

タイムコードをリセットするには

「タイムコードを設定する」の手順②で [RESET] を選び、タイムコードをリセット(00:00:00:00)します。

リモコンを使ってタイムコードをリセットするには

リモコンのTC RESETボタンを押しても、タイムコードをリセット(00:00:00:00)できます。

ユーザービットを設定する

- ① MENU ボタンを押し、SEL/PUSH EXEC ダイヤルを回して **00:00** (TU/UB SET) メニュー → [UB PRESET] を選び、押して決定する。
- ② SEL/PUSH EXEC ダイヤルを回して [PRESET] を選び、押して決定する。
- ③ SEL/PUSH EXEC ダイヤルを回して最初の2桁の数値を選び、押して決定する。
- ④ 手順 ③ と同様にして、他の桁を設定する。
- ⑤ SEL/PUSH EXEC ダイヤルを回して [OK] を選び、押して決定する。

ユーザー・ビットをリセットするには
「ユーザー・ビットを設定する」の手順②で
[RESET]を選び、ユーザー・ビットをリ
セット(00 00 00 00)します。

スロー&クイックモーション撮 影する

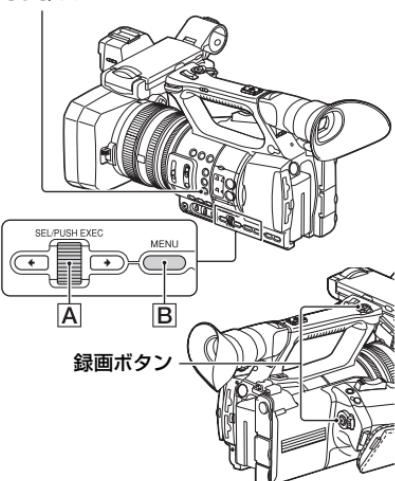
再生フレームレートと異なるフレーム
レートで撮影することによって、通常の速
度で撮影した映像を低速再生、高速再生す
る場合よりも、滑らかなスロー・モーショ
ン、クイックモーション映像が得られま
す。スロー&クイックモーション撮影は、
ハイビジョン画質(HD)でのみ行えます。

再生速度

録画フォーマットとフレームレートの設
定によって、再生速度は以下のようにな
ります。

FRAME RATE	REC FORMAT		
	1080/24p	1080/30p	1080/60p
60	40% スロー	50% スロー	100% (標準)
30	80% スロー (標準)	100% クイック	200%
15	160% クイック	200% クイック	400% クイック
8	300% クイック	375% クイック	750% クイック
4	600% クイック	750% クイック	1500% クイック
2	1200% クイック	1500% クイック	3000% クイック
1	2400% クイック	3000% クイック	6000% クイック

S&Qボタン



●ご注意

- [SIMUL/RELAY REC]が[MP4 SIMUL REC]の場合は、スロー&クイックモーション撮影はできません。
- スロー&クイックモーション撮影時は、SDカードのClass 10以上をお使いください。“メモリースティック PRO デュオ”には記録できません。
- クイックモーション撮影は、記録が停止しない場合があります(設定により、最大30秒間記録を継続します)。液晶モニターの表示が[REC]で点滅している間は本体を操作せず、[STBY]に切り替わるまでお待ちください。
- 本機では、再生時間0.5秒ごとのデータを書き込み終わるまで記録動作を継続します。

撮影前の設定

録画フォーマットとフレームレートを設
定します。

- ① MENUボタン B を押す。
- ② SEL/PUSH EXEC ダイヤル A で
CAMERA SET メニュー→[S&Q
MOTION]→[REC FORMAT]を選ぶ。
- ③ 録画フォーマットを設定する。
1080/60p PS/ 1080/30p FX/ 1080/

30p FH/ 1080/24p FX/ 1080/24p FH
から選びます。

- ④ SEL/PUSH EXEC ダイヤル **A** で
[FRAME RATE] を選び、フレームレート
を設定する。
60fps / 30fps / 15fps / 8fps / 4fps /
2fps / 1fps から選びます。
- ⑤ [⬅ RETURN] → [⬅ RETURN] を
選ぶ。

スロー&クイックモーションモードで 撮影する

S&Qボタンを押してから、録画ボタンを
押す。

スロー&クイックモーションモードでの
記録が始まります。

スロー&クイックモーション記録を停
止するには

録画ボタンを押す。

フレームレートの設定を変更するには
S&Qボタンを約1秒間長押しして、SEL/
PUSH EXEC ダイヤルで設定値を変更す
る。

S&Qボタンをもう一度約1秒間長押しす
ると元に戻ります。

解除するには

スタンバイ中に、S&Qボタンまたは
MENUボタン **B** を押す。

●ご注意

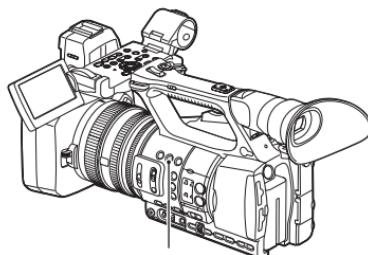
- 遅いフレームレートで撮影していた場合は、録
画ボタンを押してから記録が停止するまでに
時間がかかる場合があります。
- スロー&クイックモーション撮影中は、フレー
ムレートの設定は変更できません。変更する場
合は、いったん記録を停止してください。
- スロー&クイックモーション撮影では、タイム
コードは[REC RUN]で記録されます(93ペ
ージ)。
- 本機のPOWERスイッチを「OFF」にした場合
も、スロー&クイックモーションモードは自動

的に解除されます。ただしフレームレートの設
定値は保持されます。

- 100% (標準)のときのみ音声を記録できます。
- メモリーカードAとメモリーカードBへの同時
記録はできません。
- 標準画質(DV)では、スロー&クイックモー
ション撮影はできません。

最後に撮影した映像を再生する (ラストシーンレビュー)

直前に記録したシーンを画面で確認でき
ます。



LAST SCENEボタン

録画を停止したら、LAST SCENEボ
タンを押す。

最後のシーンの先頭から再生が始ま
ります。終わりまで再生すると終了し、スタン
バイに戻ります。

レビューを中断するには

再生中にLAST SCENEボタンを押すと中
断し、スタンバイに戻ります。

●ご注意

- 録画後に編集やメディアの抜き差しなどの操
作を行った場合、ラストシーンレビューが正し
く実行できない場合があります。

✿ちょっと一言

- ASSIGNボタンに割り当てるることができます
(60ページ)。

ASSIGN ボタンに機能を割り当てる

機能によっては、ASSIGNボタンに割り当てる操作することができます。
ASSIGN1～6ボタンに1つずつ割り当てられます。
各機能については、「メニュー一覧」(79ページ)をご覧ください。

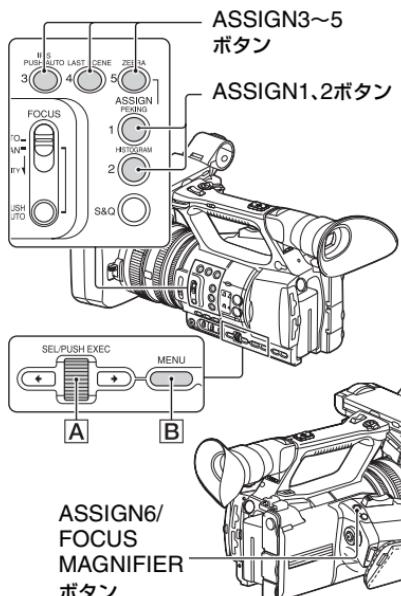
お買い上げ時にASSIGNボタンに割り当てられている機能

- ASSIGN1: PEAKING (89ページ)
- ASSIGN2: HISTOGRAM (88ページ)
- ASSIGN3: IRIS PUSH AUTO (36ページ)
- ASSIGN4: LAST SCENE REVIEW (59ページ)
- ASSIGN5: ZEBRA (89ページ)
- ASSIGN6: FOCUS MAGNIFIER (32ページ)

割り当てられる機能

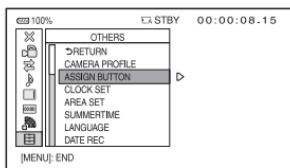
- (機能なし)
- FOCUS MAGNIFIER (32ページ)
- LAST SCENE REVIEW (59ページ)
- WB PRESET (39ページ)
- AE SHIFT (82ページ)
- STEADYSHOT (83ページ)
- IRIS PUSH AUTO (36ページ)
- SPOT METER/FOCUS (84ページ)
- SPOT METER (84ページ)
- SPOT FOCUS (32ページ)
- FACE DETECTION (32ページ)
- COLOR BAR (84ページ)
- HISTOGRAM (88ページ)
- ZEBRA (89ページ)
- PEAKING (89ページ)
- MARKER (89ページ)
- CAMERA DATA DISPLAY (90ページ)
- AUDIO LEVEL DISPLAY (91ページ)
- REC LAMP [F] (96ページ)
- REC LAMP [R] (96ページ)
- VISUAL INDEX (62ページ)
- AUTO MODE SET (44ページ)

- SCENE SELECTION SET (45ページ)
- SMARTPHONE CONNECT (47ページ)



1 MENUボタン[B]を押す。

2 SEL/PUSH EXECダイヤル[A]で[OTHERS]メニュー → [ASSIGN BUTTON]を選ぶ。



3 SEL/PUSH EXECダイヤル[A]を回して設定したいASSIGNボタンを選び、押して決定する。

- 機能が割り当てられていないボタンには、[-----]が表示されます。
-

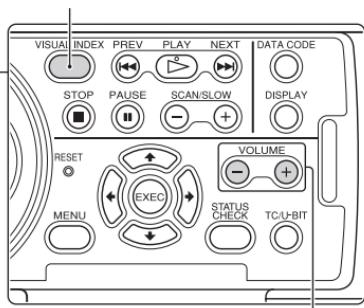
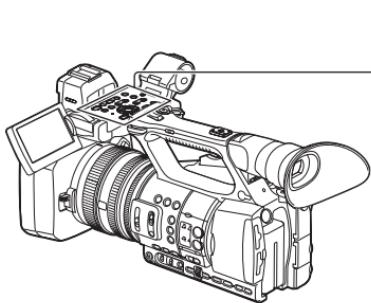
4 SEL/PUSH EXECダイヤル[A]を回して割り当てる機能を選び、押して決定する。

5 SEL/PUSH EXECダイヤル[A]を回して[OK]を選び、押して決定する。

再生する

本機で再生する

VISUAL INDEXボタン



VOLUMEボタン

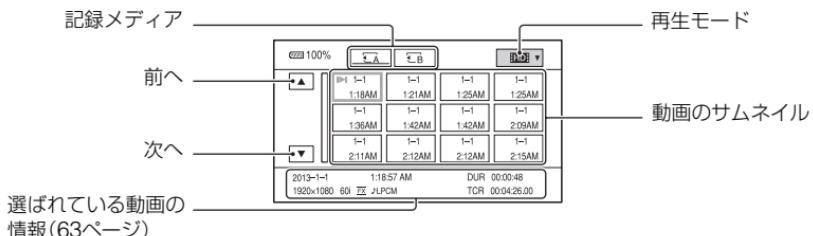
動画を再生する

1 緑のボタンを押しながら、POWERスイッチを「ON」にする。



2 VISUAL INDEXボタンを押す。

数秒後にVISUAL INDEX画面が表示されます。



- DISPLAYボタンを押して、サムネイル上の日付時刻を表示または非表示できます。

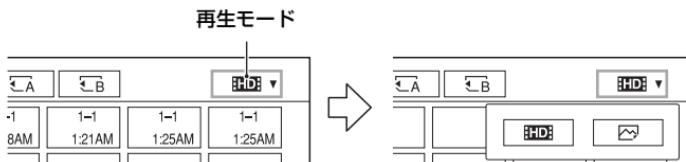
3 動画を再生する。

- ① 再生したい記録メディアをタッチする。

↖A : メモリーカード A

↖B : メモリーカード B

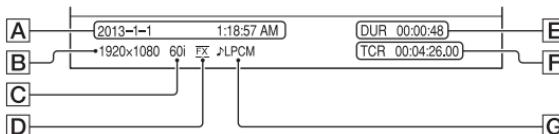
- ② 再生モードをタッチして、表示される再生モードから選ぶ。



- ③ 再生したい動画のサムネイルを 2 度タッチする。

◀/▶/▲/▼ ボタンで再生したいサムネイルを選択して、EXEC ボタンを押すことでも再生できます。

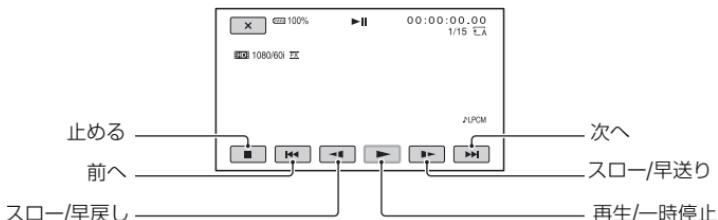
サムネイルを 1 度タッチすると画面の下部分にタッチした動画の情報が表示されます。



- 最後に再生・撮影した動画に▶が表示されます。タッチすると前回の続きから再生されます。

本機で再生する(つづき)

動画の再生が始まります。



ご注意

- サムネイルに1度タッチしてPLAYボタンを押すと、最後に記録した場面または最後に再生した場面が再生されます。
- DVファイルはDVモードに設定しているときのみ再生できます。
- [MP4 SIMUL REC]で記録したMP4動画は本機で再生できません。

ちょっと一言

- 選んだ動画から最後の動画まで再生されると、VISUAL INDEX画面に戻ります。
- 一時停止中に◀/▶をタッチすると、スロー再生が始まります。
- 再生中に□/◎をタッチする回数によって、約5倍速 → 約10倍速 → 約30倍速 → 約60倍速で再生されます。
- VISUAL INDEX画面のように多数の画像を一覧表示するために縮小された画像のことを「サムネイル」といいます。
- 再生中は、本機のPREV/PLAY/NEXT/STOP/PAUSE/SCAN/SLOWボタンを使っても操作ができます。
- DVモードでは、SCAN/SLOWは無効になります。
- DVモードでは、再生中の巻き戻し、早送りは約5倍速で再生されます。
- 本機以外の機器で撮影されたDVファイルを再生する場合、F値は正しく表示されない場合があります。

音量を調節するには

VOLUMEボタンで調節する。

撮影モードに戻すには

VISUAL INDEXボタンを押す。

再生に際してのご注意

- 本機で記録した映像は、本機以外の機器では正常に再生できない場合があります。また、他機で記録した映像は本機で再生できない場合があります。
- SDカードに記録した標準画質(DV)の動画は、他社製のAV機器では再生できません。

静止画を再生する

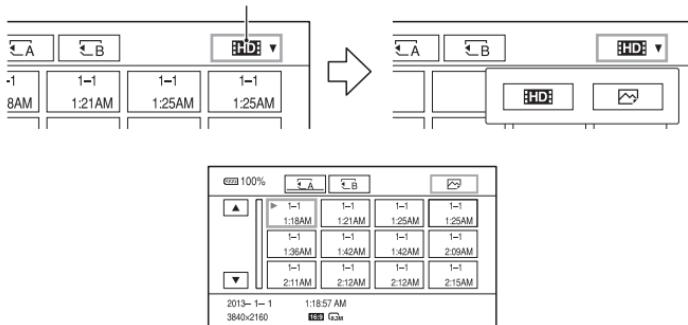
1 VISUAL INDEX画面で、再生したい記録メディアをタッチする。

□A : メモリーカードA

□B : メモリーカードB

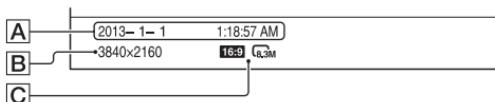
2 再生モードで、□(静止画)を選択。

再生モード



3 再生したい静止画のサムネイルを2度タッチする。

サムネイルを1度タッチすると画面の下部分にタッチした静止画の情報が表示されます。



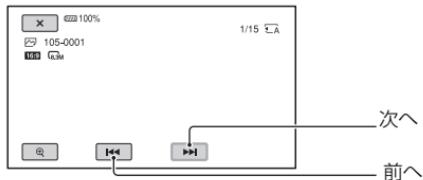
Ⓐ 撮影日時

Ⓑ 縦横解像度

Ⓒ 画像サイズ

本機で再生する(つづき)

静止画が再生されます。



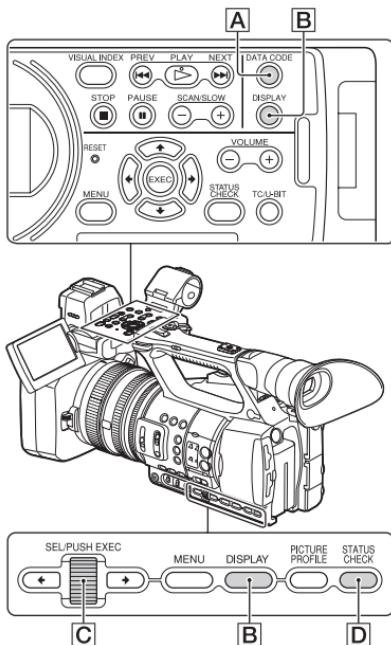
拡大してみるには

静止画表示時に \oplus (再生ズーム) をタッチする。

ズーム調整は \ominus / \oplus でできます。ズームレバーでも操作できます。

拡大した画像をタッチすると、タッチした位置を中心表示します。

本機の設定を変更 / 確認する



画面表示を切り換える

タイムコードなどの情報を画像とあわせて表示できます。

DISPLAYボタン(**B**)を押す。

押すたびに、非表示 \leftrightarrow 表示と切り替わります。撮影モードのときは、詳細表示 \rightarrow 簡易表示 \rightarrow 非表示の順に切り替わります。

ちょっと一言

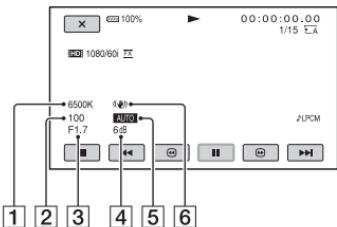
- テレビにつないで見るときは、[DISPLAY OUTPUT]を[ALL OUTPUT]に設定すると、テレビ画面でも同様に画面表示できます(92ページ)。

再生時に情報を表示する(データコード)

撮影時に自動的に記録された情報(日時やカメラデータ)を再生時に表示できます。

再生または一時停止中にDATA CODEボタン**A**を押す。

押すたびに、日付時刻表示 \rightarrow カメラデータ \rightarrow 表示なしの順に切り替わります。



① ホワイトバランス

[MANU WB TEMP]で撮影した画像を再生すると、**PWB**が表示されます。

② シャッタースピード

③ アイリス

④ ゲイン

⑤ 明るさ調節

アイリス、ゲイン、シャッタースピードを自動調整で撮影すると**AUTO**、手動調節で撮影すると**MANUAL**と表示されます。

⑥ 手ブレ補正

ご注意

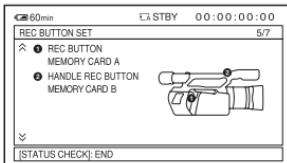
- 本機で撮影したメモリーカードを他機で再生した際に、正しいカメラデータの情報が表示されないことがあります。正しいカメラデータは本機でご確認ください。

本機の設定を確認する(ステータスチェック)

以下の項目がどのような設定値になっているかを確認できます。

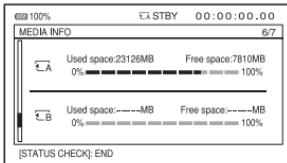
- 音声に関する設定(86ページ)
- 出力に関する設定(85ページ)
- ASSIGNボタンに割り当てた機能(60ページ)
- カメラに関する設定(82ページ)
- 録画ボタン設定(28ページ)

録画ボタンの設定を確認できます。



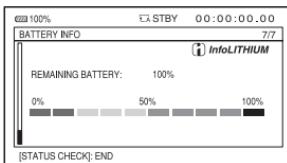
- メモリーカード情報

使用領域と空き領域の目安を確認できます。

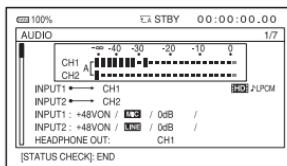


- バッテリーインフォ

装着しているバッテリー残量を確認できます。



- 1 STATUS CHECKボタン[D]を押す。



- 2 SEL/PUSH EXECダイヤル[C]を回して、項目を表示する。

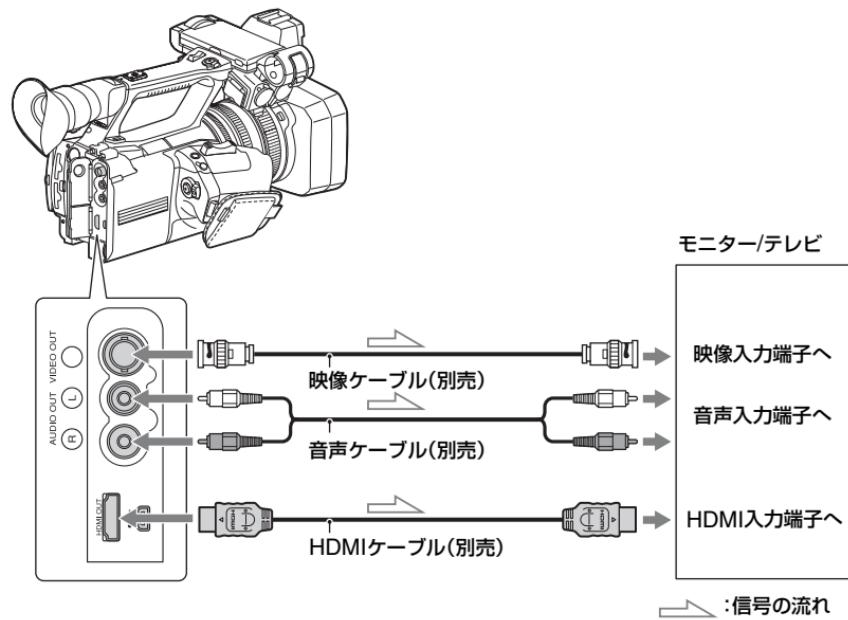
AUDIO → OUTPUT → ASSIGN → CAMERA → REC BUTTON SET → MEDIA INFO → BATTERY INFOの順に切り替わります。

起動時の条件によって、表示されないものもあります。

情報表示を消すには
STATUS CHECKボタン[D]を押す。

モニターやテレビにつなぐ

モニターやテレビの種類、接続する端子によって接続方法や、再生される画質が異なります。



HDMI OUT端子とVIDEO OUT端子は同時に output できません。
その場合、VIDEO OUTの出力解像度は480iになります。

モニターやテレビにつなぐ(つづき)

出力解像度について

[HDMI]の設定によって、出力解像度が変わります。

HD/DV	[HDMI]の設定	出力解像度	
		HDMI OUT	VIDEO OUT
HD	1080p/480i	1080p	出力しない
	720p/480i	720p	出力しない
	1080i/480i	1080i	出力しない
	480p	480p	出力しない
	480i	480i	出力しない
DV	1080p/480i	480i	出力しない
	720p/480i	480i	出力しない
	1080i/480i	480i	出力しない
	480p	480p	出力しない
	480i	480i	出力しない

●ご注意

- HDMI端子の付いたもの、またはソニー製のケーブルを推奨します。
- 著作権保護のための信号が記録されている映像をHDMI OUT端子から出力することはできません。
- 一部の機器では、映像や音声が出ないなど正常に動作しない場合があります。
- 本機と接続機器の出力端子同士での接続はしないでください。故障の原因になります。
- [REC FORMAT]のフレームレートが24pまたは30pのときには、プルダウン方式でインターレース信号もしくはプログレッシブ信号のどちらかに変換して出力されます。
- テレビやモニターに出力中、編集画面を表示するとメニューの一部が正しく表示できない場合があります。
- 本機はプラビアリンクに対応しておりません。

✿ちょっと一言

- HDMI(High-Definition Multimedia Interface)とはテレビ接続機器のデジタル映像／音声信号を直接つなぐインターフェースです。HDMI OUT端子とテレビを1本のケーブルで接続することで、高画質な映像とデジタル音声を楽しめます。

動画・静止画を保護する(プロジェクト)

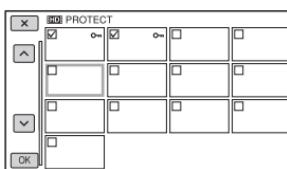
動画・静止画を誤って削除してしまうことを防げます。

1 VISUAL INDEX画面でMENUボタンを押す。

2 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して \square (EDIT)メニュー → [PROTECT]を選ぶ。

3 プロテクトしたい動画・静止画をタッチする。

画像に \checkmark マークが表示されます。



- サムネイルを長押しすると、プレビューできます。 \times で選択画面に戻ります。
- 一度に100個までの画像を選べます。

4 \square → \square → \square をタッチする。

プロテクトを解除するには

手順3で \checkmark マークがついている動画・静止画をタッチする。

\checkmark マークが消えます。

●ご注意

- 標準画質(DV)はプロテクトできません。

動画を分割する

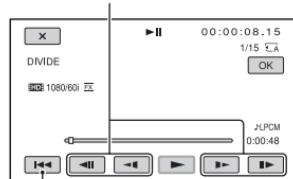
指定した場面で動画を分割できます。

1 動画の再生中にMENUボタンを押す。

2 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して \square (EDIT)メニュー → [DIVIDE]を選ぶ。

3 分割したい場面で \square をタッチする。

\square で場面を決定してから、これらのボタンで微調整をする



選んだ動画の先頭に戻る

4 \square → \square をタッチする。

●ご注意

- いったん分割した動画は元に戻せません。
- 分割中は、本機からバッテリーやACアダプター、分割対象のメモリーカードを取り外さないでください。メモリーカードが壊れるおそれがあります。
- 本機では約0.5秒ごとに分割点を検出するため、 \square で決定した分割点と実際の分割点とでは若干のずれが生じことがあります。
- 標準画質(DV)は分割できません。

✿ちょっと一言

- 本機では簡単な編集ができます。さらに編集する場合は、市販のソフトウェアをお使いください。

動画・静止画を削除する

不要な動画・静止画を削除すると、削除した分のメモリーカードの容量を元に戻せます。

ご注意

- いったん削除した画像は元に戻せません。
- 削除中は、本機からバッテリーやACアダプター、削除対象のメモリーカードを取り外さないでください。メモリーカードが壊れるおそれがあります。
- プロテクトされた動画・静止画は削除できません。削除するにはプロテクトを解除してください(71ページ)。
- 大切な動画・静止画は、あらかじめ保存してください(97ページ)。
- MP4動画は本機では削除できません。パソコンに画像を保存したあと、本機で[MEDIA FORMAT]を行ってください(75ページ)。
- 標準画質(DV)は削除できません。

ちょっと一言

- メモリーカードに保存されているすべてのデータを削除して記録容量を元に戻す場合は、初期化します(75ページ)。

• サムネイルを長押しすると、プレビューでできます。[X]で選択画面に戻ります。

- 1度に100個までの画像を選びます。
- プロテクトされている画像にはサムネイルの右上に●が表示されます。
- プロテクトされている画像にはチェックボックスは表示されません。

4 [OK] → [OK] → [OK] をタッチする。

1 VISUAL INDEX画面でMENUボタンを押す。

2 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して[EDIT]メニュー → [DELETE]を選ぶ。

3 削除する動画・静止画をタッチする。



画像に✓マークが表示されます。

動画・静止画をコピーする

メモリーカードに保存されている画像をメモリーカードA、メモリーカードB間や、外付けメディアにコピーできます。コピーするメモリーカードを本機に入れておいてください。

6 ご注意

- 初めてメモリーカードに画像を記録するときは、MENUボタンを押して、 (OTHERS)メニュー → [REPAIR IMAGE DB FILE] → [MEMORY CARD A]もしくは[MEMORY CARD B]で管理ファイルを作成してください。
- 途中で電源が切れないように、ACアダプターを使ってコンセントから電源を取ってください。
- 標準画質(DV)はコピーできません。

7 ちょっと一言

- コピーしても、元の動画や静止画は削除されません。

1 VISUAL INDEX画面でMENUボタンを押す。

2 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して (EDIT)メニュー → [COPY]を選ぶ。

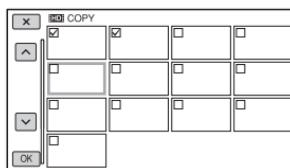
3 コピー元とコピー先を選ぶ。

4 [Multiple Images]を選ぶ。

5 画像の種類を選ぶ
([ MOVIE]、[ PHOTO])。

6 コピーする動画や静止画をタッチする。

画像に✓マークが表示されます。



- サムネイルを長押しすると、プレビューできます。☒で選択画面に戻ります。
- 一度に100個までの画像を選べます。

7  →  →  をタッチする。

すべての動画や静止画をコピーするには

手順**4**で[ALL]を選び、手順**5**で画像の種類を選ぶ。

動画から静止画を作成する

記録済みの動画からお好みの場面を静止画として記録できます。

- 日付時刻データがない動画から静止画を作成した場合、静止画の撮影日時は作成日時と同じ日付になります。

- 1 動画の再生中にMENUボタンを押す。
- 2 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して『(EDIT)メニュー → [PHOTO CAPTURE]を選ぶ。
- 3 静止画にしたい場面で『』をタッチする。

『』で場面を決定してから、これらのボタンで微調整をする



選んだ動画の先頭に戻る

- 4 [OK]をタッチする。
- 静止画は、再生している動画のメモリーカードに記録されます。静止画の記録が完了すると一時停止の状態に戻ります。

●ご注意

- 標準画質(DV)は動画から静止画を作成できません。
- 静止画の画像サイズは[2.1M]に固定されます。
- 静止画を記録するメディアに空き容量がないと実行できません。
- 作成された静止画の撮影日時は、元の動画の撮影日時と同じ日付になります。

メモリーカードを初期化する

初期化とはメモリーカード内のデータをすべて削除して、メモリーカードの容量を元に戻すことです。

●ご注意

- 途中で電源が切れないように、ACアダプターを使ってコンセントから電源を取ってください。
- 大切な画像データは保存(97ページ)してからデータ消去を行ってください。
- プロテクトされた動画・静止画も削除されます。

1 MENUボタンを押す。

2 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して \square (OTHERS)メニュー→[MEDIA FORMAT]を選ぶ。

3 初期化するメモリーカードを選ぶ。

4 [OK]→[OK]をタッチする。

●ご注意

- [Executing...]が表示されているときは、電源の入/切やボタンを操作したり、メモリーカードやACアダプターを取り外したりしないでください。(初期化中はアクセスランプが点灯・点滅します。)

メモリーカード上のデータを復元しにくくする

メモリーカードに無意味なデータを書き込んで、データの復元を困難にします。初期化ではすべてのデータを削除できないので、メモリーカードを廃棄したり譲渡したりする前に、情報の漏洩を防ぐためメディアデータ消去を行うことをおすすめします。

●ご注意

- データ消去を行うと、保存されているデータはすべて消去されます。大切な画像データは保存(97ページ)してからデータ消去を行ってください。
- ACアダプターを使って電源をコンセントから取っていないと、データ消去を行うことはできません。
- ACアダプター以外のケーブル類は外してください。実行中はACアダプターを外さないでください。
- データ消去中は、本機に振動や衝撃を与えないでください。

1 本機をACアダプターAC-L100C(付属)を使ってコンセントにつなぐ(19ページ)。

2 MENUボタンを押す。

3 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して \square (OTHERS)メニュー→[MEDIA FORMAT]を選ぶ。

4 初期化するメモリーカードを選ぶ。

初期化の画面が表示されます。

5 [Empty] → [OK]をタッチする。

●ご注意

- データ消去の実行には、容量によって数分から数時間かかる場合があります。実際にかかる時間は液晶モニター上でご確認ください。
- [Executing..]が表示されている間に中止した場合は、中止したメモリーカードを使う前に、[MEDIA FORMAT]またはデータ消去を実行して完了させてください。

管理ファイルを修復する

管理情報とメモリーカードの動画・静止画の整合性を確認し、不整合があれば修復します。

●ご注意

- 途中で電源が切れないように、ACアダプターを使ってコンセントから電源を取ってください。

1 MENUボタンを押す。

2 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して[OTHERS]メニュー → [REPAIR IMAGE DB FILE]を選ぶ。

3 管理ファイルを確認するメモリーカードを選ぶ。

4 [OK]をタッチする。

管理ファイルの確認が始まります。不整合が見つからなかった場合は、[OK]をタッチして終了してください。

5 [OK] → [OK]をタッチする。

●ご注意

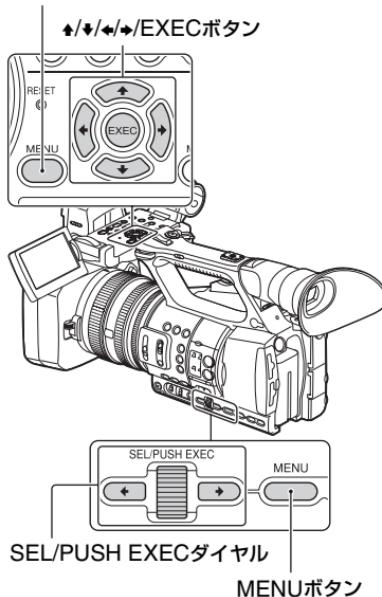
- [Repairing the image database file.]が表示されている間に中止した場合は、中止したメモリーカードを使う前に、管理ファイルを再度修復してください。

メニューで設定を変更する

メニューの使いかた

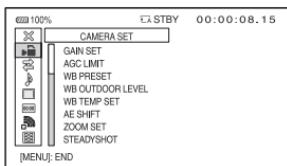
画面に表示されるメニューで、お好みの設定やより細かい設定ができます。

MENUボタン



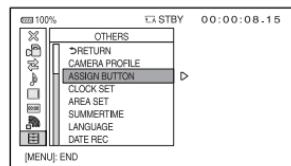
1 MENUボタンを押す。

メニュー画面が表示されます。

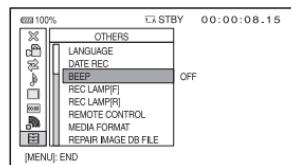


2 SEL/PUSH EXECダイヤルを回してメニューアイコンを選び、押して決定する。

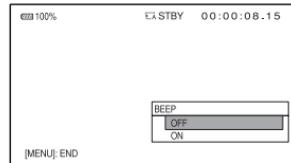
- ◀/▶/◀/▶/EXECボタン
- CAMERA SET(82ページ)
- REC/OUT SET(85ページ)
- AUDIO SET(86ページ)
- DISPLAY SET(88ページ)
- 00:00 TC/UB SET(92ページ)
- NETWORK SET(93ページ)
- OTHERS(94ページ)
- EDIT(81ページ)



3 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して設定する項目を選び、押して決定する。



4 SEL/PUSH EXECダイヤルを回して希望の設定を選び、押して決定する。



5 MENUボタンを押して、メニュー画面を消す。

[RETURN] を選ぶと1つ前の階層に戻ります。

⌚ご注意

- 表示される項目は、撮影、再生時の本機の状態によって変わります。
- 他のメニューの設定状況によって選択できない状態にある項目や設定値はグレー表示されます。

💡ちょっと一言

- SEL/PUSH EXECダイヤルの代わりに、////EXECボタンでも操作できます。

メニュー一覧

各メニュー項目の設定の機能および設定値は以下のとおりです。
出荷時の初期設定値は、▶で示しています。

(CAMERA SET) (82ページ)

GAIN SET	H -6dB ~ 30dB (▶18dB)
	M -6dB ~ 30dB (▶9dB)
	L -6dB ~ 30dB (▶0dB)
AGC LIMIT	▶OFF, 21dB ~ 0dB
WB PRESET	▶OUTDOOR, INDOOR, MANU WB TEMP
WB OUTDOOR LEVEL	-7 ~ +7 (▶0)
WB TEMP SET	2300K ~ 15000K (▶6500K)
AE SHIFT	ON/OFF ▶OFF, ON LEVEL -2.0EV ~ +2.0EV (▶0EV)
ZOOM SET	ZOOM TYPE ▶OPTICAL ZOOM ONLY, ON[CLEAR IMAGE ZOOM], ON[DIGITAL ZOOM] HANDLE ZOOM 1 ~ 8 (▶3) SPEED ZOOM ▶OFF, ON
STEADYSHOT	▶STANDARD, ACTIVE, OFF
CONVERSION LENS	▶OFF, WIDE CONVERSION
S&Q MOTION	REC FORMAT 1080/60p PS, 1080/30p FX, 1080/30p FH, ▶1080/24p FX, 1080/24p FH FRAME RATE 1~60fps (▶60fps)
AUTO MODE SET	▶AUTO, INTELLIGENT AUTO, SCENE SELECTION

SCENE SELECTION SET	NIGHT SCENE, SUNRISE&SUNSET, FIREWORKS, LANDSCAPE, ▶PORTRAIT, SPOTLIGHT, BEACH
SPOT METER/FOCUS	
SPOT METER	
SPOT FOCUS	
AUTO SLOW SHUTTER	▶OFF, ON
FACE DETECTION	ON, ▶OFF
COLOR BAR	ON/OFF ▶OFF, ON
TONE	▶OFF, ON

メニューで設定を変更する

メニュー一覧(つづき)



(REC/OUT SET) (85ページ)

REC SET

REC FORMAT

- ▶ 1080/60i FX、
1080/60i FH、
1080/60i HQ、
1080/60i LP、
1080/60p PS、
720/60p FX、
720/60p FH、
720/60p HQ、
1080/30p FX、
1080/30p FH、
1080/24p FX、
1080/24p FH

SIMUL/RELAY REC

- ▶ OFF、MP4 SIMUL REC、
SIMULTANEOUS REC、RELAY REC

REC BUTTON SET

- ▶ REC BUTTON :
▶ HANDLE REC
BUTTON :
 / REC
BUTTON : 、
HANDLE REC
BUTTON : /
REC BUTTON :
REC BUTTON :

DV MODE

WIDE REC

- ▶ OFF、ON

CANCEL DV MODE

VIDEO OUT

HDMI

- 1080p/480i、
720p/480i、
▶ 1080i/480i、480p、
480i

DOWN CONVERT TYPE

- ▶ SQUEEZE、
LETTER BOX(16:9)、
EDGE CROP

WIDE CONVERT

- ▶ SQUEEZE、
LETTER BOX(16:9)、
EDGE CROP

HDMI TC OUTPUT

- ▶ OFF、ON



(AUDIO SET) (86ページ)

AUDIO FORMAT

- ▶ LINEAR PCM、
DOLBY DIGITAL

AUDIO LIMIT

- ▶ OFF、ON

HEADPHONE OUT

- ▶ STEREO、MONO

INT MIC SET

- INT MIC SENS
▶ NORMAL、HIGH
INT MIC WIND
▶ OFF、ON

XLR SET

- XLR AGC LINK
▶ SEPARATE、
LINKED

INPUT1 TRIM

- 18dB ~ +12dB
(▶ 0dB)

INPUT1 WIND

- ▶ OFF、ON

INPUT2 TRIM

- 18dB ~ +12dB
(▶ 0dB)

INPUT2 WIND

- ▶ OFF、ON



(DISPLAY SET) (88ページ)

HISTOGRAM

- ▶ OFF、ON、
ON[ZEBRA POINT]

ZEBRA

- ON/OFF
▶ OFF、ON

LEVEL

- 70 ~ 100、100+
(▶ 70)

PEAKING

- ON/OFF
▶ OFF、ON

COLOR

- ▶ WHITE、RED、
YELLOW

LEVEL

- HIGH、▶ MIDDLE、
LOW

MARKER	ON/OFF ▶OFF, ON
CENTER	▶ON, OFF
ASPECT	▶OFF, 4:3, 13:9, 14:9, 15:9, 1.66:1, 1.85:1, 2.35:1
SAFETY ZONE	▶OFF, 80%, 90%
GUIDEFRAME	▶OFF, ON
FOCUS MAG RATIO	x4.0, x8.0, ▶x4.0/ x8.0
CAMERA DATA DISPLAY	OFF, ▶ON
AUDIO LEVEL DISPLAY	▶ON, OFF
ZOOM DISPLAY	▶BAR, NUMBER
FOCUS DISPLAY	▶METER, FEET
SHUTTER DISPLAY	▶SECOND, DEGREE
LCD BRIGHT	▶AUTO, NORMAL, BRIGHT
VF BACKLIGHT	▶NORMAL, BRIGHT
DISPLAY OUTPUT	▶LCD PANEL, ALL OUTPUT

00:00 (TC/UB SET)	(92ページ)
TC PRESET	▶PRESET, RESET
UB PRESET	▶PRESET, RESET
TC FORMAT	▶DF, NDF
TC RUN	▶REC RUN, FREE RUN
TC MAKE	▶PRESET, REGENERATE
UB TIME REC	▶OFF, ON

Wi-Fi (NETWORK SET)	(93ページ)
SEND TO SMARTPHONE	
CTRL W/ SMARTPHONE	
AIRPLANE MODE	▶OFF, ON
EDIT DEVICE NAME	
SSID/PW RESET	

(OTHERS) (94ページ)

CAMERA PROFILE	MEMORY CARD A, MEMORY CARD B
ASSIGN BUTTON	ASSIGN1, ASSIGN2, ASSIGN3, ASSIGN4, ASSIGN5, ASSIGN6
CLOCK SET	
AREA SET	
SUMMERTIME	▶OFF, ON
LANGUAGE	
DATE REC	▶OFF, ON
BEEP	▶OFF, ON
REC LAMP[F]	▶ON, OFF
REC LAMP[R]	▶ON, OFF
REMOTE CONTROL	▶ON, OFF
MEDIA FORMAT	MEMORY CARD A, MEMORY CARD B
REPAIR IMAGE DB FILE	MEMORY CARD A, MEMORY CARD B
USB CONNECT	
OPERATION TIME	
VERSION DISPLAY	
CALIBRATION	

(EDIT)

PROTECT	
DIVIDE	
DELETE	
PHOTO CAPTURE	
COPY	

✿ちょっと一言

- [EDIT]は、VISUAL INDEX画面や、再生画面でMENUボタンを押すと表示されます。

► (CAMERA SET) メニュー

撮影状況に合わせるための設定(GAIN SET/STEADYSHOTなど)

►は、お買い上げ時の設定。

操作方法は77ページをご覧ください。

MENUボタンを押す → SEL/PUSH EXECダイヤルで、► (CAMERA SET)を選択すると表示されます。

GAIN SET(ゲイン設定)

ゲインスイッチ[H]「M」「L」のゲイン値を設定するときに選びます。

お買い上げ時の設定：

[H] : 18dB、[M] : 9dB、[L] : 0dB

- ① SEL/PUSH EXECダイヤルで [H] [M] [L] のいずれかを選択。
- ② SEL/PUSH EXECダイヤルでゲインの設定値を選び、押して決定する。
-6dB～30dBの間で、3dB間隔で選択できます。数値が大きくなるほど、ゲインが上がります。
- ③ SEL/PUSH EXECダイヤルで [OK] を選ぶ。

AGC LIMIT(AGCリミット)

オートゲインコントロール(AGC)の上限値を選びます。

►OFF、21dB～0dB(3dB単位)

⌚ご注意

- ゲインを手動調節していると効果はありません。

WB PRESET(WBプリセット)

プリセットホワイトバランスを使うときには選びます。詳しくは39ページをご覧ください。

WB OUTDOOR LEVEL(WB屋外レベル)

プリセットホワイトバランスが [OUTDOOR] のときのオフセット量を設定します。

-7～►0～+7

(青め～標準～赤め)

WB TEMP SET(WB色温度設定)

プリセットホワイトバランスが [MANU WB TEMP] のときの色温度の値を設定します。

2300K～►6500K～15000K(100K単位)

AE SHIFT(AEシフト)

■ ON/OFF

► OFF

AEシフト機能を使わない。

ON

AEシフト機能を使う。設定した数値が表示されます(例:-2.0EV)。

■ LEVEL

SEL/PUSH EXECダイヤルで明るさを調節できます。

-2.0EV～►0EV～+2.0EV

(暗い～標準～明るい)

⌚ご注意

- アイリス、シャッタースピード、ゲインのすべてを手動調節していると効果はありません。

⌚ちょっと一言

- [ON/OFF] をASSIGNボタンに割り当てることができます(60ページ)。

ZOOM SET(ズーム設定)

■ ZOOM TYPE

► OPTICAL ZOOM ONLY

光学ズームのみ使用する。
20倍までズームできます。

ON[CLEAR IMAGE ZOOM]

光学ズームに加え、全画素超解像ズームも使用できる。
光学ズーム20倍を含む40倍までズームできます。

ON[DIGITAL ZOOM]

光学ズーム、全画素超解像ズームに加え、デジタルズームも使用できる。
DQが表示されている範囲は画質が劣化しますが、最大320倍までズームできます。

✿ちょっと一言

- ・全画素超解像ズーム(CLEAR IMAGE ZOOM)とは、画質の劣化が少ない画像ズーム機能です。
- ・デジタルズーム中は、顔検出が無効になります。

■ HANDLE ZOOM

ハンドルズームスイッチが「FIX」のときのズームスピードを設定できます。

1～▶3～8

(遅い～標準～速い)

■ SPEED ZOOM

ズームレバーやハンドルズームレバーのズーム駆動速度を速くするかを設定する。

► OFF

ON

✿ご注意

- ・[ON]に設定すると、ズームの駆動音が動画に記録されることがあります。

STEADYSHOT(手ブレ補正)

撮影時の手ブレ軽減の設定をします。

► STANDARD(■_{STD})

比較的安定した状態での撮影時、手ブレ補正機能を使う。

ACTIVE(■_{ACT})

強い手ブレ補正効果が得られる。

OFF(■_{OFF})

手ブレ補正機能を使わない。
三脚使用時は[OFF]にすることをおすすめします。

✿ご注意

- ・[ACTIVE]設定時は、画角が1.08倍テレシフトします。

✿ちょっと一言

- ・ASSIGNボタンに割り当てるすることができます(60ページ)。

CONVERSION LENS (コンバージョンレンズ)

本機に対応しているコンバージョンレンズ(別売)を使用する場合に設定します。コンバージョンレンズに合わせて、手ブレ補正とフォーカスが最適化されます。

► OFF

コンバージョンレンズを使わない。

WIDE CONVERSION

ワイドコンバージョンレンズを使う。

S&Q MOTION(スロー&クイックモーション)

58ページをご覧ください。

AUTO MODE SET(オートモード設定)

44ページをご覧ください。

MENUボタンを押す → SEL/PUSH EXECダイヤルで、 (CAMERA SET)を選択すると表示されます。

SCENE SELECTION SET (シーンセレクション設定)

45ページをご覧ください。

SPOT METER/FOCUS (スポット測光フォーカス)

選んだ被写体に明るさとピントが自動調整されます。

✿ちょっと一言

- ・自動調整された明るさは、AUTO/MANUALスイッチを「AUTO」にすることで解除されます。

SPOT METER(スポット測光)

選んだ被写体に明るさが自動調整されます。

✿ちょっと一言

- ・自動調整された明るさは、AUTO/MANUALスイッチを「AUTO」にすることで解除されます。

SPOT FOCUS(スポット フォーカス)

32ページをご覧ください。

AUTO SLOW SHUTTER (オートスローシャッター)

暗い場所で撮影するときに自動的に1/30まで(ただし、24p撮影時は1/24まで)シャッタースピードが遅くなります。

▶ OFF

オートスローシャッターを使わない。

ON

オートスローシャッターを使う。

FACE DETECTION(顔認識)

32ページをご覧ください。

COLOR BAR(カラーバー)

■ ON/OFF

▶ OFF

カラーバーを表示しない。

ON

カラーバーを表示、記録し、音声トーン信号を出力する。

本機で撮影した画像をテレビやモニターで見るときに、カラーバーを見ながら色味を調節するときに便利です。

✿ご注意

- ・フォーマットを切り換えた後、MENUによる機能を実行したり、電源を切ったりすると、自動的に[OFF]に戻ります。
- ・[COLOR BAR]の設定は、録画中、拡大フォーカス中は変更することができません。
- ・[SIMUL/RELAY REC]が[MP4 SIMUL REC]に設定されている場合は、[COLOR BAR]は[ON]にできません。

■ TONE

▶ OFF

音声トーン信号を出力しない。

ON

音声トーン信号(1kHz: フルビット-20dB)を出力する。

[ON/OFF]も[ON]に設定してください。

✿ちょっと一言

- ・[ON/OFF]をASSIGNボタンに割り当てることができます(60ページ)。
- ・[TONE]を[OFF]にしてカラーバーを記録した場合、マイクからの音声が記録されます。

⇄ (REC/OUT SET) メニュー

録画、入出力に関する設定(REC SET/
VIDEO OUTなど)

▶は、お買い上げ時の設定。
操作方法は77ページをご覧ください。

MENUボタンを押す → SEL/PUSH EXECダイヤルで、⇄ (REC/OUT SET)を選択すると表示されます。

REC SET(録画設定)

■ REC FORMAT

34ページをご覧ください。

■ SIMUL/RELAY REC

28ページをご覧ください。

■ REC BUTTON SET

28ページをご覧ください。

■ DV MODE

35ページをご覧ください。

■ WIDE REC

標準画質(DV)で録画する場合のアスペクト比を設定します。

▶ OFF (4:3)

4:3で記録する。

ON

16:9で記録する。

⌚ご注意

• ハイビジョン画質(HD)で録画する場合は、アスペクト比は16:9に固定され、4:3にできません。

■ CANCEL DV MODE

36ページをご覧ください。

VIDEO OUT(映像出力)

■ HDMI

HDMI端子からの出力信号の解像度を選びます。

1080p/480i

720p/480i

▶ 1080i/480i

480p

480i

⌚ちょっと一言

• 接続するケーブルによる出力信号の解像度は70ページをご覧ください。

■ DOWN CONVERT TYPE

映像信号出力形式を設定します。

16:9で撮影された動画や、静止画を出力する際に有効です。

▶ SQUEEZE

画面の天地をいかし、水平方向に圧縮して出力する。

LETTER BOX (16:9)

垂直方向を圧縮することにより、アスペクト比を損なうことなく出力する。

EDGE CROP

画面の天地をいかし、左右を切り捨てる方法で出力する。

■ WIDE CONVERT

映像信号出力形式を設定します。

[WIDE REC]を[ON]にして録画したDV動画を出力する際に有効です。

▶ SQUEEZE

画面の天地をいかし、水平方向に圧縮して出力する。

LETTER BOX (16:9)

垂直方向を圧縮することにより、アスペクト比を損なうことなく出力する。

MENUボタンを押す → SEL/PUSH EXECダイヤルで、 (REC/OUT SET)を選択すると表示されます。

EDGE CROP

画面の天地をいかし、左右を切り捨てる方法で出力する。

●ご注意

- [HDV WIDE REC]を[ON]にして標準画質(DV)で撮影した動画を4:3テレビで見ると、接続するテレビによっては、画面の天地はそのまままで、水平方向を圧縮して再生します。そのような4:3テレビで見るときは、[LETTER BOX (16:9)]または[EDGE CROP]に設定してください。
- [SQUEEZE]からその他の設定、他の設定から[SQUEEZE]に切り換えるときに、一時画面が消えて、画像と音声が途切れます。

■ HDMI TC OUTPUT

HDMIを利用して、他の業務用機器にタイムコードを出力するかの設定ができます。

▶ OFF

タイムコード情報をHDMI出力信号に乗せない。

ON

タイムコード情報をHDMI出力信号に乗せる*。画面に出す映像としてではなく、デジタルデータとして伝送し、接続先機器がそのデータを参照することでタイムデータを知ることができます。

- * 24pのときは、2-3PullDownを行って、その情報を自動付加して伝送します。

♪(AUDIO SET) メニュー

録音に関する設定( AUDIO FORMAT/XLR SETなど)

▶は、お買い上げ時の設定。
操作方法は77ページをご覧ください。

MENUボタンを押す → SEL/PUSH EXECダイヤルで、♪(AUDIO SET)を選択すると表示されます。

AUDIO FORMAT(録音フォーマット)

ハイビジョン画質(HD)時の記録音声フォーマットを切り替えます。

▶ LINEAR PCM(♪LPCM)

リニアPCM方式で記録する。

DOLBY DIGITAL(♪DolbyD)

ドルビーデジタル方式で記録する。

●ご注意

- 標準画質(DV)の撮影では音声記録はLPCMに固定されます。

AUDIO LIMIT(音声リミッター)

CH1/CH2に音割れ防止機能の設定をします。

▶ OFF

音割れ防止機能が働かない。

ON

音割れ防止機能が働く。

●ご注意

- AUTO/MAN(CH1/CH2)スイッチが「MAN」のときのみ有効です。

HEADPHONE OUT(ヘッドホン出力)

HEADPHONE MONITORスイッチが「MIX」のときのヘッドホンに出力する方式を設定します。

▶ STEREO

ステレオで出力する。

MONO

モノラルで出力する。

●ご注意

- STEREOを選択し、かつCH1、CH2ともに内蔵マイクを選択した場合(CH1:INT MIC、CH2:INT MIC)、記録中およびスタンバイ中にヘッドホンから出力される音は、実際に記録される音よりもステレオ感が弱くなります。

INT MIC SET(INT MIC設定)

■ INT MIC SENS

内蔵マイク使用時の録音感度を設定します。

▶ NORMAL

業務用機器で一般的に使われる感度。

HIGH

民生用機器で一般的に使われる感度。

■ INT MIC WIND

内蔵マイクで入力音声の低域音をカットして、風音低減をします。

▶ OFF

風音低減を行わない。

ON(□)

風音低減を行う。

XLR SET(XLR設定)

■ XLR AGC LINK

外部マイク使用時のチャンネル1/2のAGC(オートゲインコントロール)の連動/非連動を切り替えます。

▶ SEPARATE

AGC非連動にする(チャンネル1/2を別々の音声として記録する)。

LINKED(♪A1])

AGC連動にする(チャンネル1/2をステレオのように1組の音声として記録する)。

ステータスチェック画面にA1が表示されます。

●ご注意

- AUTO/MANスイッチがCH1/CH2ともに「AUTO」で、INPUT1、INPUT2スイッチが両方とも「MIC」または両方とも「LINE」のときには有効です(41ページ)。

■ INPUT1 TRIM

INPUT1端子から録音するときの入力信号のレベルを調節します。

-18dB、-12dB、-6dB、▶0dB、+6dB、+12dB

●ご注意

- INPUT1スイッチが「LINE」のとき、設定は無効です。

■ INPUT1 WIND

▶ OFF

INPUT1端子の風音低減をしない。

ON

INPUT1端子の風音低減をする。

ステータスチェック画面に□が表示されます。

●ご注意

- INPUT1スイッチが「LINE」のとき、設定は無効です。

■ INPUT2 TRIM

■ INPUT2 WIND

INPUT2にも、それぞれINPUT1と同じ機能があります。

MENUボタンを押す → SEL/PUSH EXECダイヤルで、♪(AUDIO SET)を選択すると表示されます。

✿ちょっと一言

- ・本機は-48dBuを0dBとして設計しています。
- ・付属のマイクをお使いのときは、INPUT TRIMを[0dB]に設定してください。
- ・INPUT TRIM機能は外部マイクの入力レベルを調節します。感度の高いマイクや大きな音を記録する場合はマイナス側に、感度の低いマイクや小さな音を記録する場合はプラス側に調節してください。
- ・大音量で音がひずむ理由として、入力部でひずむ場合と記録部でひずむ場合があります。入力部でひずむ場合は、INPUT TRIM機能で調節してください。記録部でひずむ場合は、手動で全体的なレベルを下げてください。
- ・INPUT TRIMをマイナス側にしすぎると、マイク音量が小さくなりすぎ、S/Nが悪くなります。
- ・使用するマイクや音場に合わせて、あらかじめ[XLR SET]の効果をテストしてご使用ください。

□(DISPLAY SET) メニュー

画面/ファインダーの表示設定
(MARKER/DISPLAY OUTPUTなど)

▶は、お買い上げ時の設定。

操作方法は77ページをご覧ください。

MENUボタンを押す → SEL/PUSH EXECダイヤルで、□(DISPLAY SET)を選択すると表示されます。

HISTOGRAM(ヒストグラム)

ヒストグラムは、どの明るさの画素がどれだけ存在するかを表します。

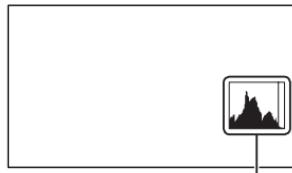
▶ OFF

ヒストグラムを表示しない。

ON

ヒストグラムを表示する。

100%の位置にラインが表示され、それ以上の背景色が変わる。



ヒストグラム

ON[ZEBRA POINT]

ヒストグラムにゼブラポイントとして表示される。[ZEBRA]で設定されているレベルにラインが表示される。

✿ちょっと一言

- ・ASSIGNボタンに割り当てるすることができます(60ページ)。

ZEBRA(ゼブラ)

明るさ調節をするときの目安にすると便利です。

■ ON/OFF

▶ OFF

ゼブラを表示しない。

ON(■とレベル)

記録した画像にゼブラは記録されません。

■ LEVEL

輝度レベルを選べます。

▶ 70~100または100+

◊ちょっと一言

- ・ゼブラとは、画面に映る画像の中で、設定した輝度レベル部分に表示される縞模様のことです。
- ・[ON/OFF]をASSIGNボタンに割り当てることができます(60ページ)。

PEAKING(ピーキング)

■ ON/OFF

▶ OFF

ピーキングを表示しない。

ON(PEAKING)

画面上に画像の輪郭が強調して表示される。

ピントが合わせやすくなります。

■ COLOR

ピーキングの色を選べます。

▶ WHITE、RED、YELLOW

■ LEVEL

ピーキング感度を選べます。

HIGH、▶MIDDLE、LOW

◊ご注意

- ・輪郭強調された画像はメモリーカードに記録されません。

◊ちょっと一言

- ・拡大フォーカス(32ページ)と一緒に使うと、ピントが合わせやすくなります。
- ・[ON/OFF]をASSIGNボタンに割り当てることができます(60ページ)。

MARKER(マーカー)

■ ON/OFF

▶ OFF

マーカーを表示しない。

ON

マーカーを表示する。

マーカーはメモリーカードに記録されません。

■ CENTER

▶ ON

画面の中心にマーカーを表示する。

OFF

センターマーカーを表示しない。



■ ASPECT

▶ OFF

アスペクト比を表示しない。

4:3、13:9、14:9、15:9、1.66:1、

1.85:1、2.35:1

アスペクト比位置にマーカーを表示する。



MENUボタンを押す → SEL/PUSH EXECダイヤルで、□ (DISPLAY SET)を選択すると表示されます。

■ SAFETY ZONE

OFF

ヤーフティゾーンを表示しない。

80% - 90%

どれかを選ぶと、一般的な家庭用テレビで受像できる範囲を選んでマーカーを表示する。



■ GUIDEFRAAME

► OFF

ガイドフレームを表示しない。

ON

ガイドフレームを表示する

被写体が水平/垂直になっているかを確認できます。



（）で注意

- マーカー表示中は、[DISPLAY OUTPUT]の設定を[ALL OUTPUT]にしていても、タイムコード以外は何も出力されません。
 - [FOCUS MAGNIFIER]中は、マーカーを表示できません。
 - マーカー表示は、液晶モニターのみに表示されます（外部に出力することはできません）。

ちよつと一言

- すべてのマークを同時に表示できます。
 - [GUIDEFRAME]の交差点に被写体を置くと、バランスの良い構図になります。
 - [ON/OFF]をASSIGNボタンに割り当てることができます(60ページ)

FOCUS MAG RATIO(拡大 フォーカス倍率)

拡大フォーカスの倍率を設定できます。

×40

x80

► $\times 4.0/\times 8.0$

FOCUS MAGNIFIERボタンを押すたびに[×4.0]→[×8.0]→[OFF]の順に切り替わります。

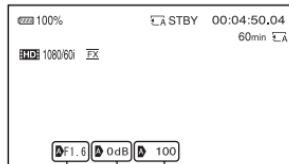
CAMERA DATA DISPLAY(カメラデータ表示)

OFF

アイリス、ゲイン、シャッタースピードの値を表示しない。

▶ ON

アイリス、ゲイン、シャッタースピードの値を常に表示する。



アイリス値 シャッタースピード値
ゲイン値

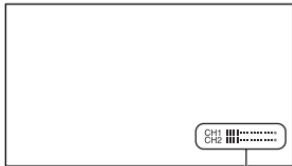
✿ちょっと一言

- カメラデータ表示の設定に関わらず、手動設定時は設定値が表示されます。
 - **A** は自動設定されていることを示します。
 - **B** は[SPOT METER]もしくは[SPOT METER/FOCUS]を実行することによって、AEが固定されていることを示します。
 - DATA CODEボタンを押したときに表示される項目とは異なります(67ページ)。
 - ASSIGNボタンに割り当てることができます(60ページ)。

AUDIO LEVEL DISPLAY(音声レベル表示)

▶ ON

オーディオレベルメーターを表示する。



オーディオレベルメーター

OFF

オーディオレベルメーターを表示しない。

✿ちょっと一言

- ASSIGNボタンに割り当てるすることができます(60ページ)。

ZOOM DISPLAY(ズーム表示)

▶ BAR

ズーム位置をバーで表示する。

NUMBER

ズーム位置を数値で表示する。

FOCUS DISPLAY(フォーカス表示)

▶ METER

フォーカス距離をメートルで表示する。

FEET

フォーカス距離をフィートで表示する。

SHUTTER DISPLAY(シャッター表示)

▶ SECOND

シャッター表示を秒で表示する。

DEGREE

シャッター表示を角度で表示する。

本機がイメージセンサーから画像データを読み込む時間に等しいシャッタースピードを 360° と定義します。この定義を元に角度は計算され、表示されます。

- [REC FORMAT]でフレームレートの値が60の設定値を選択時は、1/60で 360°
 - [REC FORMAT]でフレームレートの値が30の設定値を選択時は、1/30で 360°
 - [REC FORMAT]でフレームレートの値が24の設定値を選択時は、1/24で 360°
- [REC FORMAT]の設定について詳しくは、34ページをご覧ください。

✿ご注意

- DATA CODEボタンを押したときに表示されるシャッタースピードは、この設定に関わらず秒表示となります。

✿ちょっと一言

- 360° より長いシャッタースピードの場合、 360° の整数倍($360^{\circ} \times 2$ など)で表示します。

LCD BRIGHT(パネル明るさ)

液晶モニターの明るさを調節できます。録画される画像に影響はありません。

▶ AUTO

NORMAL

BRIGHT

MENUボタンを押す → SEL/PUSH EXECダイヤルで、 (DISPLAY SET) を選択すると表示されます。

●ご注意

- [AUTO]設定時、ACアダプターを接続している場合や液晶モニターを反転している場合は常に明るくなります。
- 照度センサーを手で覆わないでください。

VF BACKLIGHT(VFバックライト)

ファインダーの明るさを調節できます。

▶ NORMAL

BRIGHT

DISPLAY OUTPUT(画面表示出力)

タイムコードなどの画面表示の出力先を設定します。

▶ LCD PANEL

液晶モニターに出力する。

ALL OUTPUT

HDMI OUT/VIDEO OUTの各端子と液晶モニターに出力する。ゼブラとピーキング、顔枠表示も出力されます。

●ご注意

- [MARKER]が[ON]で、画面に表示されているときは、タイムコード、ゼブラ、ピーキング、顔枠表示以外は出力されません。

00:00 (TC/UB SET)

メニュー

タイムコードの設定(TC PRESET/UB PRESET/TC FORMATなど)

▶は、お買い上げ時の設定。

操作方法は77ページをご覧ください。

MENUボタンを押す → SEL/PUSH EXECダイヤルで、 (TC/UB SET) を選択すると表示されます。

TC PRESET

57ページをご覧ください。

UB PRESET

57ページをご覧ください。

TC FORMAT

タイムコードの記録方式を選びます。

▶ DF

タイムコードをドロップフレーム方式で記録する。

NDF

タイムコードをノンドロップフレーム方式で記録する。

●ご注意

-  1080/24pで記録するときは、[NDF]に固定されます。

◎ちょっと一言

ドロップフレームとは

タイムコードは30フレームを1秒として処理されますが、実際のNTSC映像信号のフレーム周波数は約29.97フレーム/秒のため、長時間記録しているうちに実時間とタイムコードにズレが生じてきます。これらを補正してタイムコードと実時間が等しくなるようにしたのがドロップフレームです。ドロップフレームでは毎10分目を除く各分の最初の2フレームが間引かれます。このような補正のないものをノンドロップフレームと呼びます。

Wi-Fi (NETWORK SET) メニュー

TC RUN

タイムコードの歩進を選びます。

▶ REC RUN

記録中のみタイムコードが歩進する。
最後に記録した画像上のタイムコードに連続して記録する。

FREE RUN

本機の操作に関係なく、連続してタイムコードが歩進する。

⌚ ご注意

- ・[REC RUN]モードで歩進する場合でも、以下のときはタイムコードが不連続になることがあります。
 - 録画フォーマットを切り換えたとき
 - メモリーカードを取り外したとき

TC MAKE

▶ PRESET

新たに設定したタイムコードをメモリーカードに記録する。

REGENERATE

メモリーカードに最後に記録されたタイムコードを読み取り、その値に連続するよう記録する。

[TC RUN]の設定に関係なく、タイムコードは[REC RUN]モードで歩進する。

UB TIME REC

▶ OFF

時刻をユーザービットコードとして記録しない。

ON

時刻をユーザービットコードとして記録する。

⌚ ご注意

- ・[ON]のときは、下位2桁は00に固定されます。

Wi-Fi機能に関する設定(SEND TO SMARTPHONE/CTRL W/ SMARTPHONEなど)

▶ は、お買い上げ時の設定。

操作方法は77ページをご覧ください。

MENUボタンを押す → SEL/PUSH EXECダイヤルで、Wi-Fi (NETWORK SET)を選択すると表示されます。

SEND TO SMARTPHONE (スマートフォン転送)

48ページをご覧ください。

CTRL W/SMARTPHONE (スマートフォン操作)

47ページをご覧ください。

AIRPLANE MODE(飛行機モード)

飛行機などに搭乗するとき、Wi-Fi機能を使用する設定を一時的にすべて無効にできます。

▶ OFF

飛行機モードを使用しない。

ON(+)

飛行機モードを使用する。

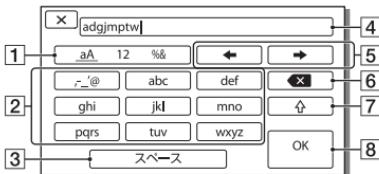
撮影画面に+が表示されます。

EDIT DEVICE NAME(機器名変更)

Wi-Fi Directなどの機器名称を変更します。

MENUボタンを押す → SEL/PUSH EXECダイヤルで、 (NETWORK SET)を選択すると表示されます。

キーボードの使いかた



各部名称	機能
①文字種切り換 え	アルファベット/数字/記号を切り換える
②キーボード	タッチするたびに表示されている文字が順番に表示される
③スペース	空白を空ける
④入力ボックス	入力した文字が表示される
⑤カーソル移動	入力ボックス内のカーソルを左右に移動する
⑥削除	カーソルの直前の文字を削除する
⑦△	アルファベットの大文字/小文字を切り換える
⑧OK	入力内容を確定する

途中で入力をやめる場合は、 を押してください。

SSID/PW RESET(SSID・PWリセット)

[CTRL W/SMARTPHONE] や [SEND TO SMARTPHONE] を使用するために登録した接続情報をリセットします。

●ご注意

- 接続情報のリセット後に再度本機とスマートフォンを接続する場合は、スマートフォンの再設定が必要です。

■(OTHERS)

メニュー

撮影時の設定や、各種基本設定(AREA SET/BEEPなど)

▶は、お買い上げ時の設定。

操作方法は77ページをご覧ください。

MENUボタンを押す → SEL/PUSH EXECダイヤルで、 (OTHERS)を選択すると表示されます。

CAMERA PROFILE(カメラプロファイル)

カメラの設定内容をカメラプロファイルとしてメモリーカードに99個まで保存できます。保存した設定を使って、適切なセットアップ状態をすばやく再現できます。

また、本機を複数台同じ設定で使用したい場合に、設定値をメモリーカードに保存して、他のカメラで保存した設定値を読み出することができます。

●ご注意

- パソコンでファイル名を変えたり、生成途中で電源を切ったりしたときは、ファイルが正しく見えない場合があります。
- メモリーカードを初期化すると、保存したカメラプロファイルも削除されます。

●ちょっと一言

- カメラプロファイルで保存される項目は、メニュー、ピクチャープロファイル、ボタンなどの設定値です。これらの設定値をまとめてカメラプロファイルに保存します。

■ LOAD

カメラプロファイルを読み込んで、設定を実行します。

- SEL/PUSH EXEC ダイヤルで読み込むカメラプロファイルを選択。

- 確認画面で [YES] を選択する。
いったん本機が再起動して、選択したカメラプロファイルが反映されます。

⌚ 注意

- 異なる型名の機種で保存したカメラプロファイルやパソコンなどで編集したカメラプロファイルは読み込めません。

■ SAVE

カメラプロファイルを保存します。

- SEL/PUSH EXEC ダイヤルで [NEW FILE]、または既存のプロファイル名を選ぶ。
- 確認画面で [YES] を選択する。
カメラプロファイルが保存されます。

⌚ ちょっと一言

- [NEW FILE]を選んだ場合、プロファイル名は [01](初めて保存する場合)になります。
- 既存のカメラプロファイルを保存先に選んだ場合は、上書きされます。
- 保存した設定はパソコンで編集できません。

■ DELETE

保存したカメラプロファイルを削除します。

- SEL/PUSH EXEC ダイヤルで削除するカメラプロファイルを選ぶ。

- 確認画面で [YES] を選択する。

ASSIGN BUTTON(ASSIGN ボタン登録)

60ページをご覧ください。

CLOCK SET(日時あわせ)

22ページをご覧ください。

AREA SET(エリア設定)

時計を止めることなく時差補正ができます。海外で使用するときに現地時刻に合わせられます。

- [SIMUL/RELAY REC]が[MP4 SIMUL REC]に設定されている場合は、[DATE REC]は [ON]にできません。

SUMMERTIME(サマータイム)

サマータイムとは、夏の一定期間、日照時間を有効に使うために時計を標準時間より進める制度で、欧米諸国では広く採用されています。[SUMMERTIME]を[ON]にすると、本機の時計が1時間進みます。

▶ OFF

サマータイムを設定しない。

ON

サマータイムを設定する。

LANGUAGE

日本語

メニュー項目などの画面表示やお知らせメッセージを日本語で表示する。

▶ ENGLISH

メニュー項目などの画面表示やお知らせメッセージを英語で表示する。

DATE REC(日付記録)

▶ OFF

日付と時刻を画像に直接記録しない。

ON

撮影時に日付と時刻を画像に直接記録する。

⌚ ちょっと一言

- スキャン方式がインターレースのときのみ設定できます。
- ゼブラまたはピーキング操作中は、日付/時刻の文字も信号の影響を受けますが、録画される文字には影響ありません。

⌚ 注意

- [SIMUL/RELAY REC]が[MP4 SIMUL REC]に設定されている場合は、[DATE REC]は [ON]にできません。

MENUボタンを押す → SEL/PUSH EXECダイヤルで、**■ (OTHERS)**を選択すると表示されます。

BEEP(操作音)

▶ OFF

操作音を出さない。

ON

撮影スタート/ストップの操作時や、警告表示時などにメロディが鳴る。

REC LAMP[F](録画ランプ前)

▶ ON

本体前面の録画ランプが点灯する。

OFF

本体前面の録画ランプが点灯しない。

✿ちょっと一言

- ASSIGNボタンに割り当てるすることができます(60ページ)。

REC LAMP[R](録画ランプ後)

▶ ON

本体後面の録画ランプが点灯する。

OFF

本体後面の録画ランプが点灯しない。

✿ちょっと一言

- ASSIGNボタンに割り当てるすることができます(60ページ)。

REMOTE CONTROL(リモコン)

▶ ON

付属のワイヤレスリモコン(9ページ)を使う。

OFF

他機のリモコンによる誤動作を防ぐため、リモコンを使わない。

MEDIA FORMAT(メディア初期化)

75ページをご覧ください。

REPAIR IMAGE DB FILE(修理ファイル修理)

76ページをご覧ください。

USB CONNECT(USB接続)

USBケーブルで他機と接続したときに、[USB CONNECT]画面が表示されない場合に使います。

OPERATION TIME(通電時間)

本機を操作した時間を累計して、10時間単位で表示します。

VERSION DISPLAY(バージョン表示)

お手持ちのカメラのバージョンを表示します。本機のファームアップデートがリリースされたときなどに確認します。

✿ご注意

- アップデートを行う場合は、ACアダプターを使用してください。

CALIBRATION(キャリブレーション)

118ページをご覧ください。

外付けメディアを使って保存する

外付けハードディスクなどのメディアに、メモリーカードに記録された画像を保存できます。また、保存した画像を本機などで再生して楽しめます。

ご注意

- お使いの外付けメディアの取扱説明書もあわせてご覧ください。

ちょっと一言

- 外付けメディアに保存した画像はソフトウェア「Content Browser」でパソコンに取り込むこともできます。

外付けメディアに保存後にできること

- 本機を経由した画像の再生(98ページ)
- パソコンへの取り込み

使用できない外付けメディアについて

次の機器は外付けメディアとして使えません。

- 一般的なDVDドライブやCDドライブなどのディスクドライブ
- ハブを経由してつないでいる外付けメディア
- 内部にハブを構成している外付けメディア
- カードリーダー

ご注意

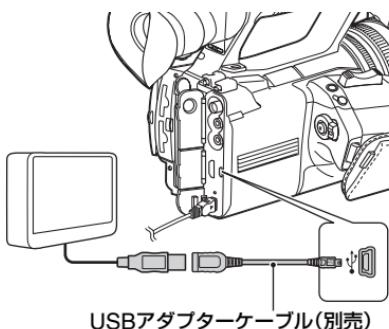
- 暗号機能のある外付けメディアは、使えない場合があります。
- ファイルシステムとしてFAT/NTFSを採用しています。他機で初期化された外付けメディアの場合は、パソコンなどで初期化してからお使いください。初期化画面は接続時に表示されます。接続する機器に大切なデータが残っていないことを確認したうえで初期化を行ってください。
- 動作条件に該当するすべての機器の動作を保証するものではありません。

- 1 本機をACアダプターAC-L100C(付属)を使ってコンセントにつなぐ(19ページ)。**

- 2 外付けメディアにAC電源がある場合は、コンセントにつなぐ。**

- 3 USBアダプターケーブル(別売)と外付けメディアをつなぐ。**

- 4 本機の電源を入れ、USBアダプターケーブル(別売)と本機の(USB)端子をつなぐ。**



- 5 本機の画面で、[Copy.]をタッチする。**

- 6 [MEMORY CARD A]か[MEMORY CARD B]を選ぶ。**

メモリーカードに記録された画像のうち、外付けメディアに保存されていない画像だけが保存されます。

- 新たに記録した画像がない場合、この画面は表示されません。

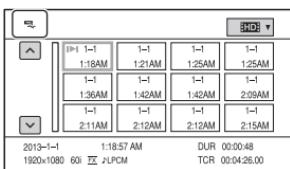
7 終了するには、本機の画面で`OK`をタッチする。

●ご注意

- 外付けメディアに保存可能なシーン数は次のとおりです。外付けメディアに空き容量があつても、これを超えて保存することはできません。撮影された画像によっては、保存可能なシーン数が減ることがあります。
 - ハイビジョン画質(HD)の動画:最大3,999個
 - 静止画:最大40,000枚

外付けメディアの画像を本機で見る

外付けメディアと接続中は、外付けメディアに保存した画像が、本機の液晶モニターに表示されます。VISUAL INDEX画面の記録メディアアイコンが図のようになります。



画像の削除など、外付けメディアに関する設定ができます。MENUボタンを押して、 (EDIT)メニューを選んでください。

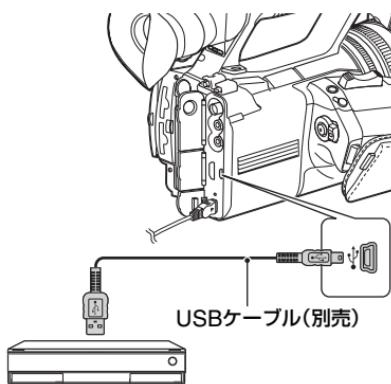
ソニー製ブルーレイディスクレコーダーを使って保存する

ソニー製ブルーレイディスクレコーダーを使って、ブルーレイディスクレコーダーのハードディスクにコピーできます。

お使いの機器によっては操作が異なる場合がありますので、レコーダーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

1 本機をACアダプターAC-L100C(付属)を使ってコンセントにつなぐ(19ページ)。

2 本機の電源を入れ、USBケーブル(別売)で本機の \downarrow (USB)端子とレコーダーなどをつなぐ。



[USB CONNECT]画面が表示されます。

- [USB CONNECT]画面が表示されないときは、MENUボタンを押して、 (OTHERS)メニュー→[USB CONNECT]を選んで表示させてください。

3 ブルーレイディスクレコーダーの「カメラ取り込み」ボタンあるいは「ワンタッチダビング」ボタンを押す。



カメラ取り込みがされていない画像が取り込まれます。

- ハイビジョン画質(HD)と標準画質(DV)両方の取り込まれていない動画がある場合は、ハイビジョン画質(HD)のみが取り込まれます。

4 終了するには、本機の画面で[X]→[YES]をタッチする。

●ご注意

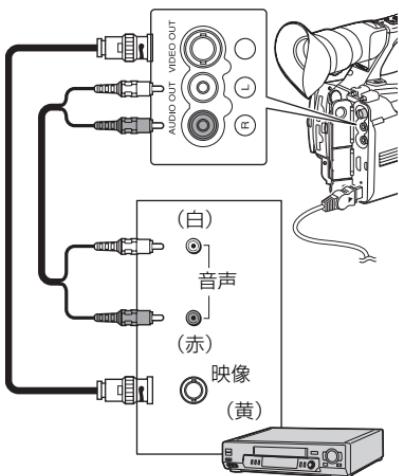
- ディスクに保存する方法については、ブルーレイディスクレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- ブルーレイディスクレコーダーによってボタンの有無、操作方法や使えるディスクが異なります。ブルーレイディスクレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- ブルーレイディスクレコーダーにUSB端子がないときは、A/V接続ケーブル(別売)で接続してください。
- [1080/60p PS]で撮影した動画を保存するには、AVCHD規格 Ver.2.0に対応した機器が必要です。また、作成したブルーレイディスクは、AVCHD規格 Ver.2.0に対応した機器でのみ再生できます。
- [1080/60p PS]で撮影した動画はブルーレイディスクレコーダーのハードディスクに保存してからディスクを作成してください。詳しくはブルーレイディスクレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

レコーダーなどで標準画質(DV)のディスクを作る

本機をディスクレコーダーにA/V接続ケーブル(別売)で接続すると、本機の画像をディスクやビデオカセットへコピーできます。接続先機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

●ご注意

- ハイビジョン画質(HD)で記録された画像は、標準画質(DV)でダビングされます。



1 本機をACアダプターAC-L100C(付属)を使ってコンセントにつなぐ(19ページ)。

2 録画側のディスクレコーダーなどに記録用ディスクなどをセットする。

入力切り換えスイッチがある場合は、「入力」にしてください。

3 本機と録画側のディスクレコーダーなどを、A/V接続ケーブル(別売)でつなぐ。

接続先機器の入力端子につないでください。

4 本機で再生を始め、接続先機器で録画を始める。

詳しくは、接続先機器の取扱説明書をご覧ください。

5 コピーが終わったら、接続先機器の録画を停止し、本機の再生を停止する。

●ご注意

- アナログデータを経由してコピーするため、画質が劣化する場合があります。
- HDMIケーブルを使ってコピーできません。
- 接続した機器の画面にカウンターなどを出さない場合は、MENUボタンを押して、**[] (DISPLAY SET)メニュー → [DISPLAY OUTPUT] → [LCD PANEL]**を選んでください。
- 日時やカメラデータをコピーしたいときは、DATA CODEボタンを押して、お好みの表示に設定してください。さらに、MENUボタンを押して、**[] (DISPLAY SET)メニュー → [DISPLAY OUTPUT] → [ALL OUTPUT]**を選んでください。
- テレビなどの表示機器の画面サイズに合わせて、**[DOWN CONVERT TYPE]**を設定してください(85ページ)。
- 他機がモノラル(ひとつの音声入力・出力)の場合は、A/V接続ケーブル(別売)の黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグ(左音声)または赤いプラグ(右音声)を音声入力へつなぎます。
- レコーダー側がPIN端子の場合は、BNCをPINに変換するプラグ(別売)が必要です。

困ったときは

故障かな？と思ったら

困ったときは、以下の流れに従ってください。

① 101～107ページの項目をチェックし、本機を点検する。



② 電源を取り外し、約1分後再び取り付け、本機の電源を入れる。



③ RESETボタン(8ページ)を先の細いもので押してから、電源を入れる。

この操作を行うと、日時やエリアなどの設定が解除されます。



④ ソニー業務用商品相談窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。

- 電源/画面/リモコンについて…101ページ
- メモリーカードについて…102ページ
- 撮影について…103ページ
- 再生について…105ページ
- テレビ接続について…106ページ
- コピー/編集/外部機器接続について…106ページ
- パソコン接続について…106ページ

電源/画面/リモコンについて

電源が入らない、途中で切れる。

- 充電されたバッテリーを取り付ける(17ページ)。
- ACアダプターをコンセントに差し込む(17ページ)。

電源が入っているのに操作できない。

- 電源(バッテリーまたはACアダプター)を取り外し、約1分後に電源を取り付け直す。
- RESET(リセット)ボタン(8ページ)を先の細いもので押す。

本体が温かくなる。

- 本機使用中に本体が温かくなることがあります、故障ではありません。

バッテリー残量が正しく表示されない。

- 周囲の温度が極端に高い/低い、または充電が不充分なためで、故障ではありません。
- 満充電し直す。それでも正しく表示されないときは、寿命です。新しいバッテリーに交換してください(17、116ページ)。
- 使用状況や環境によっては正しく表示されません。液晶モニターを開閉したときは正しい残量を表示するまで約1分かかります。

困ったときは

故障かな？と思ったら(つづき)

バッテリーの消耗が早い。

- 周囲の温度が極端に高い/低い、または充電が不充分なためで、故障ではありません。
- 満充電し直す。それでも消耗が早いときは、寿命です。新しいバッテリーに交換してください(17、116ページ)。

ファインダーの画像がはっきりしない。

- 視度調整つまみを画像がはっきり見えるように動かす(23ページ)。

付属のワイヤレスリモコンが操作できない。

- [REMOTE CONTROL]を[ON]にする(96ページ)。
- リモコンと本機リモコン受光部の間に障害物を取り除く。
- 本機のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たっていると、リモコン操作できないことがあります。
- 電池を交換する。電池の+極と-極を正しく入れる(9ページ)。

リモコン操作中にほかのビデオが誤動作する。

- ビデオのリモコンスイッチをDVD2以外のモードに切り換える。
- 黒い紙でビデオのリモコン受光部をふさぐ。

REMOTE端子に機器を接続したときに、正常に動作しない。

- リモコン側の機器からの操作に対して反応が遅くなる場合があります。
- 本体側のREMOTE端子を挿したままの状態で接続機器側の端子を抜いた場合は、本体の設定に戻らない場合があります。本体側のREMOTE端子を抜いてください。

メモリーカードについて

メモリーカードを入れても操作を受け付けない。

- パソコンでフォーマット(初期化)したメモリーカードを入れている場合は、本機で初期化する(75ページ)。

データファイル名が正しくない、または点滅している。

- ファイルが壊れている。
- 本機で対応しているファイル形式を使う(114ページ)。

メモリーカードのアイコンが点滅している。

- 記録中に異常が発生したメモリーカードがある。すべてのメモリーカードの記録を停止し、データ修復を行う。

メモリーカードの画像消去ができない。

- ・編集画面では、削除する画像を1度に100枚までしか選択できません。
- ・プロテクトが設定されている。プロテクトを解除する(71ページ)。

撮影について

録画ボタンを押しても、撮影が始まらない。

- ・再生画面になっている。再生を終了する(64ページ)。
- ・メモリーカードの空き容量がない。新しいメモリーカードに変えるか、初期化する(75ページ)。または不要な画像を削除する(72ページ)。
- ・動画のシーン数が本機で撮影できる上限を超えている(112ページ)。不要な画像を削除する(72ページ)。
- ・本機の温度が著しく高くなっている。電源を切り、涼しい場所でしばらく放置する。
- ・本機の温度が著しく低くなっている。電源を切り、暖かい場所に移動して、しばらくしたら電源を入れる。
- ・記録中に異常が発生したメモリーカードがある。すべてのメモリーカードの記録を停止し、データ修復を行う。

ハンドルズームが動かない。

- ・ハンドルズームスイッチを「FIX」または「VAR」にする(30ページ)。

撮影を止めてもアクセランプがついている。

- ・撮影した画像をメモリーカードに書き込んでいる。

画角が異なって見える。

- ・本機の状態によっては画角が異なって見える場合があります。故障ではありません。

実際の動画の録画可能時間が、目安とされている時間より短い。

- ・動きの速い映像を記録したときなど、撮影環境によっては、録画可能時間が短くなることがあります(111ページ)。

変更した設定が保持されない。

- ・メニューの設定は保持されないものがあります。
- ・拡大フォーカスの設定は保持されません。
- ・POWERスイッチが「ON」のまま電源を外した。バッテリーやACアダプターを取り外すときは、POWERスイッチを「OFF」にして、アクセランプが点灯していないことを確かめてから、外してください。

録画ボタンを押した時点と、記録された動画の開始/終了時点がずれる。

- ・本機では、録画ボタンを押してから実際に録画が開始/終了するまでに若干の時間差が生じることがあります。故障ではありません。

故障かな?と思ったら(つづき)

アスペクト比が切り換えられない。

- ハイビジョン画質(HD)のときは、動画の比率は切り換えられません。

オートフォーカスができない。

- FOCUSスイッチを「AUTO」にして自動調整にする(31ページ)。
- オートフォーカスが働きにくい状況のときは、手動でピントを合わせる(31ページ)。

メニュー項目が灰色で表示される、操作できない。

- 灰色で表示されるメニュー項目は、その撮影/再生条件では選択できません。
- 機能によっては、一緒に使えないものがあります。下表は、同時に設定できない機能やメニュー項目の例です。

使えない機能 (メニューがDisable)	以下のとき
[AE SHIFT]の[ON/OFF]	アイリス、ゲイン、シャッタースピードのすべてが手動設定のとき
[ZEBRA]、[PEAKING]	[COLOR BAR]が[ON]のとき
[MARKER]の[ON/OFF]	[FOCUS MAGNIFIER]が[ON]のとき
[TC PRESET]	[TC MAKE]が[REGENERATE]のとき
[COLOR BAR]	動画撮影中 [FOCUS MAGNIFIER]が[ON]のとき

アイリス、ゲイン、シャッタースピード、ホワイトバランスが手動調節できない。

- AUTO/MANUALスイッチを「MANUAL」にする。

画面に白や赤、青、緑の点が出ることがある。

- シャッタースピード(37ページ)が遅いときに出る現象で、故障ではありません。

画面をすばやく横切る被写体が曲がって見える。

- フォーカルフレーンと呼ばれる現象で、故障ではありません。撮像素子(CMOSセンサー)の画像信号を読み出す方法の性質により、撮影条件によっては、画面をすばやく横切る被写体が少しうがんで見えることがあります。

横帯が現れる。

- 蛍光灯・ナトリウム灯・水銀灯など放電管による照明下ではこのような症状が現れることがありますが、故障ではありません。シャッタースピードを調節すると改善されることがあります(37ページ)。

テレビやパソコンの画面を撮影すると黒い帯が出る。

- シャッタースピードを調節する(37ページ)。

細かい模様がちらつく、斜めの線がギザギザになる。

- [DETAIL] を「-」側に調節する(56ページ)。

タイムコードがつながらない。

- [REC FORMAT] の設定を切り換えると、タイムコードは不連続となることがあります。

再生について

「メモリーカードについて」(102ページ)もご覧ください。

再生したい画像が見つからない。

画像を再生できない。

- VISUAL INDEX画面上で再生したい画像が記録されているメモリーカードと画質を選択する(62ページ)。
- パソコンでフォルダやファイル名を変更、または画像を加工すると、再生できない場合があります(静止画再生時はファイル名が点滅)。故障ではありません。
- 他機で撮影した画像は、再生できなかったり、正しいサイズで表示されないことがあります。故障ではありません。
- VISUAL INDEX画面を表示して、再生したいサムネイルを2度タッチするか、**◀/▶/◀/▶ボタン**で再生したいサムネイルを選択して、EXECボタンを押す(63ページ)。

データファイル名が正しくない、または点滅している。

- ファイルが壊れている。
- 本機で対応しているファイル形式を使う(114ページ)。
- フォルダ構造が規格に準拠しないと、ファイル名のみ表示されることがあります。

音声が小さい。または聞こえない。

- 音量を大きくする(64ページ)。

[- - -]が表示される。

- [COLOR BAR] を[ON]にして撮影した動画では、カメラデータがバー表示になります。
- [PHOTO CAPTURE] で作成した静止画では、露出補正値とフラッシュ情報がバー表示になります。

画面上に Multi ch が表示される。

- Multi ch は5.1ch記録された動画再生時などに表示されます。本機では2chにダウンミックスして再生します。

テレビ接続について

HDMIケーブルでテレビにつないで再生するとき、画像や音声が出ない。

- 著作権保護のための信号が記録されている映像を、HDMI出力端子から出力することはできません。
- USB接続中は、HDMI出力端子から出力できません。

HDMIケーブルでテレビやプロジェクター、AVアンプにつないで再生するとき、映像や音声が出ない。

- HDMIケーブルを使用して、本機とテレビやプロジェクター、AVアンプを接続しても画像や音声が再生されない場合は、HDMIケーブルを抜き差しするか本機の電源を入れ直してください。

4:3テレビにつないで再生したら、画像がつぶれて見える。

- ワイド(16:9)で撮影した動画を4:3テレビで見るときに起こる現象です。→ (REC/OUT SET)メニュー → [VIDEO OUT] → [DOWN CONVERT TYPE]で映像信号出力形式を選択してください(85ページ)。

4:3テレビにつないで再生したら上下に黒い帯が入る。

- ワイド(16:9)で撮影した動画を4:3テレビで見るときに起こる現象です。故障ではありません。

コピー/編集/外部機器接続について

つないだ機器の画面にタイムコードなどが表示される。

- A/V接続ケーブル(別売)を使って接続するときは、[DISPLAY OUTPUT]を[LCD PANEL]にする(92ページ)。

A/V接続ケーブル(別売)を使ってコピーができない。

- A/V接続ケーブル(別売)が正しくつながっていない。A/V接続ケーブル(別売)が他機の入力端子へつながれているか確認する。

追加録音(アフレコ)できない。

- 本機ではアフレコすることはできません。

HDMIケーブルを使ってコピーができない。

- HDMIケーブルを使ってのコピーはできません。

パソコン接続について

本機がパソコンに認識されない。

- パソコンからケーブルを抜き、もう一度しっかりと差し込む。

- パソコンと本機からケーブルを抜き、パソコンを再起動してから正しい手順でもう一度パソコンと本機をつなぐ。

動画がパソコンで見られない、取り込めない。

- ケーブルを抜き、本機の電源を入れてから、もう一度つなぐ。
- 動画をパソコンに取り込むにはソフトウェア「Content Browser」のインストールが必要です。

警告表示とお知らせメッセージ

自己診断表示/警告表示

液晶モニターまたはファインダーに、次のように表示されます。

お客様自身で対応できる場合でも、2、3回繰り返しても正常に戻らないときは、ソニー業務用商品相談窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。

C:04:□□

- “インフォリチウム”以外のバッテリーが使われている。必ず“インフォリチウム”バッテリーを使う(116ページ)。

C:06:□□

- バッテリーが高温になっている。バッテリーを交換するか、バッテリーを涼しいところに置く。

C:13:□□

- メモリーカードを一度取り外し、取り付け直してからもう一度操作する。

C:32:□□

- 電源をいったん取り外し、取り付け直してからもう一度操作する。

E:□□:□□

- 101ページの②～④の手順をお試しください。

△(バッテリー残量に関する警告)

- バッテリー残量が少ない。
- 使用状況や環境、バッテリーパックによっては、バッテリー残量表示が10%程度あっても警告表示が点滅することがある。

▲△(バッテリーの温度に関する警告)

- バッテリーが高温になっている。バッテリーを交換するか、バッテリーを涼しいところに置く。

△△△△B (メモリーカード関連の警告)

遅い点滅

- 撮影に必要な空き容量が少なくなっている。本機で使えるメモリーカードについては、24ページをご覧ください。
- メモリーカードが入っていない(24ページ)。

速い点滅

- 撮影に必要な空き容量がない。不要な画像を削除するか(72ページ)、画像を保存(バックアップ)してから(97ページ)、メモリーカードを初期化する(75ページ)。
- 管理ファイルが壊れている(76ページ)。

△△△△B (メモリーカード初期化関連の警告)*

- メモリーカードが壊れている。
- メモリーカードが正しく初期化されていない(75ページ)。

△△△△B (非対応メモリーカード関連の警告)*

- 本機で使えないメモリーカードが入っている(24ページ)。

△△△△B △△△△B (メモリーカード誤消去防止に関する警告)*

- メモリーカードの誤消去防止スイッチがロック位置にある。
- 他機でアクセスコントロールをかけたメモリーカードを使っている。

△△ (外付けメディア関連の警告)

- 管理ファイルが壊れている(76ページ)。
- 外付けメディアが壊れている。

外付けメディアのフォーマット関連の警告)

- 外付けメディアが壊れている。
- 外付けメディアを一度切断し、パソコンなどでフォーマットする。フォーマットすると、外付けメディアに記録されているすべてのデータが消去されますので、ご注意ください。
- フォーマットしても同様の警告が表示される場合は、本機で対応していない外付けメディアか、もしくは外付けメディアが壊れている可能性があるので交換する。

* [BEEP]が[ON]に設定されていると、警告表示が出るときに、操作音が鳴ります(96ページ)。

お知らせメッセージの例

お知らせメッセージが表示されたときは、その指示に従ってください。

メモリーカード

Inconsistencies found in image database file. Do you want to repair the image database file?

Inconsistencies found in image database file. Cannot record or play HD movies. Do you want to repair the image database file?

- 管理ファイルが破損しているので、動画撮影ができません。[OK]をタッチして修復する。

Inconsistencies found in the image database file. Back up and recover. Recover, then import using the included PC software.

- ハイビジョン画質(HD)の動画の管理情報が破損し、管理ファイルとの間に不整合が発生しています。[OK]をタッチするとハイビジョン画質(HD)の動画をバックアップして管理ファイルを修復します。バックアップされた動画は本機では認識できません。
- 修復したあと本機をソフトウェア「Content Browser」をインストールしたパソコンとつなぐと、バックアップされたハイビジョン画質(HD)の動画をパソコンに取り込むことができます。ただし、すべての動画の取り込みを保証するものではありません。

Buffer overflow. Writing to the media was not completed in time.

- 記録と削除を繰り返したり、他機でフォーマットしたメモリーカードが使われている。データをパソコンなどのハードディスクにバックアップした後、本機でフォーマットし直す(75ページ)。
- お使いのメモリーカードの書き込み性能が、動画の記録時間に充分ではありません。本機での使用をおすすめしているメモリーカードをお使いください(24ページ)。

Recovering data.

- 本機のメディアに正常な記録がされなかった場合、自動的にデータの修復を試みます。

Cannot recover data.

- データ書き込みに失敗したため修復を試みたが、データが復活しなかった。本機のメディアへの書き込みや編集ができなくなる場合があります。

警告表示とお知らせメッセージ(つづき)

④A ④B Reinsert the memory card.

- メモリーカードを2,3回入れ直す。それでも表示されるときはメモリーカードが壊れている可能性があるので交換してください。

④A ④B Cannot recognize this memory card. Format and use again.

- メモリーカードを本機でフォーマットする(75ページ)。フォーマットすると、メモリーカードに記録されているすべてのデータが消去されますので、ご注意ください。

④A ④B Still picture folder is full. Cannot record still pictures.

- 作成できるフォルダは、999MSDCFまでです。本機でフォルダの作成、消去はできません。
- フォーマットするか(75ページ)、パソコンで不要なフォルダを消去する。

This memory card may not be able to record or play movies.

- 本機での使用をおすすめしているメモリーカードをお使いください(24ページ)。

This memory card may not be able to record or play images correctly.

- 本機での使用をおすすめしているメモリーカードをお使いください(24ページ)。
- ソニー業務用商品相談窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。

Do not eject the memory card during writing. Data may be damaged.

- メモリーカードをもう一度入れて、画面の指示に従う。

External media cannot execute functions.

- MENUボタンを押して、 (OTHERS)メニュー → [REPAIR IMAGE DB FILE] → メモリーカードを選んで、管理ファイルの状態をチェックする。
- それでも表示される場合は、外付けメディアを一度切断し、パソコンなどでフォーマットしてください。フォーマットすると、外付けメディアに記録されているすべてのデータが消去されますので、ご注意ください。
- フォーマットしても同様のメッセージが表示される場合は、本機で対応していない外付けメディアか、もしくは外付けメディアが壊れている可能性があるので交換してください。

Unable to access external media.

- 安定した状態(振動もなく、外付けメディアが室温となる環境など)にしてご使用ください。
- 外付けメディアの電源が抜けていないか確認してください。

その他

Maximum number of images already selected.

- 次のときは、1度に100個までしか画像を選択できません。
 - 画像の削除
 - 画像のプロテクト、解除
 - 画像のコピー

Protected file. Cannot delete.

- プロテクトされた動画・静止画を削除しようとした。プロテクトを解除する。

記録時間と撮影枚数について

バッテリーごとの撮影・再生可能時間の目安

満充電からのおよその時間です。

撮影可能時間

(単位:分)

バッテリー型名	連続撮影時	実撮影時
NP-F770	275	160
	175	100
NP-F970	410	230
	265	150

ご注意

- ・録画フォーマット
1080/60i FX
- ・ECM-XM1マイクをINPUT1端子に接続して使用したとき
- ・XLRマイクを使用し、[LCD BRIGHT]が[NORMAL]のとき
- ・メモリーカード使用時
- ・上部:ビデオライト消灯時
下部:ビデオライト点灯時
- ・実撮影時とは、撮影スタート/ストップ、電源ON/OFFなどを繰り返したときの撮影時間です。
- ・25°Cで使用したときの時間です。
- ・低温の場所で使うと、撮影・再生可能時間はそれぞれ短くなります。10°C~30°Cの環境で使用することをおすすめします。
- ・使用状態によって、撮影・再生可能時間はそれぞれ短くなります。
- ・MP4動画の同時記録を行ったあと[MEDIA FORMAT]によるMP4動画の削除を行っていないメモリーカードを使用する場合は、撮影可能時間が短くなります。

再生可能時間

(単位:分)

バッテリー型名

NP-F770	510
NP-F970	760

動画の撮影可能時間の目安

ハイビジョン画質(HD)

[SIMUL/RELAY REC]の設定が[MP4 SIMUL REC]のとき

■ [HD: AUDIO FORMAT]の設定が[LINEAR PCM]のとき

(単位:分)

	FX	FH	HQ	LP
16GB	70 (70)	95 (95)	140 (115)	200 (180)
32GB	150 (150)	190 (190)	290 (235)	405 (365)
64GB	300 (300)	385 (385)	580 (480)	810 (730)

■ [HD: AUDIO FORMAT]の設定が[DOLBY DIGITAL]のとき

(単位:分)

	FX	FH	HQ	LP
16GB	75 (75)	100 (100)	160 (130)	380 (205)
32GB	155 (155)	205 (205)	325 (260)	770 (420)
64GB	315 (315)	415 (415)	655 (530)	1545 (845)

記録時間と撮影枚数について(つづき)

[SIMUL/RELAY REC]の設定が[MP4 SIMUL REC]以外のとき

■ [AUDIO FORMAT]の設定が [LINEAR PCM]のとき

(単位:分)

	PS	FX	FH	HQ	LP
16GB	70 (70)	80 (80)	110 (110)	185 (145)	295 (250)
32GB	145 (145)	170 (170)	225 (225)	375 (290)	590 (510)
64GB	290 (290)	340 (340)	450 (450)	750 (590)	1190 (1025)

■ [AUDIO FORMAT]の設定が [DOLBY DIGITAL]のとき

(単位:分)

	PS	FX	FH	HQ	LP
16GB	75 (75)	90 (90)	120 (120)	215 (165)	380 (310)
32GB	150 (150)	180 (180)	245 (245)	440 (330)	770 (630)
64GB	305 (305)	360 (360)	495 (495)	880 (665)	1545 (1260)

標準画質(DV)

(単位:分)

	HQ
16GB	70 (70)
32GB	140 (140)
64GB	280 (280)

- ソニー製メモリーカード使用時

ご注意

- 撮影可能時間は、撮影環境や、被写体の状態、[REC SET] (85ページ)によっても変わります。
- ()内は最低録画時間です。

ちょっと一言

- 動画の撮影可能シーン数は、ハイビジョン画質(HD)で最大3,999個、標準画質(DV)で9,999個です。
- 動画の連続撮影時間は、約13時間です。
- 撮影シーンに合わせてビットレート(一定時間あたりの記録データ量)を自動調節するVBR(Variable Bit Rate)方式を採用しています。そのため、メモリーカードへの録画時間は変動します。例えば、動きの速い映像はメモリーカードの容量を多く使って鮮明な画像を記録するので、メモリーカードの録画時間は短くなります。
- 各録画モードのビットレート(動画+音声など)、画素数およびアスペクト比は以下のとおりです。

- HD画質

PS: 最大28Mbps 1,920×1,080画素/16:9
FX: 最大24Mbps 1,920×1,080画素/
16:9, 1,280×720画素/16:9
FH: 約17Mbps(平均) 1,920×1,080画素/
16:9, 1,280×720画素/16:9
HQ: 約9Mbps(平均) 1,440×1,080画素/
16:9, 1,280×720画素/16:9
LP: 約5Mbps(平均) 1,440×1,080画素/
16:9

- DV画質

約29Mbps(平均) 720×480画素/16:9,
4:3

- 静止画記録画素数およびアスペクト比

- 動画から静止画作成
1,920×1,080ドット/16:9

海外で使う

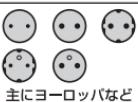
電源について

本機は、海外でも使えます。

ACアダプターは、全世界の電源(AC100V~240V, 50Hz/60Hz)で使えます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国や地域では、電源コンセントにあつた変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねの上、ご用意ください。

電子式変圧器(トラベルコンバーター)は使わないでください。故障の原因になることがあります。

海外のコンセントの種類

壁のコンセントの形状例	 主に北米	 主にヨーロッパなど
使用する変換プラグアダプター	不要	

テレビ方式がNTSCの国、地域

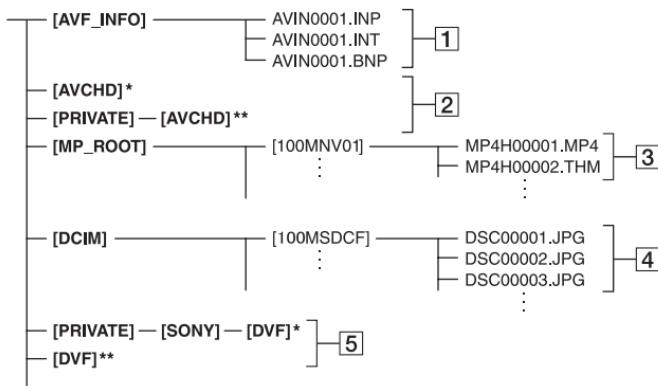
アメリカ合衆国、エクアドル、エルサルバドル、ガイアナ、カナダ、キューバ、グアテマラ、グアム、コスタリカ、コロンビア、サモア、スリナム、セントルシア、大韓民国、台湾、チリ、ドミニカ、トリニダード・トバゴ、ニカラグア、日本、ハイチ、パナマ、パミーダ、パリバドス、フィリピン、ブルトリコ、ベネズエラ、ペルー、ボリビア、ホンジュラス、ミクロネシア、ミャンマー、メキシコなど

時差補正機能について

海外で使うとき、[AREA SET]で、時差を設定するだけで時刻を現地時間に合わせられます(95ページ)。

メモリーカードのファイル/フォルダ構成

本機のメモリーカード上のファイル/フォルダ構成は以下のとおりです。本機を使って撮影/再生する際は、通常、意識する必要はありません。



* “メモリースティック PRO デュオ”

** SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカード

① 画像管理用ファイル

削除すると、画像を正常に撮影/再生できなくなることがあります。

隠しファイルに設定されており、通常は表示されません。

② HD 動画管理情報フォルダ

本フォルダ以下にハイビジョン画質(HD)の動画用の記録データが保存されます。パソコンから本フォルダや、本フォルダ内のファイルやフォルダを操作しないでください。画像ファイルが壊れたり、再生できなくなることがあります。

③ MP4 動画ファイル

MP4の動画用記録データが保存されます。ファイル名末尾の番号は自動で繰り上がります。

④ 静止画ファイル(JPEG ファイル)

拡張子は「.JPG」で、ファイル名末尾の番号は自動で繰り上がります。ファイル名末尾の番号が9999を超える場合は、自動で新しいフォルダが作成されて、新しい静止画ファイルはそちらに保存されます。フォルダ名は、「100MSDCF」→「101MSDCF」のように繰り上がります。

⑤ DV 動画管理情報フォルダ

本フォルダ以下に標準画質(DV)の動画用の記録データが保存されます。パソコンからファイルを操作しないでください。画像ファイルが壊れたり、再生できなくなることがあります。

- パソコンから本機のファイルやフォルダを操作しないでください。画像ファイルが壊れたり、再生できなくなることがあります。
- パソコンから本機のメモリーカード上のデータを操作した結果に対して、当社は責任を負いかねます。
- 画像ファイルを削除するときは、72ページの手順で行ってください。パソコンから本機のメモリーカード内の画像ファイルを削除しないでください。
- パソコンから本機のメモリーカードをフォーマット(初期化)しないでください。正常に動作しなくなります。
- パソコンから本機のメモリーカードにファイルをコピーしないでください。このような操作による結果に対して、当社は責任を負いかねます。
- メモリーカードのデータをパソコンに取り込むには、ソフトウェア「Content Browser」をご使用ください。

使用上のご注意とお手入れ

AVCHD規格について

AVCHD規格とは

「AVCHD」規格は、高効率の圧縮符号化技術を用いて、HD(ハイビジョン)信号を記録するハイビジョンデジタルビデオカメラの規格です。映像圧縮にはMPEG-4

AVC/H.264方式を、音声にはドルビーデジタル方式、またはリニアPCM方式を採用しています。

MPEG-4 AVC/H.264方式は、従来の画像圧縮方式に比べ、さらに高い圧縮効率を持った優れた方式です。

- AVCHDは圧縮方式を使用しているため、画面、画角、輝度などが大きく変化する場面では画像が乱れることがありますが故障ではありません。

本機での記録・再生について

本機ではAVCHD規格に基づき、HD(ハイビジョン)記録ができます。

映像*: MPEG-4 AVC/H.264

1920×1080/60p, 1920×1080/60i,

1920×1080/24p, 1280×720/60p,

1440×1080/60i

音声: ドルビーデジタル 2ch、リニアPCM 2ch

記録メディア: メモリーカード

- 本機は、上記以外のAVCHD規格で記録されたデータの再生には対応していません。

メモリーカードについて

- パソコン(Windows OS/Mac OS)でフォーマット(初期化)したメモリーカードは、本機での動作を保証いたしません。
- お使いのメモリーカードと機器の組み合わせによっては、データの読み込み/書き込み速度が異なります。

• 次の場合、画像ファイルが破壊されることがあります。破壊された場合、内容の補償については、ご容赦ください。

- 画像ファイルを読み込み中や、メモリーカードにデータを書き込み中(アクセスランプが点灯中および点滅中)に、メモリーカードを取り出したり、本機の電源を切ったりした場合
- 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使った場合

•大切なデータは、パソコンのハードディスクなどへバックアップを取っておくことをおすすめします。

- メモリーカード本体およびメモリーカードアダプターにラベルなどは貼らないでください。
- 端子部に触れたり、金属を接触させたりしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 小さいお子さまの手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲みこむおそれがあります。

- メモリーカードスロットには、対応するサイズのメモリーカード以外は入れないでください。故障の原因になります。
- 次の場所での使用や保管は避けてください。
 - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
 - 直射日光のある場所
 - 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

■ メモリーカードアダプターの使用について

メモリーカードをメモリーカードアダプターに入れるときは、正しい挿入方向をご確認のうえ、奥まで差し込んでください。差し込みかたが不充分だと正常に動作しない場合があります。

画像の互換性について

- 本機は(社)電子情報技術産業協会にて制定された統一規格“Design rule for Camera File system”に対応しています。

使用上のご注意とお手入れ(つづき)

- ・他機で使用したメモリーカードが本機で使えないときは、75ページの手順に従い、本機でフォーマット(初期化)をしてください。フォーマットするとメモリーカードに記録してあるデータはすべて消去されますので、ご注意ください。
- ・次の場合、正しく画像を再生できないことがあります。
 - パソコンで加工した画像データ
 - 他機で撮影した画像データ

“メモリースティック”について

“メモリースティック”の種類	記録/再生
“メモリースティック デュオ” (マジックゲート対応)	—
“メモリースティック XC-HG デュオ”	○
“メモリースティック PRO デュオ”(Mark2)	○
“メモリースティック PRO- HG デュオ”	○

- ・本機はパラレルデータ転送に対応しております。ただし、お使いのメディアによって転送速度は異なります。
- ・本機はマジックゲート機能を使ったデータの記録・再生に対応していません。“マジックゲート”とは暗号化技術を使って著作権を保護する技術です。

InfoLITHIUM(インフォリチウム)バッテリーについて

本機は“インフォリチウム”バッテリー(Lシリーズ)の高容量バッテリーNP-F770/F970(別売)がお使いいただけます。NP-F570はお使いいただけません。“インフォリチウム”バッテリーLシリーズには

① InfoLITHIUM L マークがついています。

InfoLITHIUM(インフォリチウム)バッテリーとは?

“インフォリチウム”バッテリーは、本機やACアダプターとの間で、使用状況に関するデータを通信する機能を持っているリチウムイオンバッテリーです。

“インフォリチウム”バッテリーが、本機の使用状況に応じたバッテリー残量を単位で表示します。

充電について

- ・本機を使う前には、必ずバッテリーを充電してください。
- ・周囲の温度が10°C~30°Cの範囲で、本機のCHGランプが消えるまで充電することをおすすめします。これ以外では効率の良い充電ができないことがあります。

バッテリーの上手な使いかた

- ・周囲の温度が10°C未満になるとバッテリーの性能が低下するため、使える時間が短くなります。安心してより長い時間使うために、次のことをおすすめします。
 - バッテリーをポケットなどに入れてあたたかくしておき、撮影の直前、本機に取り付ける。
 - 高容量バッテリー(NP-F770/F970(別売))を使う。
- ・本機で撮影や再生をしないときは、こまめにPOWERスイッチを切るようにしましょう。撮影スタンバイ状態や再生一時停止中でもバッテリーは消耗しています。
- ・撮影には予定撮影時間の2~3倍の予備バッテリーを準備して、事前にためし撮りをしましょう。
- ・バッテリーは防水構造ではありません。ぬらさないようにご注意ください。

バッテリーの残量表示について

- 液晶モニターの残量表示マークと%表示で確認してください。

残量表示マーク	%表示
	81%～100%
	51%～80%
	21%～50%
	1%～20%
	—

- 使用状況や環境によっては、正しく表示されません。
- バッテリーの残量表示が充分なのに電源がすぐ切れる場合は、再び満充電してください。残量が正しく表示されます。ただし、長時間高温で使ったり、満充電で放置した場合や、使用回数が多いバッテリーは正しい表示に戻らない場合があります。撮影時間の目安として使ってください。

バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長期間使用しない場合でも、機能を維持するために1年に1回程度満充電して本機で使い切ってください。本機からバッテリーを取り外して、湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- 本機でバッテリーを使い切るには、電源が切れるまで撮影スタンバイにしてください。

バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しづつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますので新しいものをご購入ください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境、バッテリーパックごとに異なります。

本機の取り扱いについて

使用や保管場所について

使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。

• 異常に高温、低温または多湿になる場所
炎天下や熱器具の近く、夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。

- 激しい振動や強力な磁気のある場所
故障の原因になります。
- 強力な電波を出す場所や放射線のある場所
正しく撮影できないことがあります。
- TV、ラジオやチューナーの近く
雑音が入ることがあります。
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
砂がかかると故障の原因になるほか、修理できなくなることもあります。
- 液晶モニターやファインダー、レンズが太陽に向いたままとなる場所(窓際や室外など)
液晶モニターやファインダー内部を傷めます。

■ 長期間使用しないときは

- 本機を良好な状態で長期にわたってお使いいただきのために、月に1回程度、本機の電源を入れて撮影および再生を行ってください。
- バッテリーは使い切ってから、保管してください。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本体内に水滴が付くことで、故障の原因になります。

■ 結露が起きたときは

電源を入れずに、結露がなくなるまで(約1時間)放置してください。

■ 結露が起こりやすいのは

次のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で使ったりするときです。

- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
- スコールや夏の夕立のあと
- 温泉など高温多湿の場所

使用上のご注意とお手入れ(つづき)

■ 結露を起りにくくするために

本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

液晶モニターについて

- 液晶モニターを強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶モニターの故障の原因になります。
- 寒い場所でご使用になると、画像が尾を引いて見えることがあります。故障ではありません。
- 使用中に液晶モニターのまわりが熱くなりますが、故障ではありません。

■ お手入れ

液晶表面にはコーティング処理がされており、傷をつけるとコーティングが剥がれることがあります。お取り扱い、お手入れの際は下記の点にご注意ください。

- 手の脂、ハンドクリーム等が付いたままにするとコーティングが剥がれやすくなりますので、早めに拭き取ってください。
- ティッシュペーパーなどで強く拭くとコーティングに傷がつくことがあります。
- 汚れを拭き取る前に埃や砂などはプロワーなどであらかじめ払い落してください。
- 汚れを拭き取るときは清潔な眼鏡拭き等、柔らかい生地の布でやさしく拭き取ってください。

■ タッチパネルの調節(キャリブレーション)について

タッチパネルのボタンを押したとき、反応するボタンの位置にすれが生じことがあります。このような症状になったときは、次の操作を行ってください。電源はACアダプターを使ってコンセントから取ることをおすすめします。

- ① MENU ボタンを押す → SEL/PUSH EXEC ダイヤルで、 (OTHERS) メニュー → [CALIBRATION] を選択する。

- ② メモリーカードの角のような先の細いものを使って画面に表示される×マークを3回タッチする。



●ご注意

- 正しい位置を押さなかった場合、やり直しになります。
- キャリブレーションするときは、先のとがったものを使わないでください。液晶モニターを傷つける場合があります。
- 液晶モニターを反転させているときや、反転したまま本体に閉じたときは、キャリブレーションできません。

本機表面のお手入れについて

- 汚れのひどいときは、水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いたあと、からぶきします。
- 本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、次のことは避けてください。
 - シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、殺虫剤、日焼け止めのような化学薬品類の使用。
 - 上記が手に付いたまま本機を扱う。
 - ゴムやビニール製品との長時間接触。

レンズのお手入れと保管について

- レンズ面に指紋などが付いたときは、高温多湿の場所や海岸など塩の影響を受ける環境で使ったときは、必ず柔らかい布などでレンズの表面をきれいに拭いてください。
- 風通しの良い、ゴミやほこりの少ない場所に保管してください。
- カビの発生を防ぐために、上記のお手入れは定期的に行ってください。

内蔵の充電式電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切と関係なく保持するために、充電式電池を内蔵しています。充電式電池は本機がACアダプターでコンセントにつながっているか、バッテリーが入っている限り常に充電されています。ACアダプターで電源につながない、またはバッテリーを入れない今まで**3か月**近くまったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使ってください。

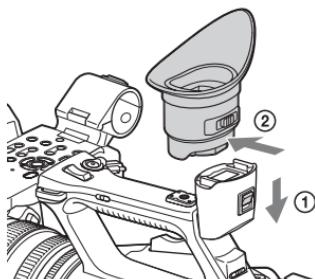
ただし、充電式電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使えます。

■ 充電方法

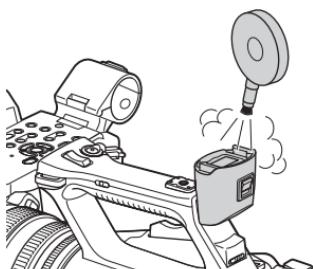
本機をACアダプターを使ってコンセントにつなぐか、充電されたバッテリーを取り付け、POWERスイッチを「OFF」にして24時間以上放置する。

ファインダーのお手入れについて

① ビューファインダー取りはずしつまみを下にすらしたまま、矢印の方向に接眼部をすらして外す。



② 接眼部の内側、ファインダー内部のゴミを、カメラ用のプロワーブラシなどで取り除く。



メモリーカードを廃棄・譲渡するときのご注意

本機やパソコンの機能による[MEDIA FORMAT]や[DELETE]では、メモリーカード内のデータは完全に消去されないことがあります。メモリーカードを譲渡するときは、パソコンのデータ消去用ソフトなどを使ってデータを完全に消去することをおすすめします。また、メモリーカードを廃棄するときは、メモリーカード本体を物理的に破壊することをおすすめします。

主な仕様

システム

信号方式	NTSCカラー、EIA標準方式 HDTV 1080/60i, 1080/60p、 720/60p方式
ビデオ記録方式	HD画質: MPEG-4 AVC/H.264 AVCHD規格Ver.2.0準拠 SD画質: DV規格準拠
音声記録方式*	リニアPCM 2ch(48kHz 16bit) Dolby Digital 2ch(48kHz 16bit) ドルビーデジタルステレオクリ エーター搭載
* DV モード時はリニア PCM 2ch(48kHz 16bit)のみ	
静止画ファイ ルフォーマッ ト	DCF Ver.2.0準拠 Exif Ver.2.3準拠 MPF Baseline準拠
記録メディア (動画・静止 画)	“メモリースティック PRO デュ オ”(標準画質(DV)およびスロー &ケイックモーション撮影時は 非推奨) SDカード(AVCHD記録時: Class 4以上推奨/DVモード記録 時: Class 6以上推奨/スロー&ク イックモーション記録時: Class 10以上推奨)
撮像素子	6.4mm(1/2.8型)Exmor 3CMOSセンサー 総画素数:約241万画素 動画時有効画素数(16:9モード): 約207万画素 動画時有効画素数(4:3モード): 約156万画素
ズームレンズ	Gレンズ 20倍(光学) 約40倍(全画素超解像ズーム [ON]時) 約320倍(デジタルズーム[ON] 時) f=4.1mm~82.0mm 35mmカメラ換算* 28.8mm~576mm(16:9モー ド) (4:3モードでは、35.2mm~ 705mm) F1.6~F3.4 フィルター径72mm

* [STEADYSHOT]が[STANDARD]、または
[OFF]のとき

色温度切り換 え	オート ワンプッシュ(A, B) 屋内(3 200K) 屋外(5 600K)
最低被写体照 度	1.2lx(ルクス) シャッタースピード固定(1/30)、 オートゲインコントロール、アイ リスオート(F1.6)
ビデオライト	最大照度: 約800lx(ルクス)(0.5m) 約200 lx(ルクス)(1.0m) 照射角度(配広角):約30° 色温度:約5 500K

入/出力端子

VIDEO OUT 端子	BNCジャック 1Vp-p, 75Ω不平衡、同期負
AUDIO OUT端子	ピンジャック -10dBu(47kΩ負荷時)、 出力インピーダンス2.2kΩ以下 (0dBu=0.775Vrms)
REMOTE端 子	ステレオミニミニジャック (φ2.5mm)
HDMI OUT 端子	HDMIコネクター(タイプA)
USB端子	mini-AB
□(ヘッドホ ン)端子	ステレオミニジャック (φ3.5mm)
INPUT1/ INPUT2端子	XLR型3ピン×2、凹 MIC:-48dBu/3kΩ LINE:+4dBu/10kΩ (0dBu=0.775Vrms)

画面

液晶モニター	画面サイズ:8.8cm(3.5型、ア スペクト比16:9) 総ドット数:921 600ドット 横1920×縦480
ファインダー	画面サイズ:1.1cm(0.45型、ア スペクト比16:9) 総ドット数:1 226 880ドット 852×3[RGB]×480相当

電源部、その他

電源電圧	DC7.2V(バッテリーパック使用時) DC8.4V(ACアダプター使用時)
消費電力*	ファインダー使用時、明るさ標準で録画中: 約6.4W (マイク(ECM-XM1)装着) 液晶モニター使用時、明るさ標準で録画中: 約6.9W (マイク(ECM-XM1)装着)
動作温度	0°C~40°C
保存温度	-20°C~+60°C
本体外形寸法 (突起部含む)	約174.5mm×187.5mm× 342mm(幅×高さ×奥行き) (レンズカバー付きフード含む)
撮影時外形寸法 (突起部含む)	約174.5mm×193mm× 449mm(幅×高さ×奥行き)(レンズカバー付きフード、大型アイカッピング、マイク(ECM-XM1)、グリップベルト(ベルトなし)含む)
本体質量	約2 210g (レンズカバー付きフード含む)
撮影時総質量	約2 560g (バッテリーパック(NP-F770)、レンズカバー付きフード、大型アイカッピング、マイク(ECM-XM1)含む)

* ビデオライト点灯時は、消費電力が約3.4W増えます。

ACアダプターAC-L100C*1

電源	AC 100 V - 240 V、50 Hz/60 Hz
消費電力	18W
定格出力	DC 8.4 V*2
動作温度	0°C~40°C
保存温度	-20°C~+60°C
外形寸法	約48mm×29mm×81mm(最大突起部をのぞく)幅×高さ×奥行き
質量(本体のみ)	約170 g

*1 ACアダプターAC-L100Cを使用しているときは、ビデオライトは点灯しません。

*2 その他の仕様は、ACアダプター/チャージャーのラベルをご覧ください。

ワイヤレスLAN

対応規格	IEEE 802.11b/g/n
使用周波数帯	2.4GHz帯
セキュリティ	WEP/WPA-PSK/WPA2-PSK
NFC	NFCフォーラムType 3 Tag準拠

本機や同梱品の仕様、および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。

保証書とアフターサービス

必ずお読みください

記録内容の補償はできません

万一、デジタルHDビデオカメラレコーダーやメモリーカードなどの不具合などにより記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

保証書は国内に限られています

このデジタルHDビデオカメラレコーダーは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。

アフターサービス

■ 調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな？と思ったら」の項を参考にして故障かどうかお調べください。

■ それでも具合の悪いときは

お買い上げ店または付属の“ソニー業務用商品相談窓口のご案内”にあるお近くのソニー業務用商品相談窓口にご相談ください。

■ 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

■ 部品の保有期間について

当社はデジタルHDビデオカメラレコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後、8年間保有しています。

この部品保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能な場合もありますので、ソニー業務用商品相談窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。

■ 部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

索引

ア行

アイリス	36
アクセサリーシュート	21
アフターサービス	122
インフォリチウムバッテリー	116
大型アイカップ	23
屋外	39
屋内	39
主な仕様	120
音量	43, 64

カ行

海外で使う	113
顔認識	32
拡大フォーカス	32
画面表示	10, 67
画面表示出力	92
管理ファイル	76
記録時間	111
警告表示	108
ゲイン	37
結露	117
広角	30
故障かな?と思ったら	101
コピー	73
コンセント	19

サ行

再生	62
削除	72
撮影	26
撮影枚数	111
自己診断表示	108
シャッタースピード	37
充電時間	18
スーパーAV	21
出力解像度	70
準備	16
商標	126
初期化	75
ショルダーストラップ	7

ズーム	30
-----	----

ズームレバー	30
ステータスチェック	68
スポットフォーカス	32
スロー&クイックモーション	58

静止画作成	74
-------	----

接続

外付けメディアに	97
テレビに	69
ブルーレイディスクレコーダーに	99
レコーダーに	100

タ行

データコード	67
テレビ	69
電源コード	17
動画	26
同時記録	28
ドロップフレーム	92

ナ行

内蔵充電式電池	119
---------	-----

ハ行

バッテリー	17
ハンドルズーム	30
ハンドルズームスイッチ	30
ハンドルズームレバー	30
ハンドル録画ボタン	28
ピクチャープロファイル	51
日付時刻	11, 22
日付時刻合わせ	21
ファインダー	23
視度調整つまみ	23
フォーカス	31
フォーカスホールド	31
付属品	16
ブッシュオートフォーカス	31
プロテクト	71
分割	71

ヘッドホン	43
-------	----

望遠	30
保証書	122
ボタン電池	9
ホワイトバランス	39

マ行

メニュー	77
一覧	79
AUDIO SET	86
CAMERA SET	82
DISPLAY SET	88
NETWORK SET	93
OTHERS	94
REC/OUT SET	85
TC/UB SET	92
メニューの使いかた	77
メモリーカード	115
入れる/取り出す	24
“メモリースティック”	116
“メモリースティック PRO	
デュオ	116

ラ行

ラストシーンレビュー	59
リチャージャブルバッテリー	
パック	バッテリーへ
リモコン	9, 96
リモコン発光部	9
リレー記録	27
レンズ	20, 118
レンズカバーレバー	20
録画	26
録画フォーマット	34
録画ボタン	28

ワ行

ワイヤレスリモコン	
	リモコンへ

A

ACアダプター	17
---------	----

次のページへつづく→ 123

索引(つづき)

ACTIVE	83
AE SHIFT	82, 104
AGC LIMIT	82
AIRPLANE MODE	93
AREA SET	95
ASPECT	89
ASSIGN BUTTON	60
AUDIO LEVEL DISPLAY	91
AUDIO LIMIT	86
AUDIO SETメニュー	86
AUTO MODE SET	83
AUTO SLOW SHUTTER	84

B

BEEP	96
BLACK GAMMA	53
BLACK LEVEL	53

C

CALIBRATION	118
CAMERA DATA DISPLAY	90
CAMERA PROFILE	94
CAMERA SETメニュー	82
CENTER	89
CHGランプ	17
CLOCK SET	21
COLOR BAR	84, 104
COLOR DEPTH	55
COLOR LEVEL	55
COLOR MODE	54
COLOR PHASE	55
CONVERSION LENS	83
COPY	73
CTRL W/SMARTPHONE	93

D

DATE REC	95
DELETE	72
DETAIL	56

DF	92
DISPLAY OUTPUT	92
DISPLAY SETメニュー	88
DIVIDE	71
DOWN CONVERT TYPE	85
DV WIDE CONVERT	85
DV WIDE REC	85
DVモード	35

E

EDIT DEVICE NAME	93
------------------	----

F

FACE DETECTION	32
FOCUS DISPLAY	91
FOCUS MAG RATIO	90
FREE RUN	93

G

GAIN SET	82
GAMMA	53
GUIDEFRAME	90

H

HD AUDIO FORMAT	86
HD REC FORMAT	34
HDMI	85
HDMI TC OUTPUT	86
HEADPHONE OUT	87
HISTOGRAM	88

I

INDOOR	39
InfoLITHIUMバッテリー	116
INPUT1 TRIM	87
INPUT1 WIND	87
INPUT2 TRIM	87
INPUT2 WIND	87
INT MIC SET	87

K

KNEE	54
------	----

L

LANGUAGE	95
LAST SCENE	59
LCD BRIGHT	91

M

MANU WB TEMP	39
MARKER	89, 104
MEDIA FORMAT	75
MIC+48V	41

N

NDフィルター	39
NDF	92
NETWORK SETメニュー	93
NFC	46

O

OPERATION TIME	96
OTHERSメニュー	94
OUTDOOR	39

P

PEAKING	89, 104
PHOTO CAPTURE	74
PROTECT	71

R

REC BUTTON SET	28
REC LAMP[F]	96
REC LAMP[R]	96
REC RUN	93
REC SET	85
REC/OUT SETメニュー	85
REMOTE CONTROL	96
REPAIR IMAGE DB FILE	76

RESETボタン	8	WB TEMP SET	82
		Wi-Fi	45
S			
S&Q MOTION	58		
S&Qボタン	58		
SAFETY ZONE	90		
SCENE SELECTION SET	45		
SEND TO SMARTPHONE	93		
SHUTTER DISPLAY	91		
SIMUL/RELAY REC	28		
SPOT FOCUS	32		
SPOT METER	84		
SPOT METER/FOCUS	84		
SSID/PW RESET	94		
STEADYSHOT	83		
SUMMERTIME	95		
T			
TC FORMAT	92		
TC MAKE	93		
TC PRESET	57, 104		
TC RUN	93		
TC/UB SETメニュー	92		
TONE	84		
U			
UB PRESET	57		
UB TIME REC	93		
USB CONNECT	96		
V			
VERSION DISPLAY	96		
VF BACKLIGHT	92		
VIDEO OUT	85		
W			
WB OUTDOOR LEVEL	82		
WB PRESET	82		
WB SHIFT	55		

商標について

- “NXCAM”ロゴは、ソニー株式会社の商標です。
- AVCHD ProgressiveおよびAVCHD Progressiveロゴは、ソニー株式会社とパナソニック株式会社の商標です。
- “Memory Stick”、“メモリースティック”、、“メモリースティック デュオ”、MEMORY STICK Duo、“メモリースティック PRO デュオ”、MEMORY STICK PRO Duo、“メモリースティック PRO-HG デュオ”、MEMORY STICK PRO-HG Duo、“メモリースティック XC-HG デュオ”、MEMORY STICK XC-HG Duo、“マジックゲート”、、“MagicGate Memory Stick”、“マジックゲート メモリースティック”、“MagicGate Memory Stick Duo”、“マジックゲート メモリースティック デュオ”、“PlayMemories Mobile”、“PlayMemories Mobile”ロゴはソニー株式会社の商標または登録商標です。
- InfoLITHIUM(インフォリチウム)はソニー株式会社の商標です。
- プラビアはソニー株式会社の登録商標です。
- Blu-ray Disc™及びBlu-ray™はブルーレイディスク アソシエーションの商標です。
- Dolby、ドルビー、およびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- Microsoft、Windows、Windows VistaはMicrosoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac、Mac OSは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の登録商標です。
- iPadは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- iOSは、米国シスコの商標もしくは登録商標です。
- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia InterfaceおよびHDMIロゴは、HDMI Licensing LLCの商標もしくは米国およびその他の国における登録商標です。
- Intel、Pentium、Intel Coreは米国およびその他の国におけるIntel Corporationの登録商標または商標です。
- Android、Google PlayはGoogle Inc.の登録商標または商標です。

- Wi-Fi、Wi-Fiロゴ、Wi-Fi PROTECTED SET-UPはWi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- Felica プラットフォームマークは、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- 「おサイフケータイ」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。
- NマークはNFC Forum, Inc.の米国およびその他の国における商標あるいは登録商標です。
- Adobe、Adobe logo、Adobe Acrobatは、Adobe Systems Incorporatedの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

その他の各社名および各商品名は各社の登録商標または商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

ライセンスに関する注意

個人的使用以外の目的で、MPEG-2規格に合致した本製品をパッケージメディア向けビデオ情報をエンコードするために使用する場合、MPEG-2 PATENT PORTFOLIOの特許に関するライセンスを取得する必要があります。尚、当該ライセンスは、MPEG LA, L.L.C.（住所：250 STEELE STREET, SUITE 300, DENVER, COLORADO 80206）より取得可能です。

本製品は、MPEG LA, LLC.がライセンス活動を行っているAVC PATENT PORTFOLIO LICENSEの下、次の用途に限りライセンスされています：

- (i) 消費者が個人的又は他の報酬を受けていない使用目的で、MPEG-4 AVC 規格に合致したビデオ信号(以下、AVC VIDEOといいます)にエンコードすること。
- (ii) AVC Video(消費者が個人的又は他の報酬を受けていない目的でエンコードしたもの、若しくはMPEG LAよりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます)をデコードすること。なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLC.のホームページをご参照ください。

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアが搭載されております。当該ソフトウェアの著作権者様の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。

ライセンス内容(英文)に関しては、CD-ROMの「LICENSE」フォルダ内にあるファイルをご一読ください。

GNU GPL/LGPL適用ソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、以下のGNU General Public License(以下「GPL」とします)またはGNU Lesser General Public License(以下「LGPL」とします)の適用を受けるソフトウェアが含まれております。お客様は添付のGPL/LGPLの条件に従いこれらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。

ソースコードは、Webで提供しております。ダウンロードする際には、以下のURLにアクセスし、モデル名HXR-NX3をお選びください。

<http://www.sony.net/Products/Linux/>

なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

ライセンス内容(英文)に関しては、CD-ROMの「LICENSE」フォルダ内にあるファイルをご一読ください。

お問い合わせは

「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.co.jp/>

© 2014 Sony Corporation Printed in Japan

